
横須賀市教育アンケート報告書

(学校教育編)

平成22年(2010年)7月
横須賀市教育委員会

I	調査目的及び実施方法等	3
II	集計結果	5
1	基本的属性	5
	(1) 性別	5
	(2) 学年・年齢	5
	① 学年	5
	② 年齢	6
	(3) 勤続年数	7
	(4) 勤務する学校	8
	(5) 子どもの通う学校	9
	(6) 同居する子どもの人数	9
2	子ども自身	10
	(1) 子どもの目標（児童生徒）	10
	(2) 子どもの生活満足度（児童生徒）	11
3	家庭生活など	14
	(1) 子どもの教育で特に意識して取り組んでいること（保護者）	14
	(2) 保護者の学校行事や活動への参加状況（保護者）	15
	(3) 子どもが普段していること（児童生徒、保護者）	16
	(4) 学校外での勉強時間（児童生徒）	21
	(5) 学校外での読書時間（児童生徒）	22
	(6) 携帯電話やインターネットを持たせる（使わせる）時期（保護者、教員）	23
4	地域との関わり	27
	(1) 地域に開かれた学校への取り組み（保護者、市民、教員）	27
	(2) 学校への関わり方（保護者、市民、教員）	28
	(3) 子どもから見たボランティアの印象（児童生徒）	30
	(4) やってほしいボランティア活動内容（児童生徒、教員）	
	やってみたいボランティア活動内容（保護者、市民）	31

5 学校教育（学校での生活、勉強）	34
（1）学校で楽しいこと（児童生徒）	34
（2）好きな科目（児童生徒）	35
（3）パソコンなどを使った授業（児童生徒）	37
（4）小学生と中学生の交流（児童生徒）	38
（5）授業理解度（児童生徒、教員）	39
（6）望まれる学校像（児童生徒）	41
（7）担当クラスで困ったこと（教員）	42
（8）望まれる教師像（児童生徒、保護者、市民、教員）	43
（9）教員に必要な研修（保護者、市民、教員）	45
（10）教員の多忙化解消に必要な取り組み（教員）	46
（11）子どもの教育に必要なだと思うこと（保護者、市民、教員）	47
（12）基礎的学力の向上への取り組み（保護者、市民、教員）	48
（13）社会生活に役立つ力をつけるための取り組み（保護者、市民、教員）	49
（14）いじめ・不登校を未然に防ぐ取り組み（保護者、市民、教員）	50
（15）横須賀市の教育への評価（保護者、市民、教員）	51
（16）取り組みへの評価（保護者、市民、教員）	61
6 悩みなど	72
（1）健康や体力に関する問題（児童生徒）	72
（2）悩みなどの有無（教員）	73
（3）悩みや困ったことの内容（児童生徒、保護者、教員）	74
（4）相談相手（児童生徒、保護者、教員）	77
7 全体的なこと	80
（1）子どもを取り巻く環境（昔の環境との比較）（保護者、市民、教員）	80
（2）子どもたちに教えるのは誰の役割か（保護者、市民、教員）	88
【自由意見】	96
【1】児童生徒	96
【2】保護者	103
【3】市民	113
【4】教員	124

I 調査目的及び実施方法等

1 調査目的

本調査は、市民、市内の公立学校に通う児童生徒及びその保護者、並びに教員が教育に対して何を望んでいるのか、また、どのような考えを持っているのかを把握し、横須賀市教育振興基本計画の策定や今後の教育行政施策の参考とするために実施しました。

2 調査対象及び回収数

（1）調査の対象

① 児童生徒

地域ごとに学校を選定し、小学校4～6年生、中学校と高等学校の各学年1クラスずつ及びろう学校（中等部・高等部）の児童生徒に学校を通して配布・回収しました。

小学校名			中学校名			高等学校	ろう学校
4年生	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生		
浦郷	田浦	沢山	不入斗	田浦	鷹取	横須賀総合 全日制 (1～3年) 定時制 (2年)	中等部 高等部
諏訪	豊島	池上	常葉	池上	大矢部		
大矢部	根岸	望洋	大津	浦賀	上の台		
光洋	岩戸	神明	岩戸	神明	野比		
北下浦	富士見	大楠	大楠	長井	長沢		

② 教員

地域ごとに学校を選定し、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教員に配布・回収しました。

小学校名			中学校名			高等学校	特別支援 学 校
追浜	長浦	逸見	追浜	坂本	池上	横須賀	ろう
汐入	山崎	公郷	大津	久里浜	長井	総合	養護
城北	森崎	走水					
小原台	鴨居	高坂					
栗田	津久井	荻野					

③ 保護者

地域ごとに学校を選定し、小学校1～6年生、中学校と高等学校の各学年1クラスずつ及び養護学校の保護者に学校を通して配布・回収しました。

小学校名			中学校名			高等学校	養護学校
1 年生	2 年生	3 年生	1 年生	2 年生	3 年生		
鷹取	田戸	平作	田浦	常葉	衣笠	横須賀総合 全日制 1 年 定時制 1 年	小 4 ～ 中 3
4 年生	5 年生	6 年生	武山	北下浦	鴨居		
大塚台	久里浜	長井					

④ 市民

住民基本台帳から抽出し、郵送にて配布・回収しました。

(2) 調査期間

平成22年（2010年）年1月～2月

(3) アンケート調査票の配布数と回収結果

対 象	配布数 (人) A	回収数 (人) B	回収率 (%) B/A	有効回答 者数 (人) C	有効 回答率 (%) C/A
児 童 ・ 生 徒	1,083	1,064	98.2	1,064	98.2
教 員	515	478	92.8	478	92.8
保 護 者	490	403	82.2	403	82.2
市 民	1,000	337	33.7	337	33.7

3 集計結果の表記方法

- ① 「回答数」「N」は回答資格者総数から未回答などを除いた数値で、割合の算出の基準となっています。
- ② 「回答率」は、小数点以下第2位を四捨五入したため、合計100%とならない場合があります。
- ③ 一人の回答者が2つ以上の回答をすることができる設問は、各選択肢の割合の合計は100%を超えています。

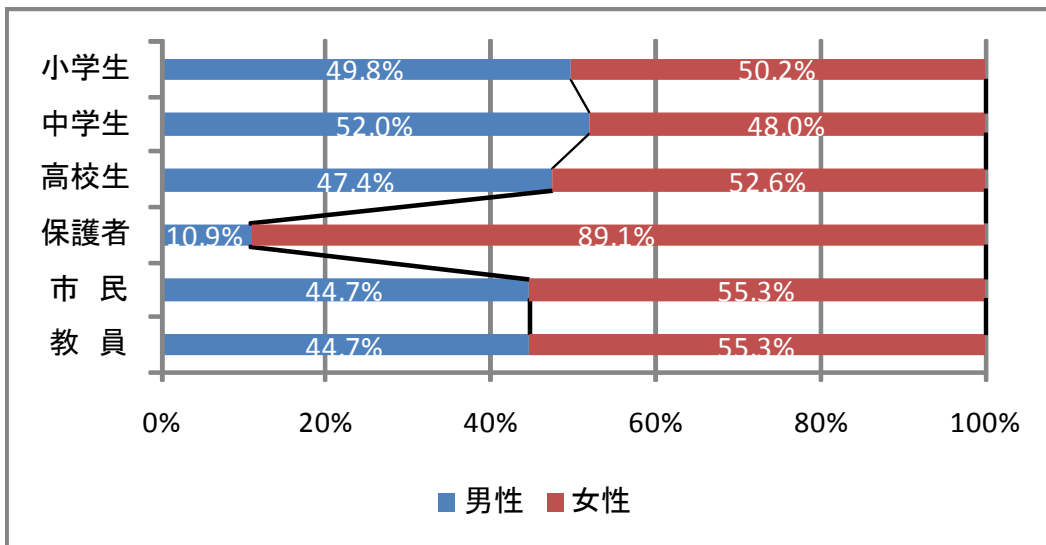
Ⅱ 集 計 結 果

1 基本的な属性

（１）性別

（児童生徒）問１ あなたの性別を教えてください。

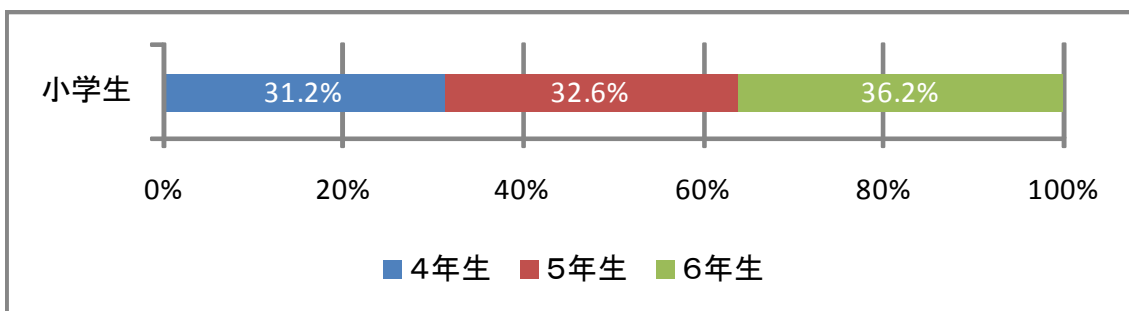
（保護者・市民・教員）問１ あなたの性別を記載してください。

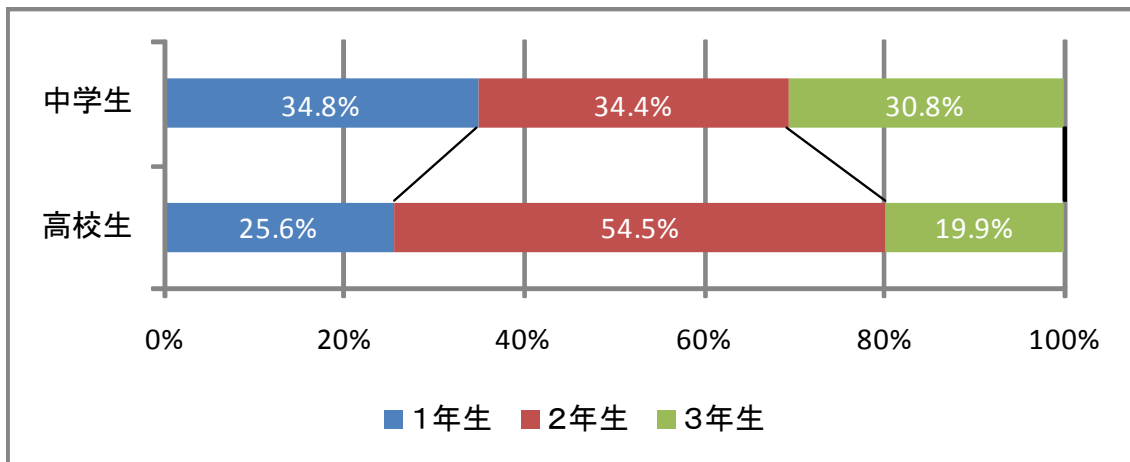


（２）学年・年齢

① 学年（小学生・中学生・高校生）

（児童生徒）問２ あなたは何年生ですか（１つに○）。



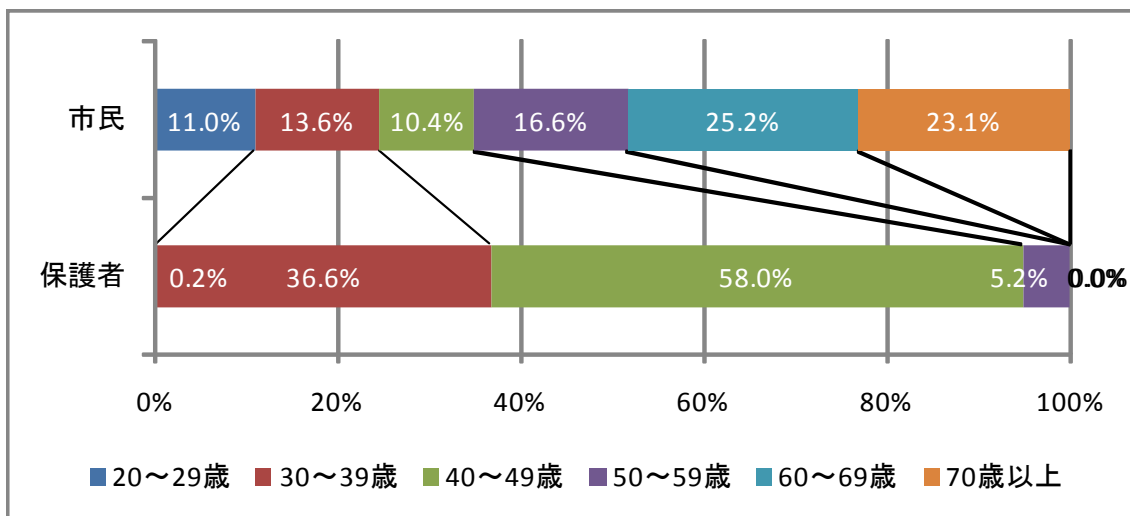


* 高校1年生については、定時制にも配布

② 年齢

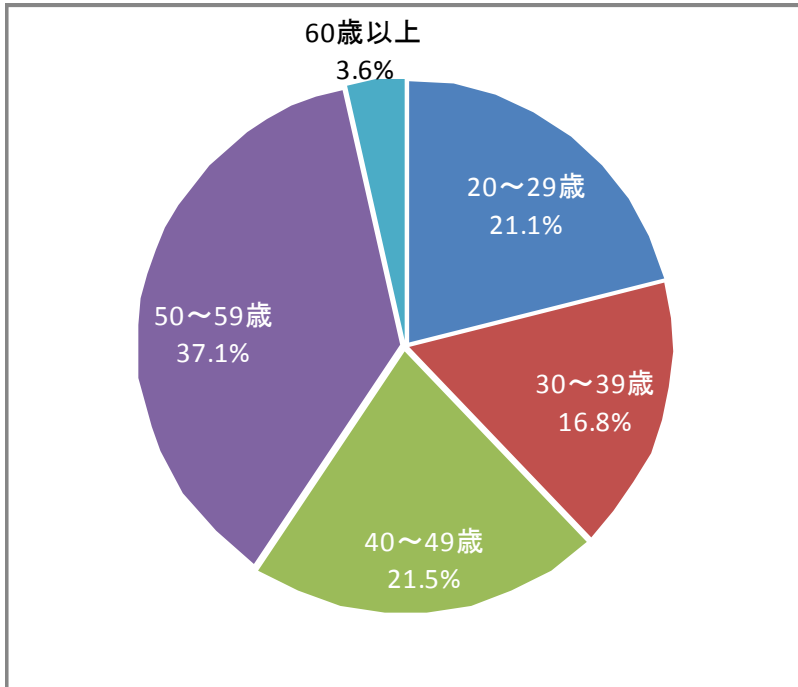
ア 保護者・市民

（保護者・市民）問2 あなたの年齢を教えてください（平成21年12月28日時点）。



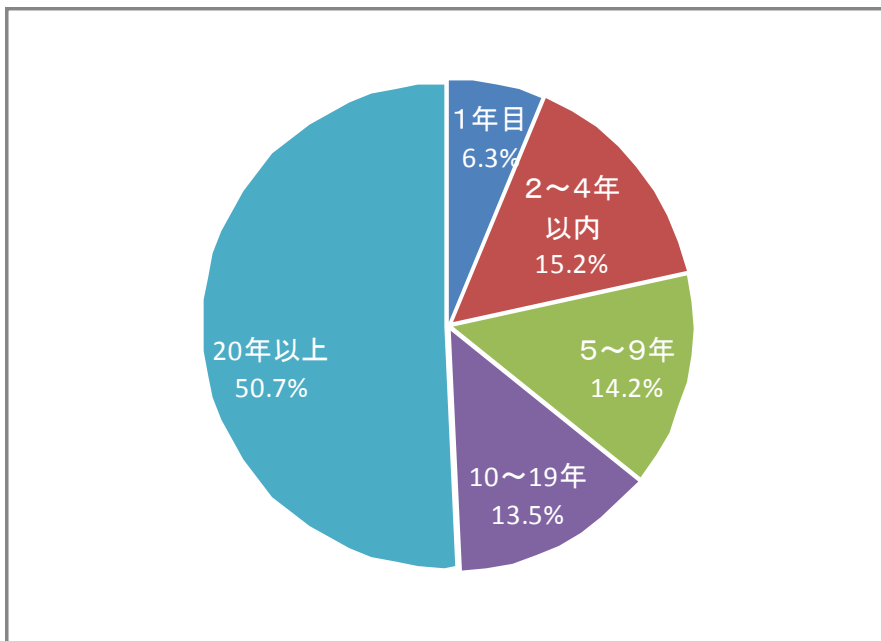
イ 教員

（教員）問2 あなたの年齢は、何歳ですか（平成21年12月28日時点）。



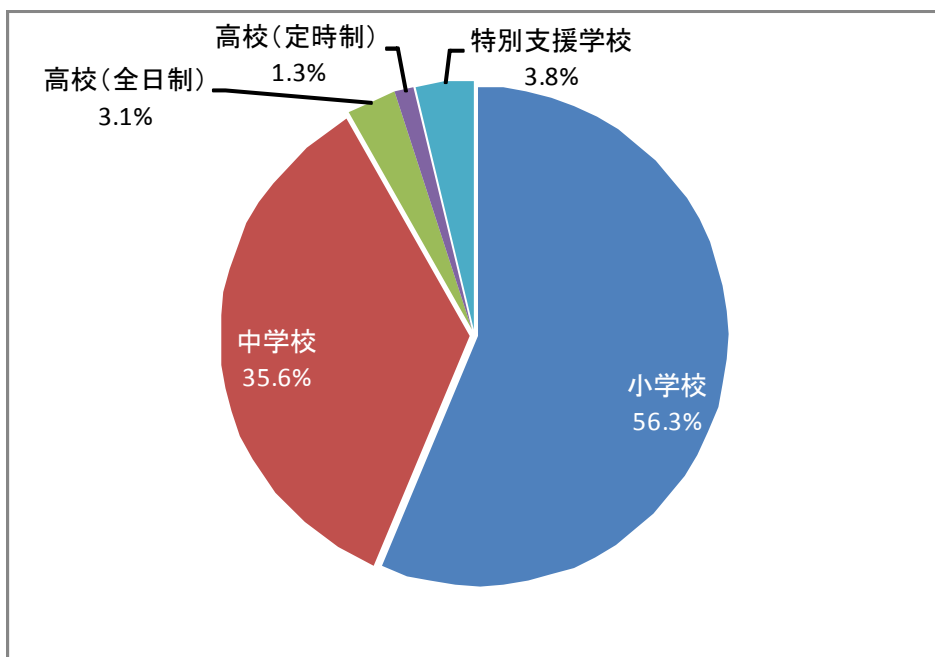
（3）勤続年数

（教員）問3 あなたの教員としての勤続年数は何年ですか。



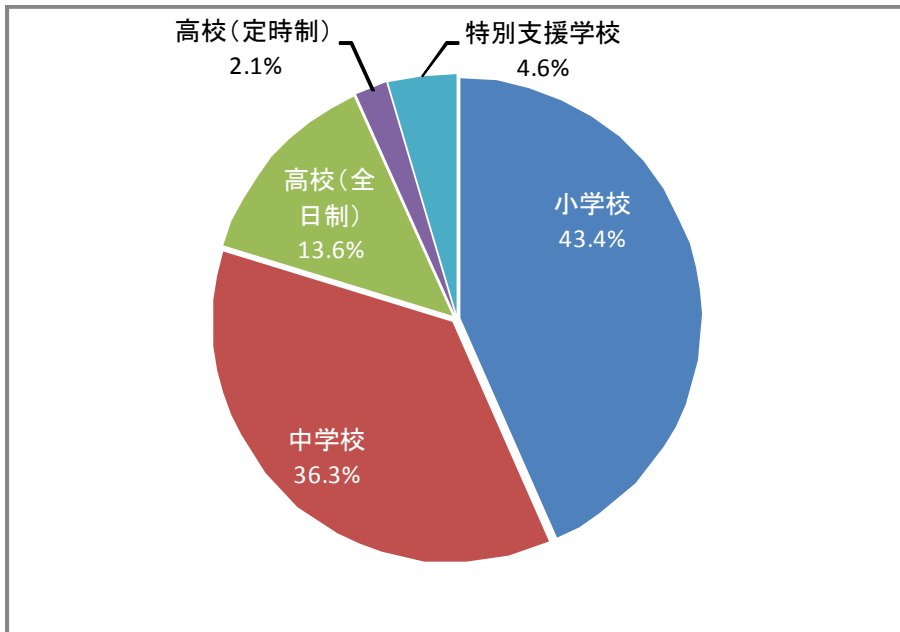
（４）勤務する学校

（教員）問４ あなたの勤務する学校種別をお答えください。



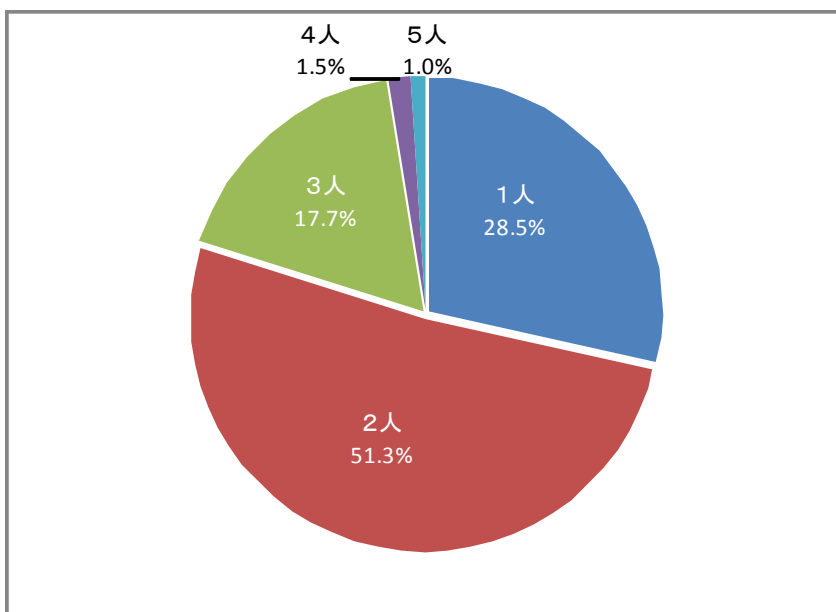
（５）子どもの通う学校

（保護者）問 17 お子さんほどの学校に通われていますか（あてはまるものすべてに○）。



（６）同居する子どもの人数

（保護者）問 16 同居している小学生から高校生のお子さんは何人ですか（１つに○。）



2 子ども自身

（1）子どもの目標

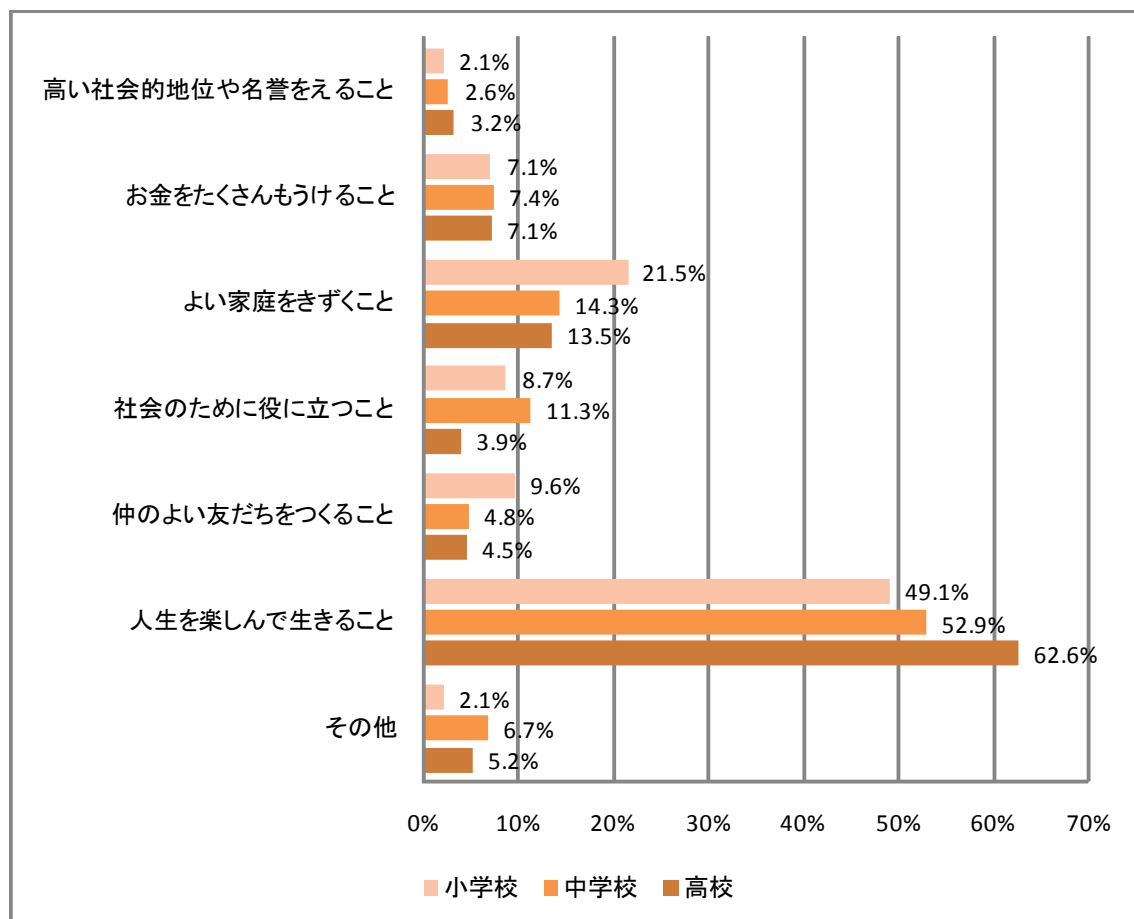
（児童生徒）問3 あなたの人生において、最も大切な目標は何ですか（1つに○。）

*小学生、中学生、高校生ともに、約5～6割が「人生を楽しんで生きること」を選んでおり、他の項目とは大きな差がある。

*前回調査と比較すると全体的に類似した回答傾向が出ているが、「社会のために役に立つこと」では、小学生（4.0%→8.7%）、中学生（2.4%→11.3%）と伸びが見られた。（高校生は、変化なし）

（表2－1）

小 N=438 中 N=461 高 N=155



（２）子どもの生活満足度

（児童生徒）問 19 あなたは次のようなことに対してどのくらい満足していますか
（①から⑥のそれぞれ１つに○）。

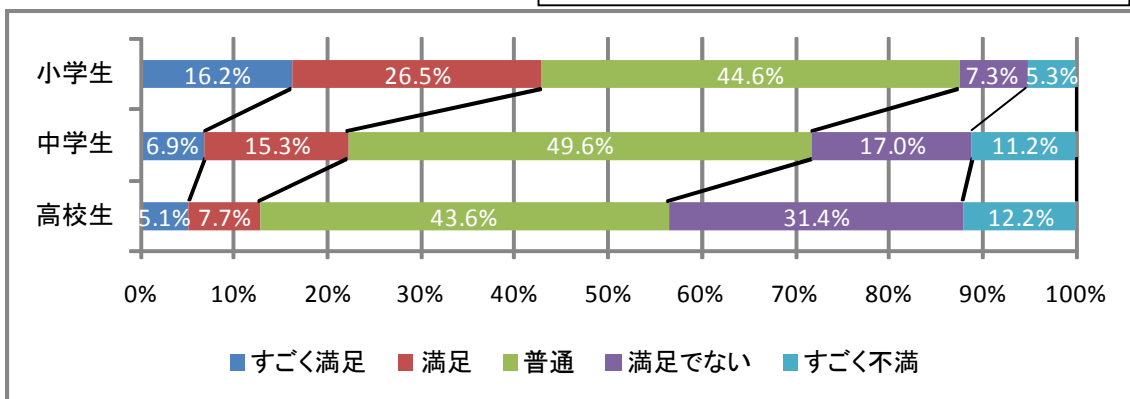
（表２－２）

① 自分について

*小→中→高と上がるにしたがい、自分について、「すごく満足」「満足」の子どもが減少し、「満足でない」「すごく不満」の子どもが増加している。

*高校生では４割以上が「満足でない」「すごく不満」としている。

小 N=437 中 N=464 高 N=156

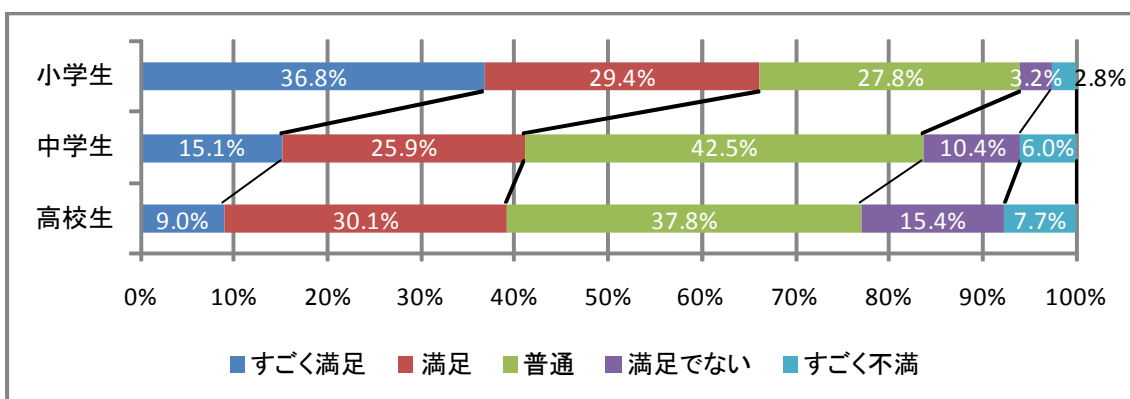


② 家での生活について

*小→中→高と上がるにしたがい、家での生活について、「すごく満足」「満足」とする子どもは減少し、「満足でない」「すごく不満」とする子どもが増加する。

*特に、「すごく満足」は、小（36.8%）に対し、高（9.0%）と大きく減少している。

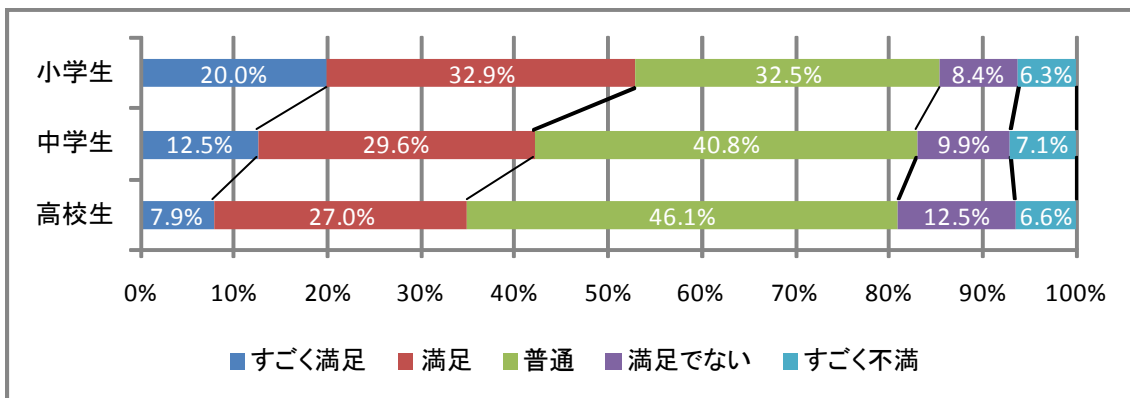
小 N=435 中 N=463 高 N=156



③ 学校生活について

* 小→中→高と上がるにしたがい、学校生活について、「すごく満足」「満足」の子どもは減少し、「満足でない」「すごく不満」の子どもが増加する。

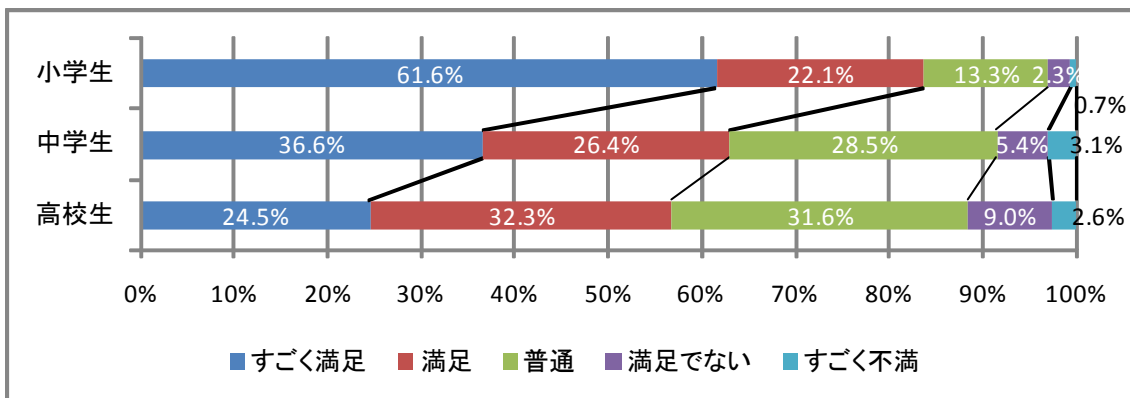
小 N=431 中 N=463 高 N=152



④ 遊びや好きなことについて

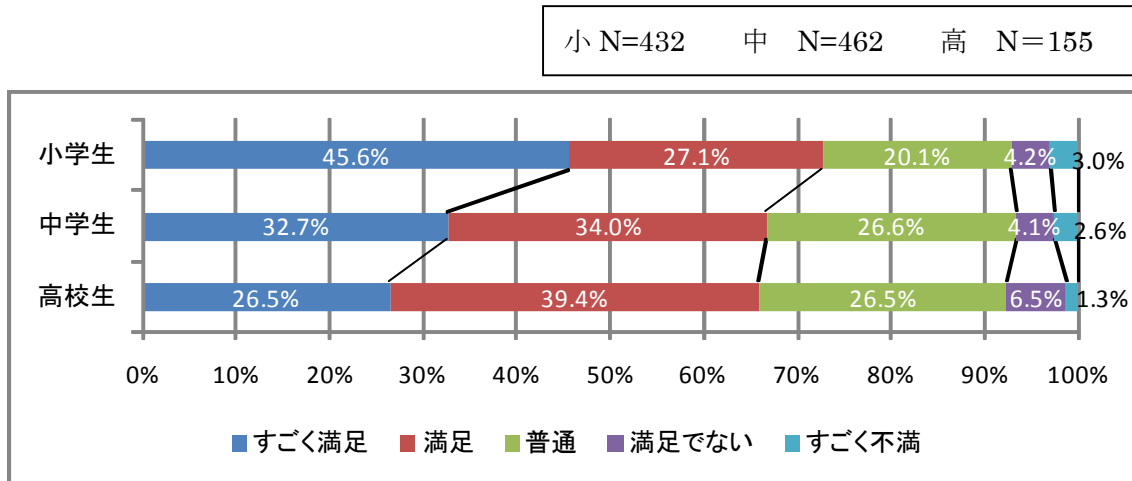
* 小→中→高と上がるにしたがい、遊びや好きなことについて、「すごく満足」「満足」の子どもは減少し、「満足でない」「すごく不満」の子どもが増加する。

小 N=435 中 N=459 高 N=155



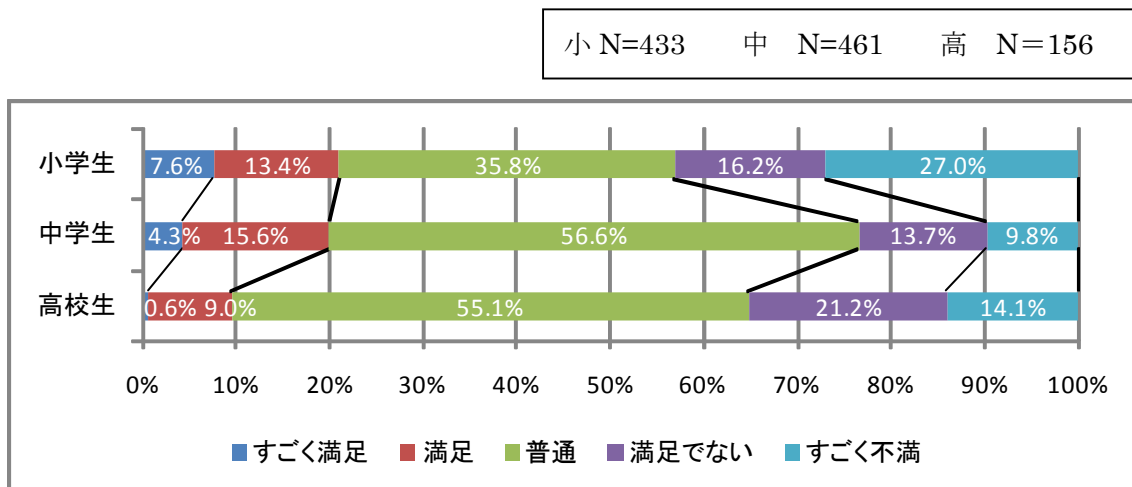
⑤ 友達関係について

*小・中・高ともに、7割前後の子どもが「すごく満足」「満足」としている。



⑥ 世の中について

*①～⑤に比べると、全体的に「すごく満足」「満足」の子どもが少ない。小・中・高とも、「すごく満足」「満足」よりも「満足でない」「すごく不満」を選んだ率が高い。



3 家庭生活など

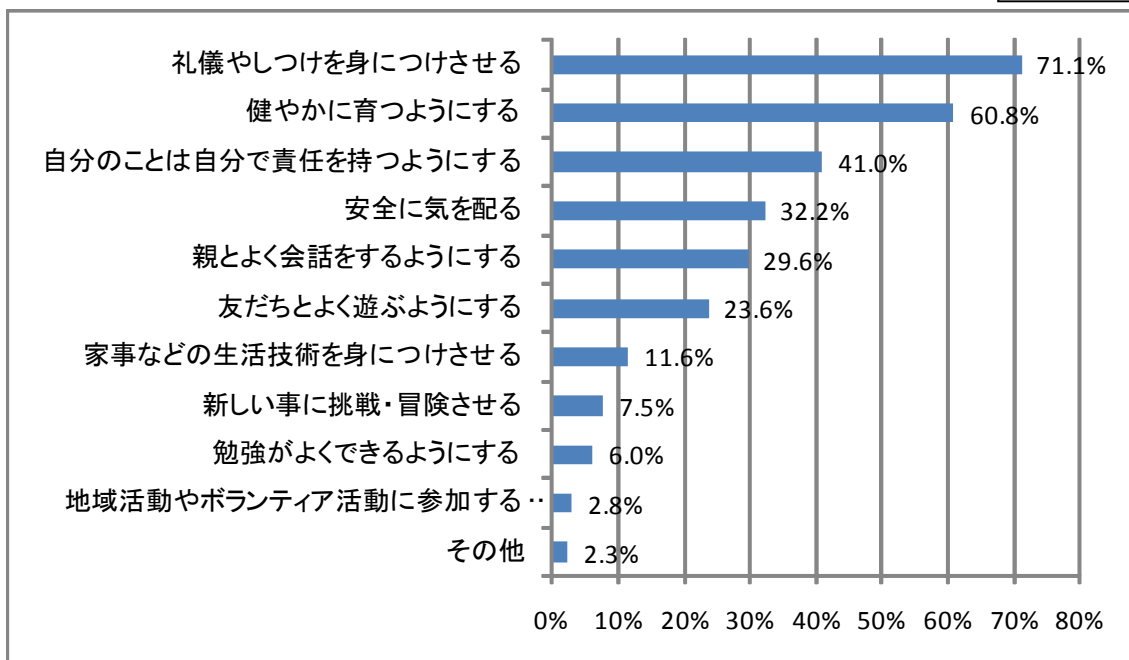
（１）子どもの教育で特に意識して取り組んでいること

（保護者）問 18 お子さんの教育について、あなたが、特に意識して取り組んできたことをあげてください（3つまで○。）

＊「礼儀やしつけを身につけさせる」が 71.1%（前回 66.3%）、「健やかに育つようにする」が 60.8%（前回 66.3%）、「自分のことは自分で責任を持つようにする」が 41.0%（前回 36.6%）という結果であった。

（表 3－1）

N=398

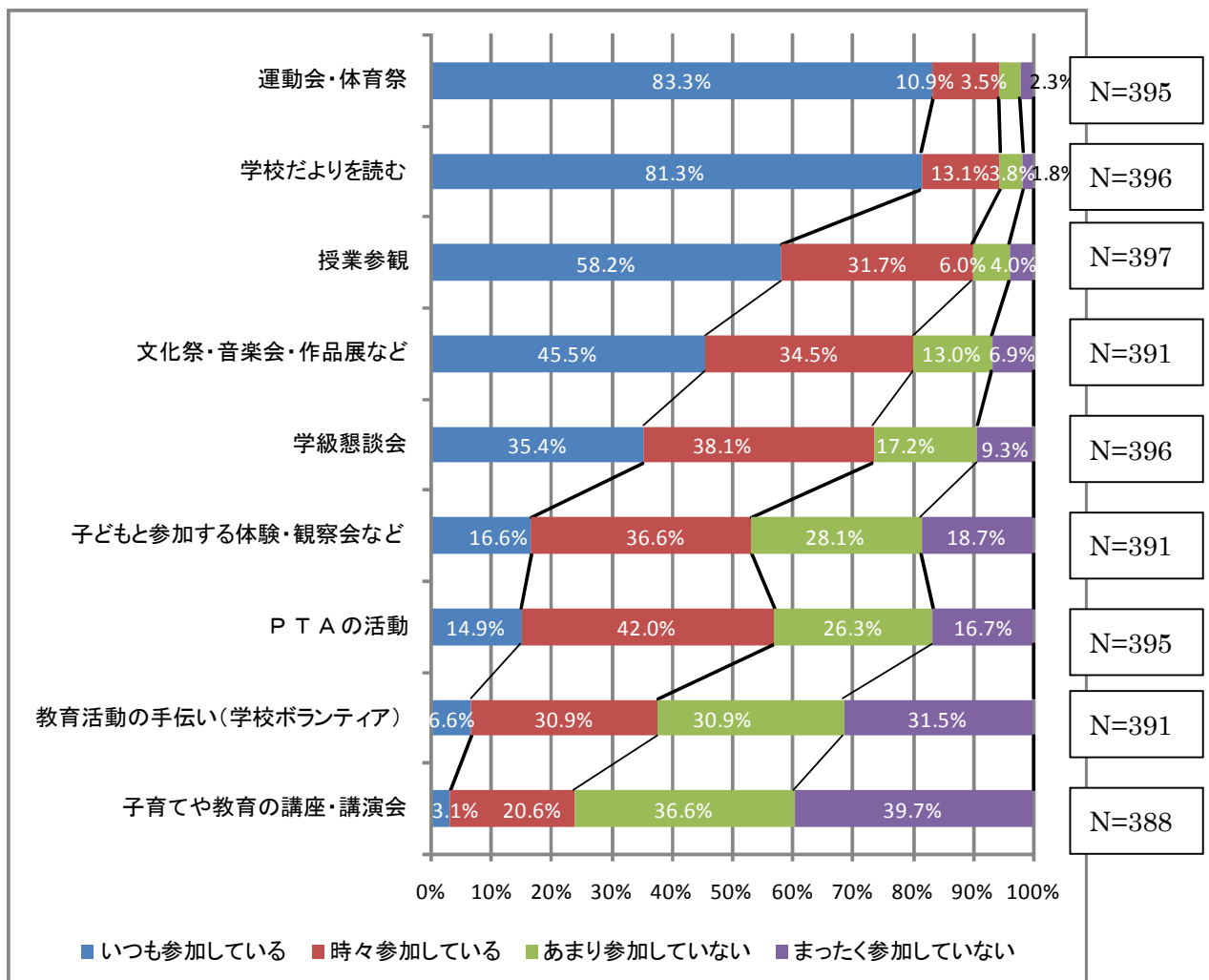


（２）保護者の学校行事や活動への参加状況

（保護者） 問 20 あなたは、次のような学校行事や活動に参加していますか（①から⑨のそれぞれ１つに○）。

*「運動会・体育祭」「学校だよりを読む」「授業参観」は、「いつも参加している」「時々参加している」の合計が９割前後で、参加率が非常に高くなっている。一方、「子育てや教育の講座・講演会」「教育活動の手伝い」などは参加率が低くとどまっている。

（表３－２）



（３）子どもが普段していること

（児童生徒）問 16 あなたは、ふだん、次のようなことをしていますか（①から⑨のそれぞれ1つに○）。

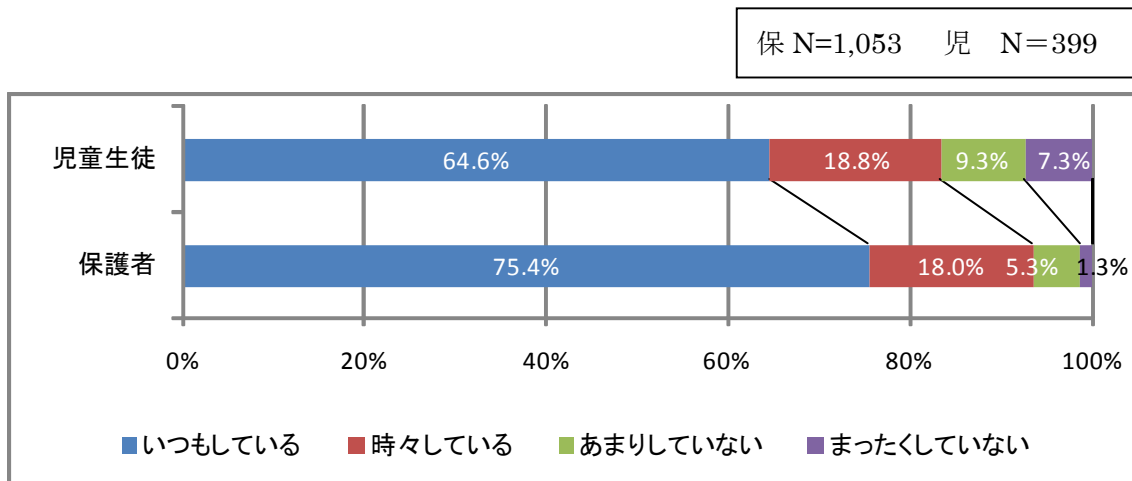
（保護者）問 19 お子さんは、ふだん、次のようなことをしていますか（①から⑨のそれぞれ1つに○）。

（表３－３）子どもが普段していること

① 家族におはようとあいさつすること

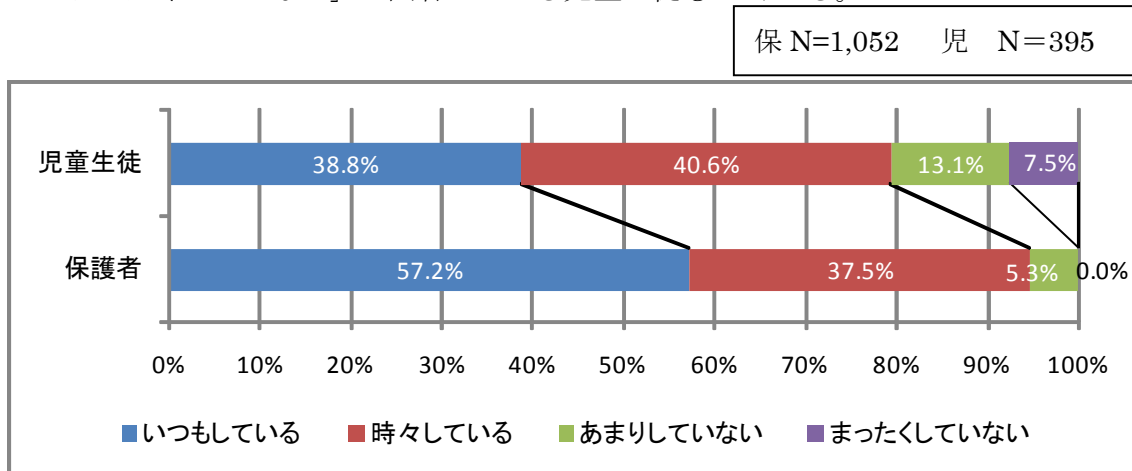
＊「いつもしている」「時々している」の合計が、児童生徒 83.4%、保護者 93.4%、となっている。

＊一方で、「まったくしていない」と回答している児童生徒も 7.3%いる。



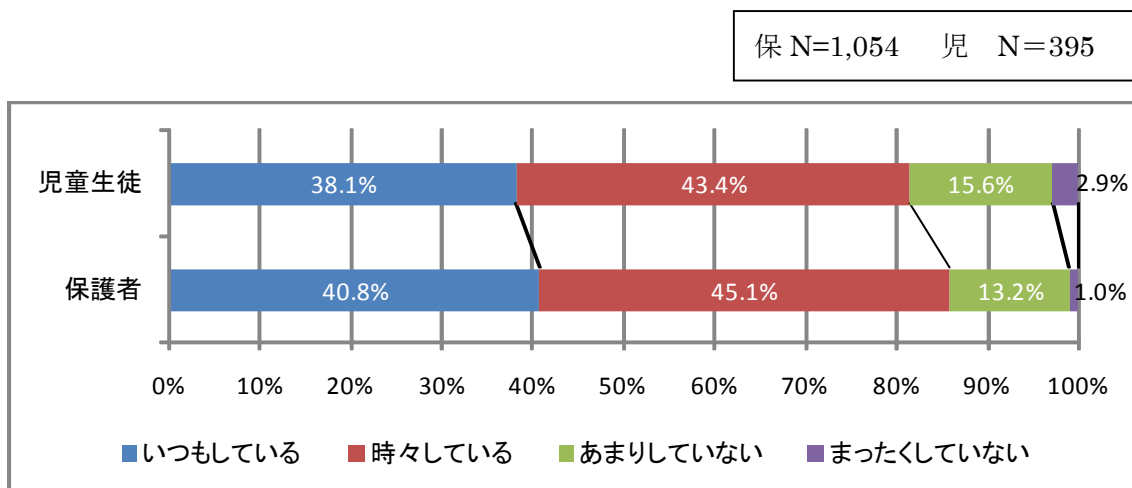
② 近所の人にあいさつすること

- * 「いつもしている」「時々している」の合計が、児童生徒は 79.4%、保護者 94.7%、となっている。
- * 「あまりしていない」「まったくしていない」の合計は、児童生徒 20.6%、保護者 5.3%で、大きな違いがある。
- * 「まったくしていない」と回答している児童生徒も 7.5%いる。



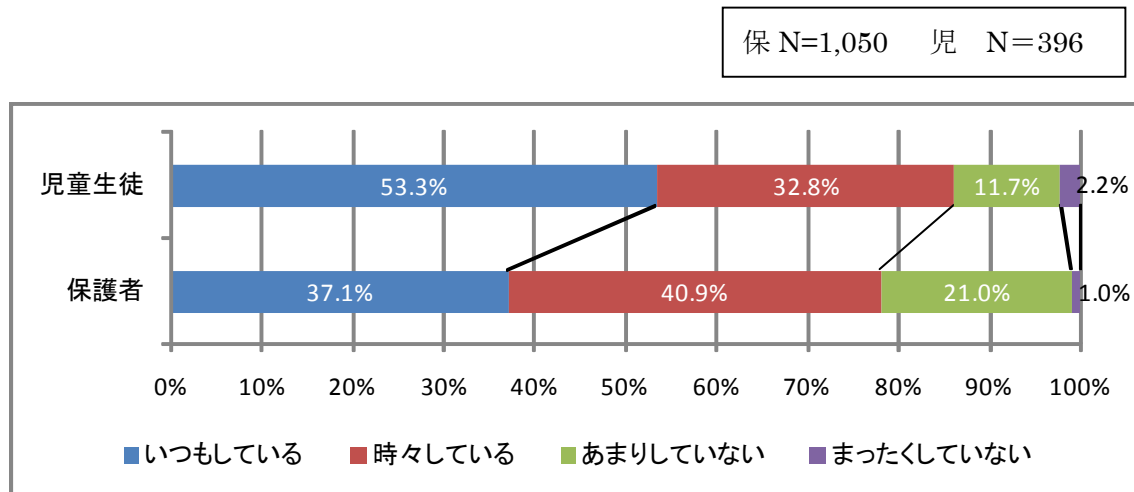
③ 呼ばれたら「はい」とはっきり返事すること

- * 「いつもしている」「時々している」の合計が、児童生徒 81.5%、保護者 85.9%、となっている。保護者・児童生徒とも類似した回答傾向となっている。



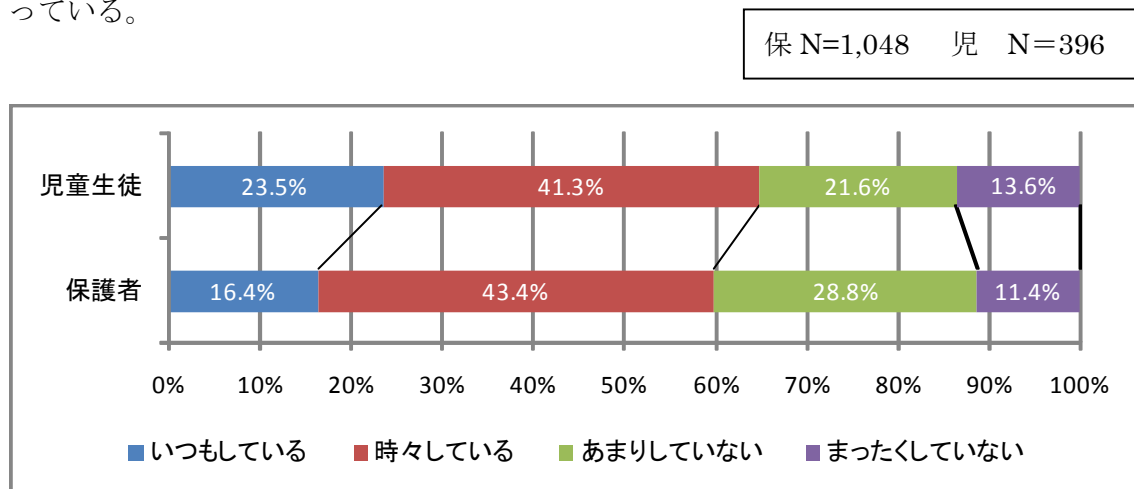
④ 遊んだりしたあと、かたづけをすること

* 「いつもしている」「時々している」の合計が、児童生徒・保護者とも8割前後となっている。



⑤ 食器を洗い、かたづけること

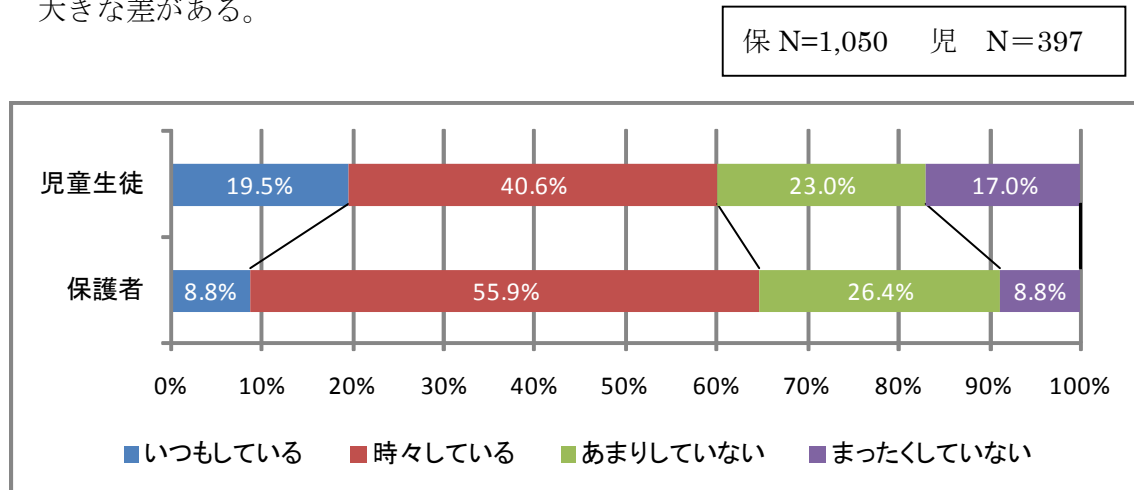
* 「いつもしている」「時々している」の合計が、児童生徒、保護者ともに約6割となっている。



⑥ 料理の手伝いをする事

* 「いつもしている」「時々している」の合計が、児童生徒、保護者ともに約6割となっている。

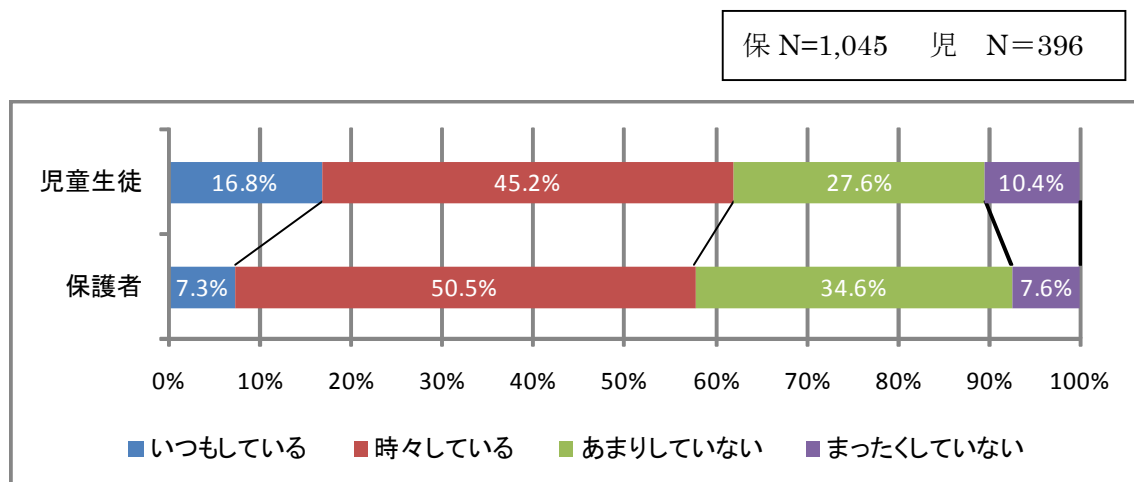
* 「いつもしている」「まったくしていない」において、児童生徒と保護者の選択率に大きな差がある。



⑦ 家の中の掃除をする事

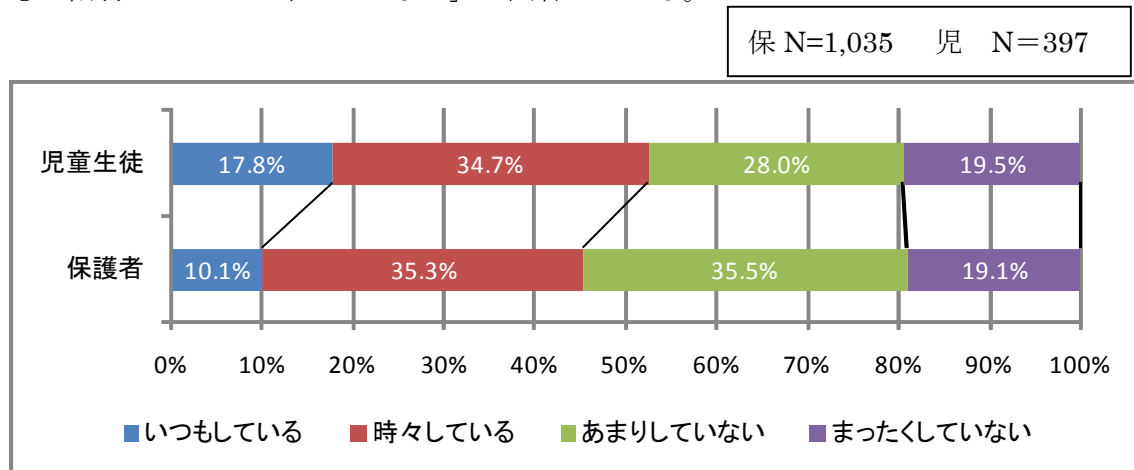
* 「いつもしている」「時々している」の合計が、児童生徒、保護者ともに約6割となっている。

* 「いつもしている」については、児童生徒と保護者の選択率に大きな差がある。



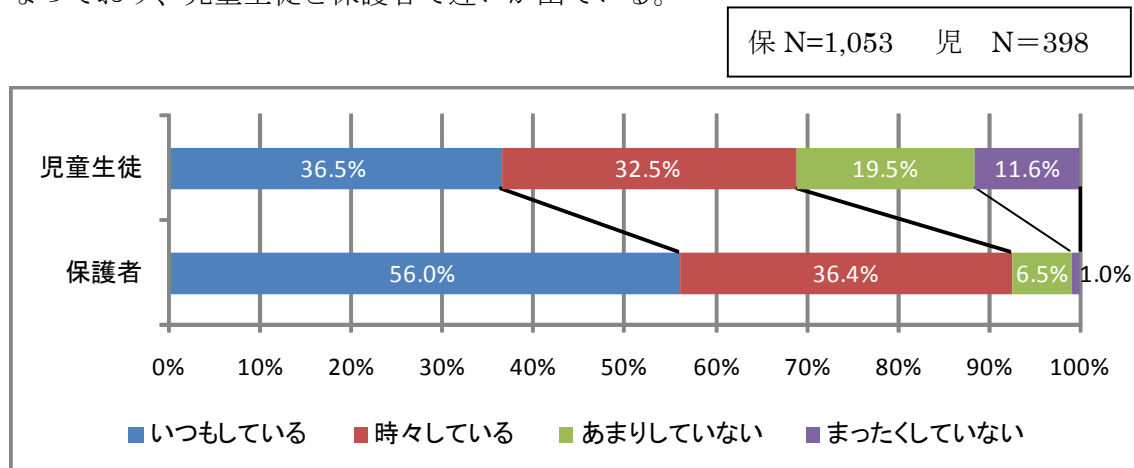
⑧ 洗濯したり、洗濯物をたたんだりすること

＊「いつもしている」「時々している」の合計が、児童生徒、保護者ともに5割前後となっており、他の項目に比べると低い選択率となっている。また、児童生徒、保護者とも2割弱が「まったくしていない」と回答している。



⑨ 学校であった出来事をはなすこと

＊「いつもしている」「時々している」の合計が、児童生徒は69.0%、保護者92.4%となっており、児童生徒と保護者で違いが出ている。



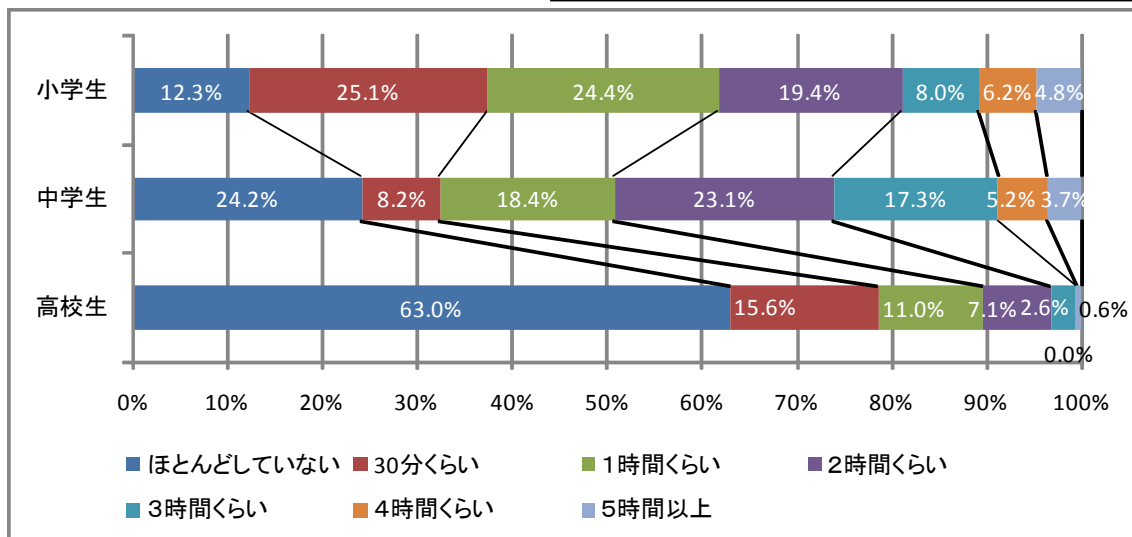
（４）学校外での勉強時間

（児童生徒）問 14 あなたは、ふだん（平日）、学校以外で、一日に何時間くらい勉強していますか（１つに○）。学習塾に行っている人は、そこでの勉強時間も入れてください。

＊「ほとんどしていない」が小学生 12.3%(前回 19.3%)、中学生が 24.4%(前回 24.2%)、高校生が 63.0%（前回 64.0%）で、小→中→高と上がるにつれ、割合が高くなっている。1 時間以上勉強しているのは、小学生で 62.8%（前回 55.7%）、中学生 67.7%（前回 60.2%）、高校生で 21.3%（前回 21.6%）となっている。

（表 3－4）

小 N=439 中 N=463 高 N=154



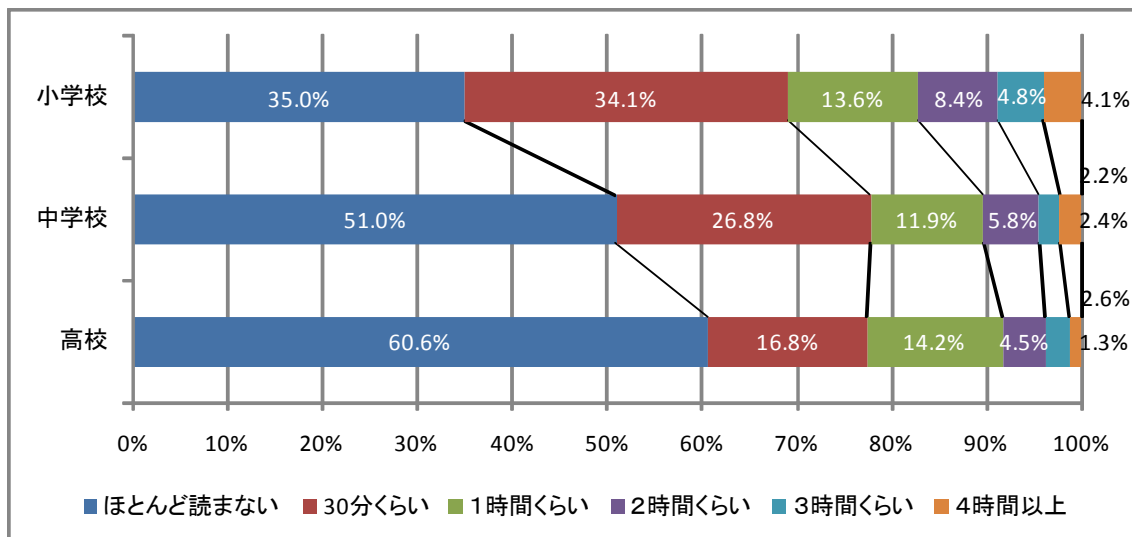
（５）学校外での読書時間

（児童生徒）問 15 あなたは、ふだん（平日）、学校以外で、一日に何時間くらい本や新聞を読みますか（１つに○）。

＊「ほとんど読まない」が小学生 35.0%（前回 34.4%）、中学生が 51.0%（前回 41.4%）、高校生が 60.6%（前回 46.1%）で、小→中→高と上がるにつれ、選択率が高くなっている。また、「ほとんど読まない」の選択率が、中学生 51.0%（前回 41.4%）、高校生 60.6%（前回 46.1%）と高くなってしまっている。

（表 3－５）

小 N=440 中 N=463 高 N=155



（６）携帯電話やインターネットを持たせる（使わせる）時期

（保護者）問 23（教員）問 24 子どもたちにパソコン、携帯電話、インターネットを使わせる（持たせる）としたら、何年生から使わせる（持たせる）のが適当だと考えますか。また、実際に使わせた（持たせた）、あるいは、使わせる（持たせる）予定は、何年生でしょうか（それぞれあてはまる欄に○）。

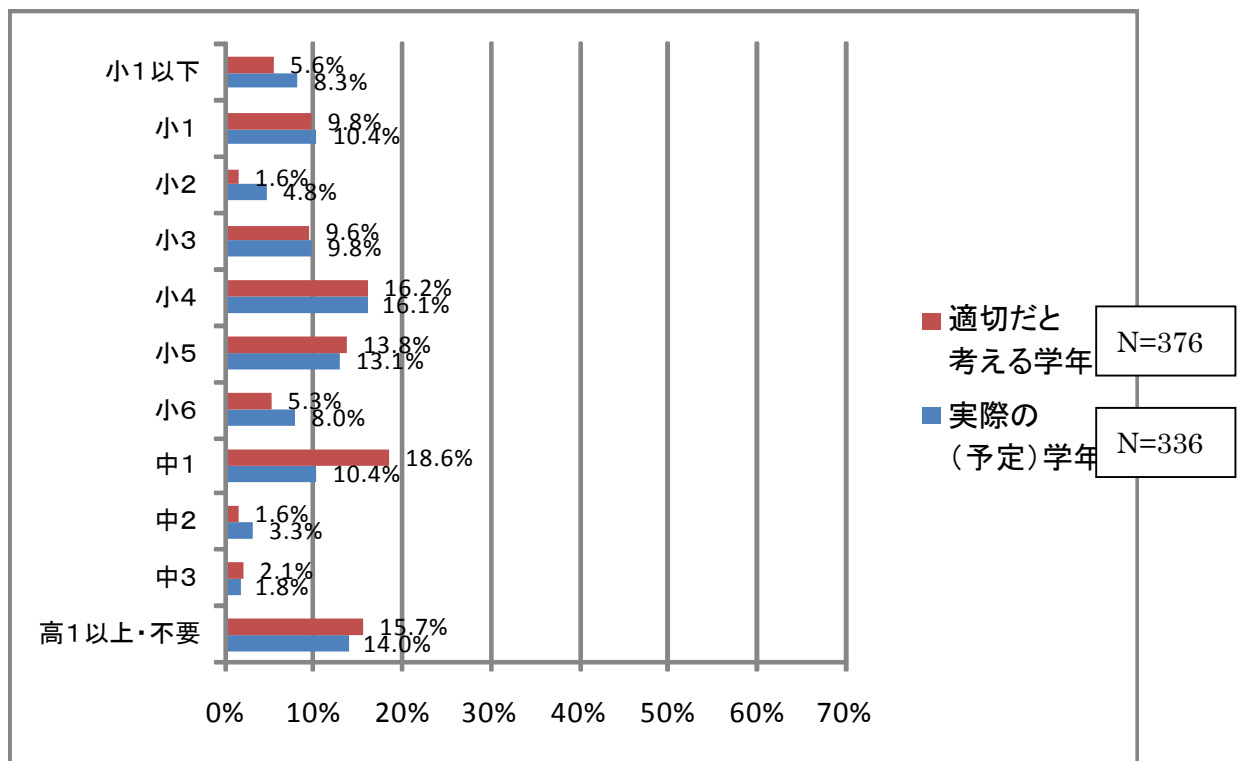
【次ページへ】

（表 3－6）パソコンを持たせる（使わせる）時期

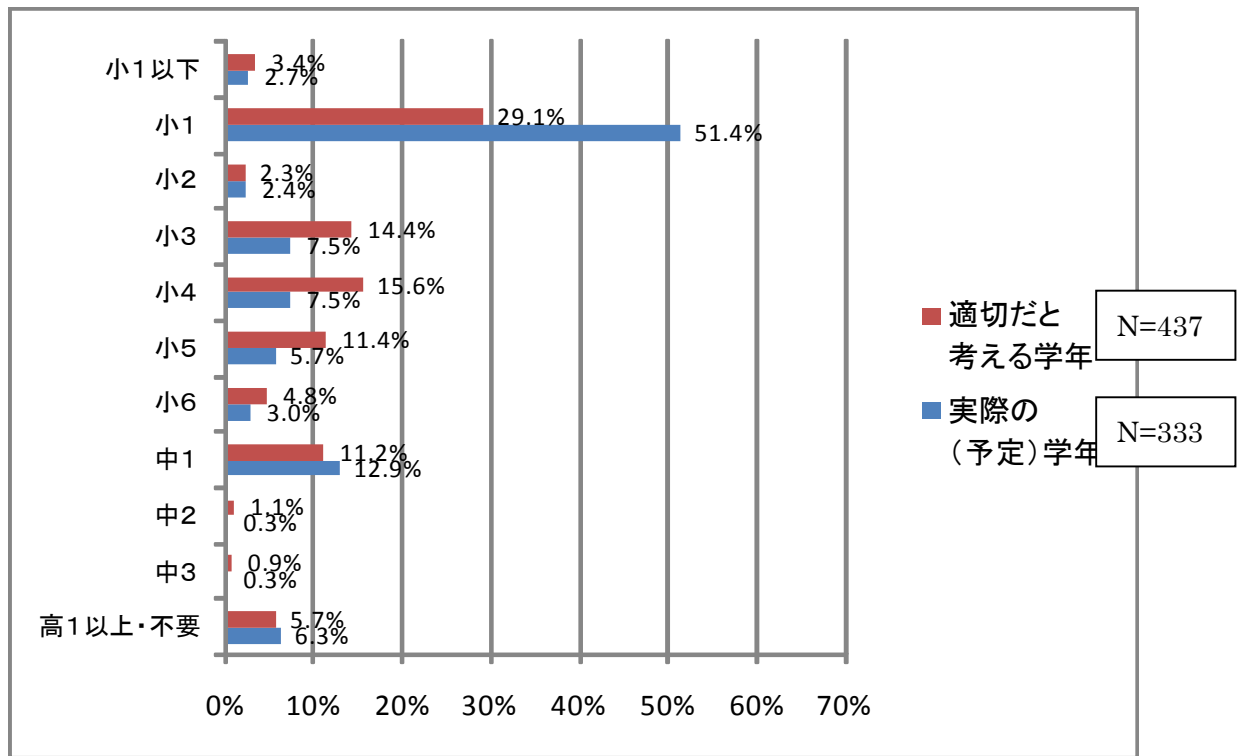
① パソコン

*パソコンについては、「中1以上」が適当と考える保護者が 29.5%となっており、携帯（85.9%）やインターネット（62.4%）と比べると少なくなっている。

ア 保護者



イ 教員

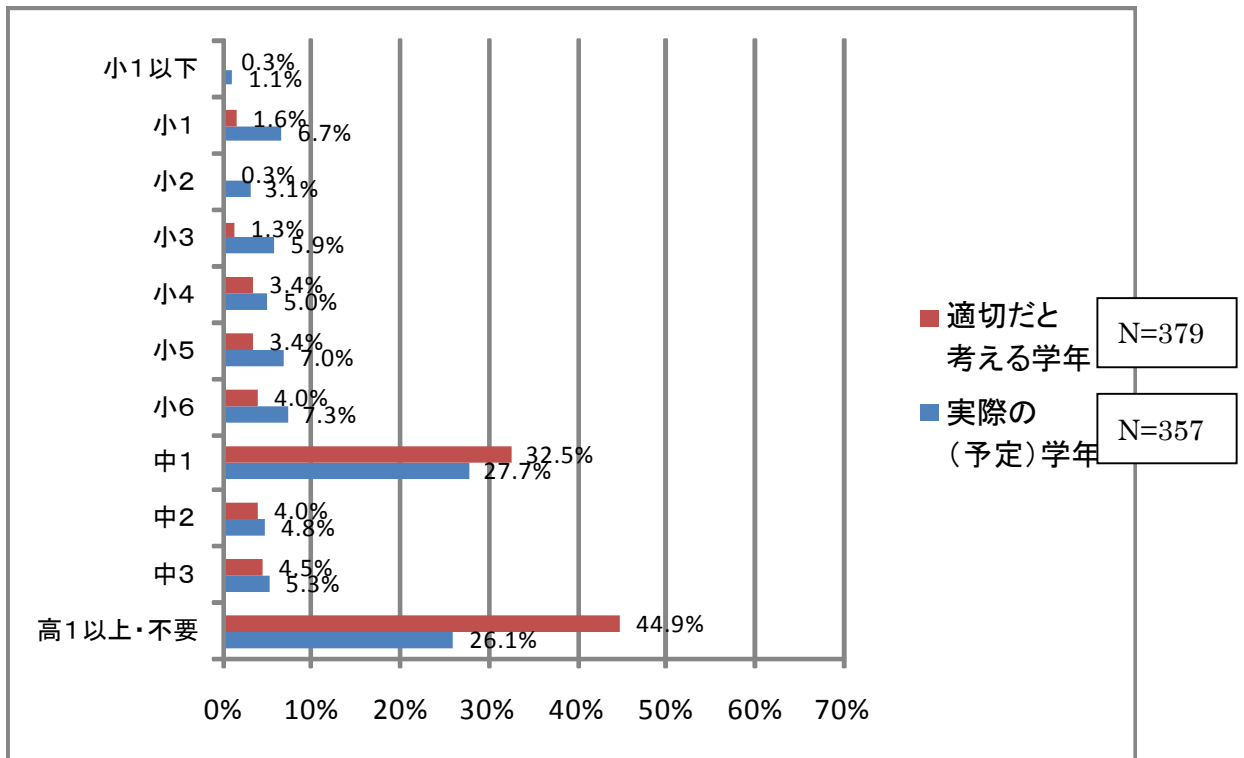


（表 3－7）携帯電話を持たせる（使わせる）時期

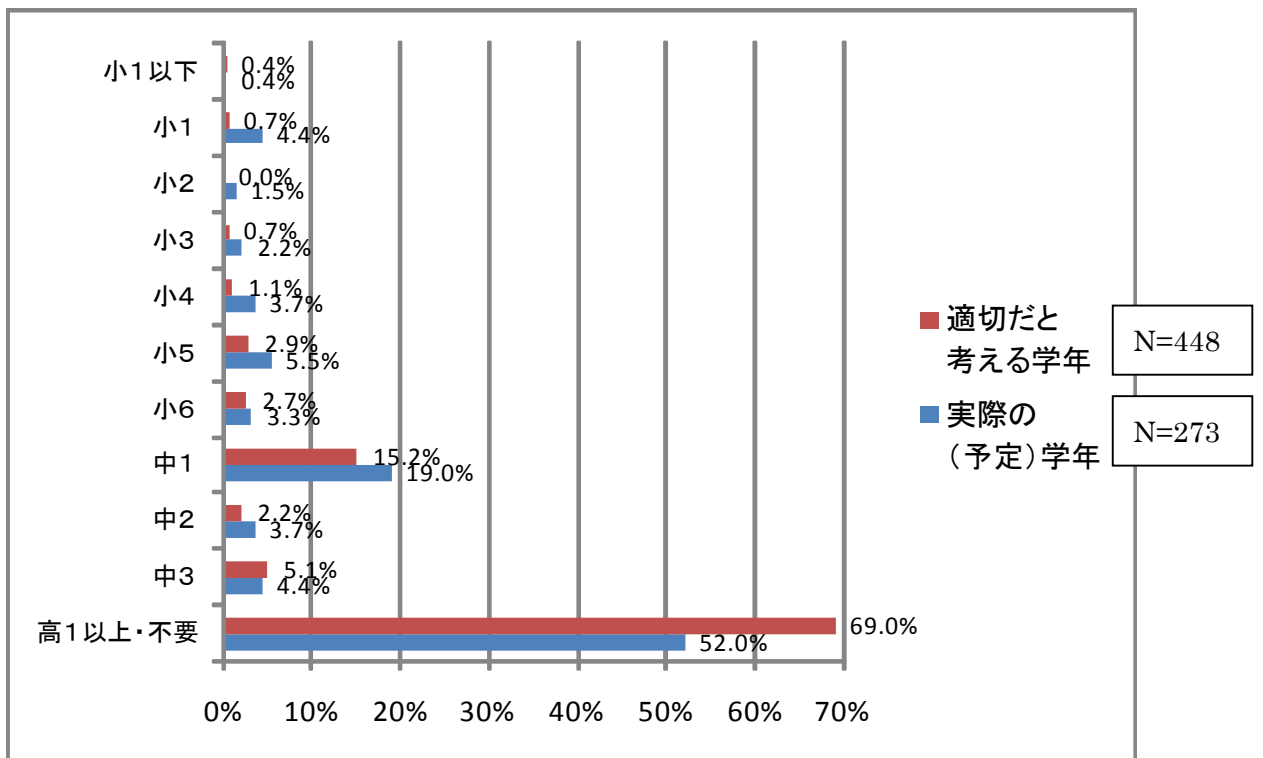
② 携帯電話

*携帯電話を持たせる（使わせる）時期については、保護者で、「高1以上・不要」（44.9%）を含め、85.9%が、また教員も「高1以上・不要」（69.0%）を含め 91.5%が、中1以上からが適切だと考えているが、保護者の 36.1%は、小学校6年生までに子どもに携帯を使わせている（または使わせる予定である）。

ア 保護者



イ 教員

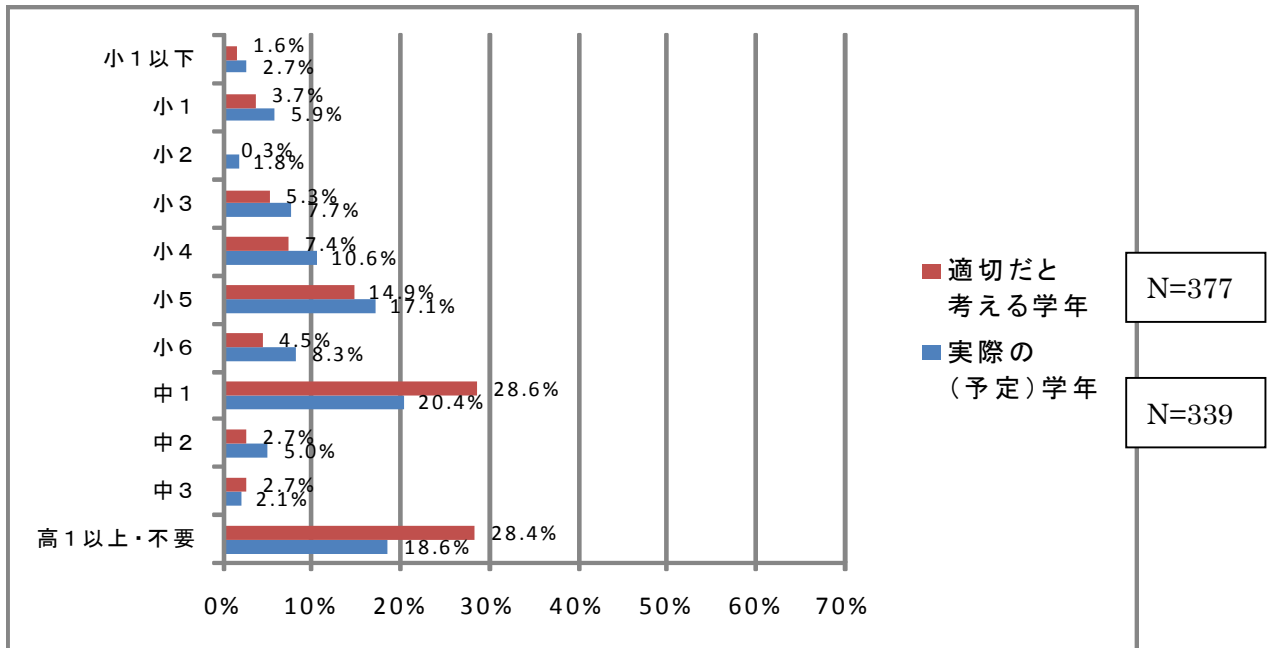


（表 3－8）インターネットを使わせる時期

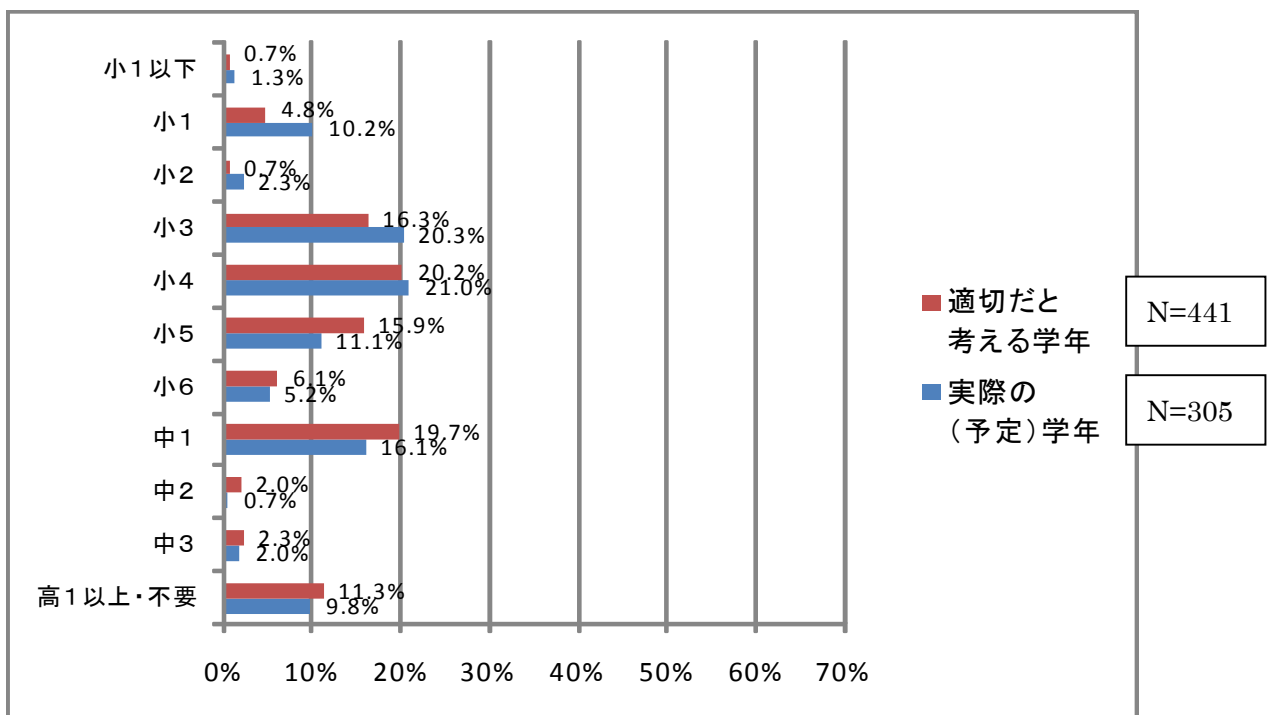
③ インターネット

＊インターネットを使わせる（持たせる）時期については、「中 1 以上」と考えるのが、保護者（62.4%）に対し、教員（40.3%）、また「小 3」「小 4」からと考えるのは、保護者（12.7%）に対し、教員は（36.5%）と大きく差が出ている。

ア 保護者



イ 教員



4 地域との関わり

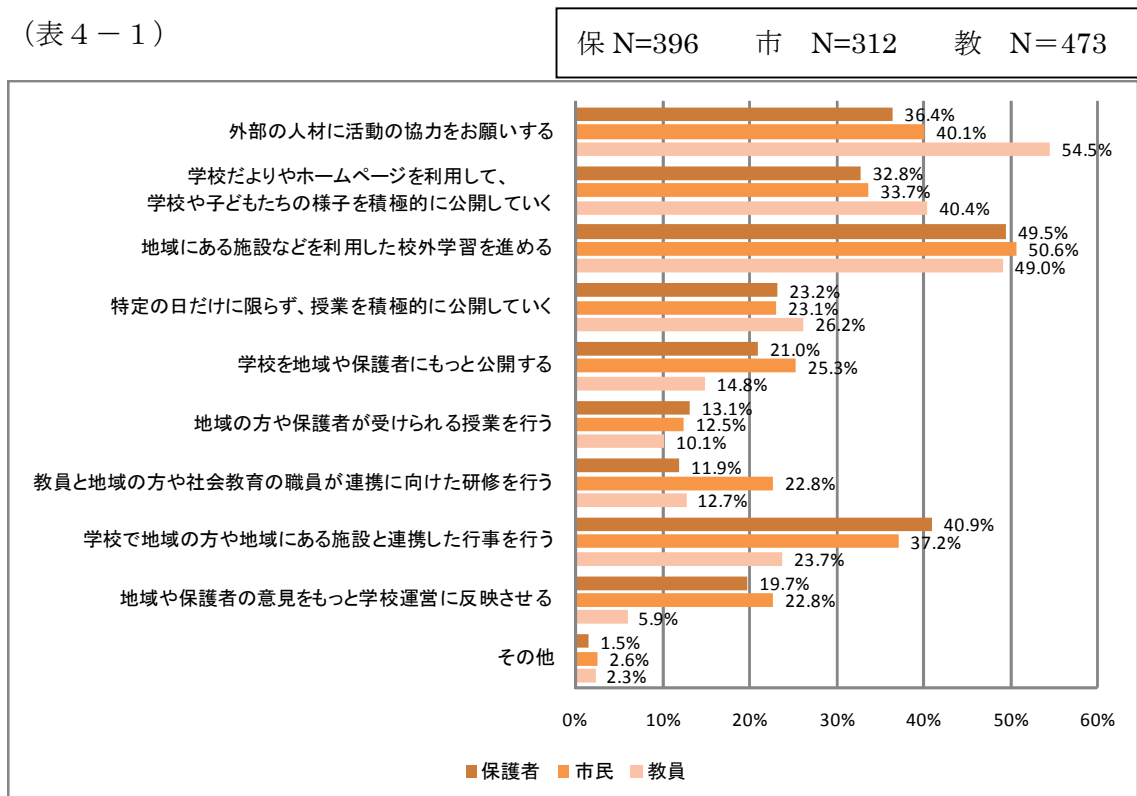
（１） 地域に開かれた学校への取り組み

（保護者・市民）問 12 （教員）問 21 学校が、地域社会の一員として、地域に開かれ、支えられ、共に育っていくためにはどのような取り組みが必要だと思いますか。（3つまで選んで○）。

＊「地域にある施設などを利用した校外学習を進める」の選択率が保護者・市民・教員ともに約5割と高くなっている。

＊「学校で地域の方や地域にある施設と連携した行事を行う」としているのが、保護者40.9%に対し、教員は23.7%、また、「外部の人材に活動の協力をお願いする」では、保護者36.4%に対し、教員54.5%となっており、大きな差が出ている。

（表 4－1）



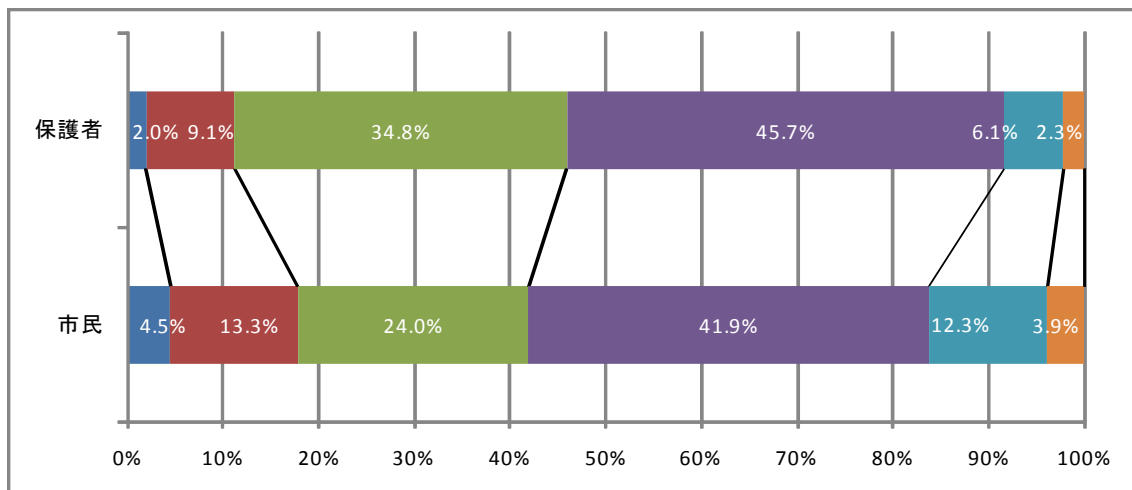
（２）学校への関わり方

（保護者・市民）問 13 学校への関わり方として、あなたが関わりたい（関わってもよい）と考える形は次のうちどれでしょうか（１つに○）。

（教員）問 22 地域や保護者の方の学校への関わり方で、関わってほしい（関わってもよい）と考える形は次のうちどれでしょうか（１つに○）。

- *保護者や市民の４割以上が「関わりたいが、活動に関わるのは難しい」としている。
- *「地域や保護者の代表として、責任と権限を持ち、学校運営全体に参画したい」「学校への支援やボランティア活動などの方向性を話し合う場に参加したい」については、保護者よりも市民の選択率が高い。
- *教員の約７割は、「教育活動を支援するボランティア」として関わってほしいと考えている。

（表４－２）保護者・市民

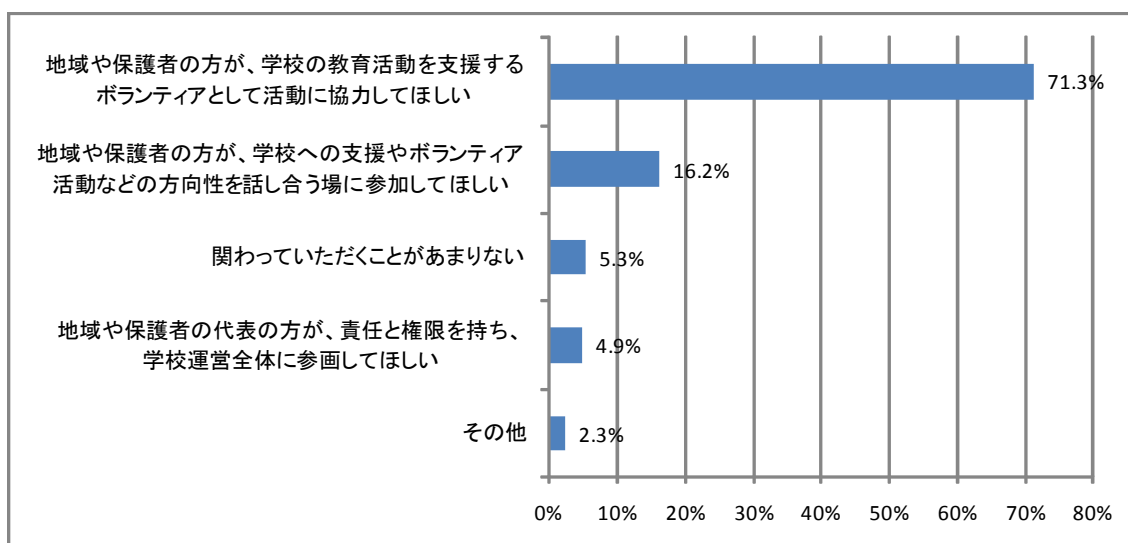


区分	保護者	市民
地域や保護者の代表として、責任と権限を持ち、学校運営全体に参画したい	2.0%	4.5%
学校への支援やボランティア活動などの方向性を話し合う場に参加したい	9.1%	13.3%
学校の教育活動を支援するボランティアとして活動に協力したい	34.8%	24.0%
関わりたいが、活動に関わるのは難しい	45.7%	41.9%
特に関わりたくない	6.1%	12.3%
その他	2.3%	3.9%

回答数	394	308
-----	-----	-----

（表 4－3）教員

N=470



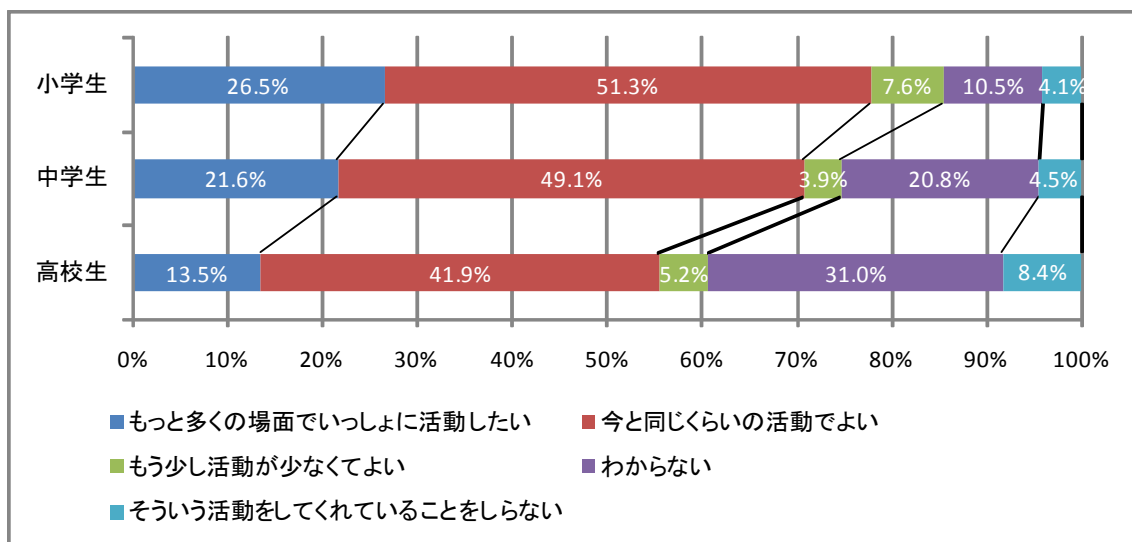
（３）子どもから見たボランティアの印象

（児童生徒）問 17 学校の行事や学習の手伝いなどをしてきている地域の方などの活動についてどう思いますか（１つに○）。

* 「もっと多くの場面でいっしょに活動したい」と「もう少し活動が少なくてよい」を比較すると、小学生（26.5%—7.6%）、中学生（21.6%—3.9%）、高校生（13.5%—5.2%）となっている。

（表４－４）

小 N=437 中 N=462 高 N=155



（４） やってもらいたいボランティア・やってみたいボランティア活動内容

（児童生徒） 問 18 どのような場面で、学校の行事や学習の手伝いなどをして
ている地域の方などと接するとうれしいですか（あてはまるもの
すべてに○）。

（保護者・市民） 問 14 学校の教育活動を支援するボランティアとして、あな
たが関わりたい（関わってもよい）と考える形は次のうちどれで
しょうか（あてはまるものすべてに○）。

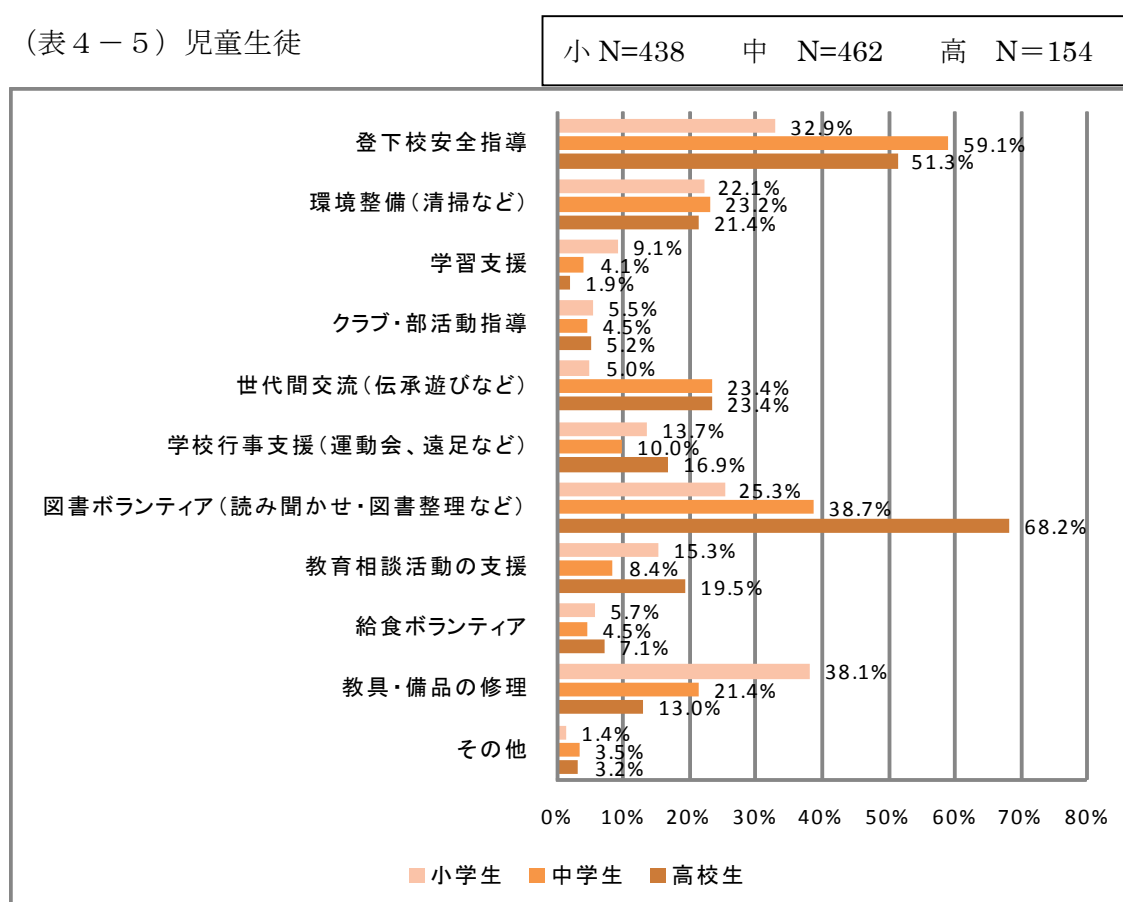
（教員） 問 23 外部の方に、学校の教育活動を支援するボランティアとして
協力していただきたいと思われるものは次のうちどれで
しょうか（あてはまるものすべてに○）。

＊児童生徒の回答において、高校生や中学生も「給食ボランティア」を選択している
ことから、現在通っている学校のことだけではなく、以前に在籍した学校の経験から回答
している場合もあると推定される。

＊小学生・中学生・高校生とも「登下校安全指導」「図書ボランティア」の選択率が高
い。

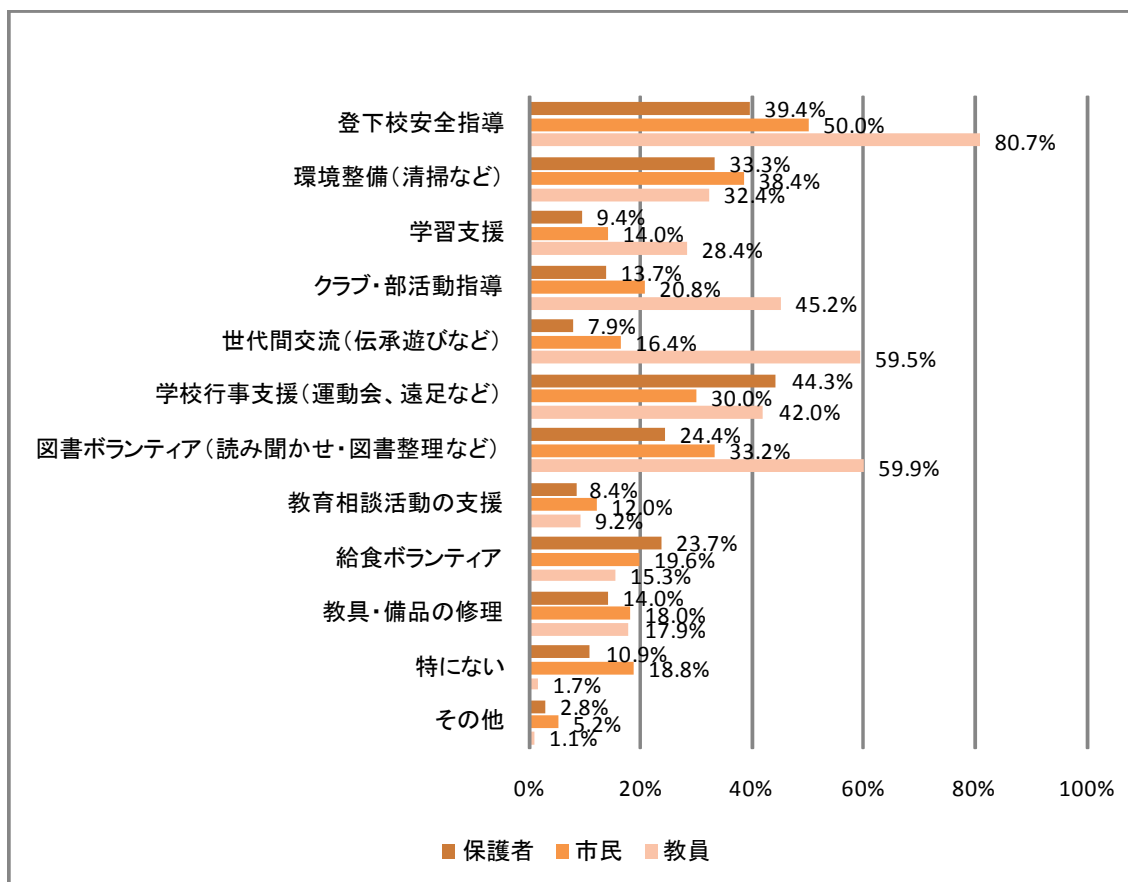
＊教員は、登下校安全指導(80.7%)、図書ボランティア（59.9%）、世代間交流（59.5%）
の選択率が高い。

（表４－５）児童生徒



（表４－６）保護者・市民・教員

保 N=393 市 N=250 教 N=476



5 学校教育（学校での生活、勉強）

（1）学校で楽しいこと

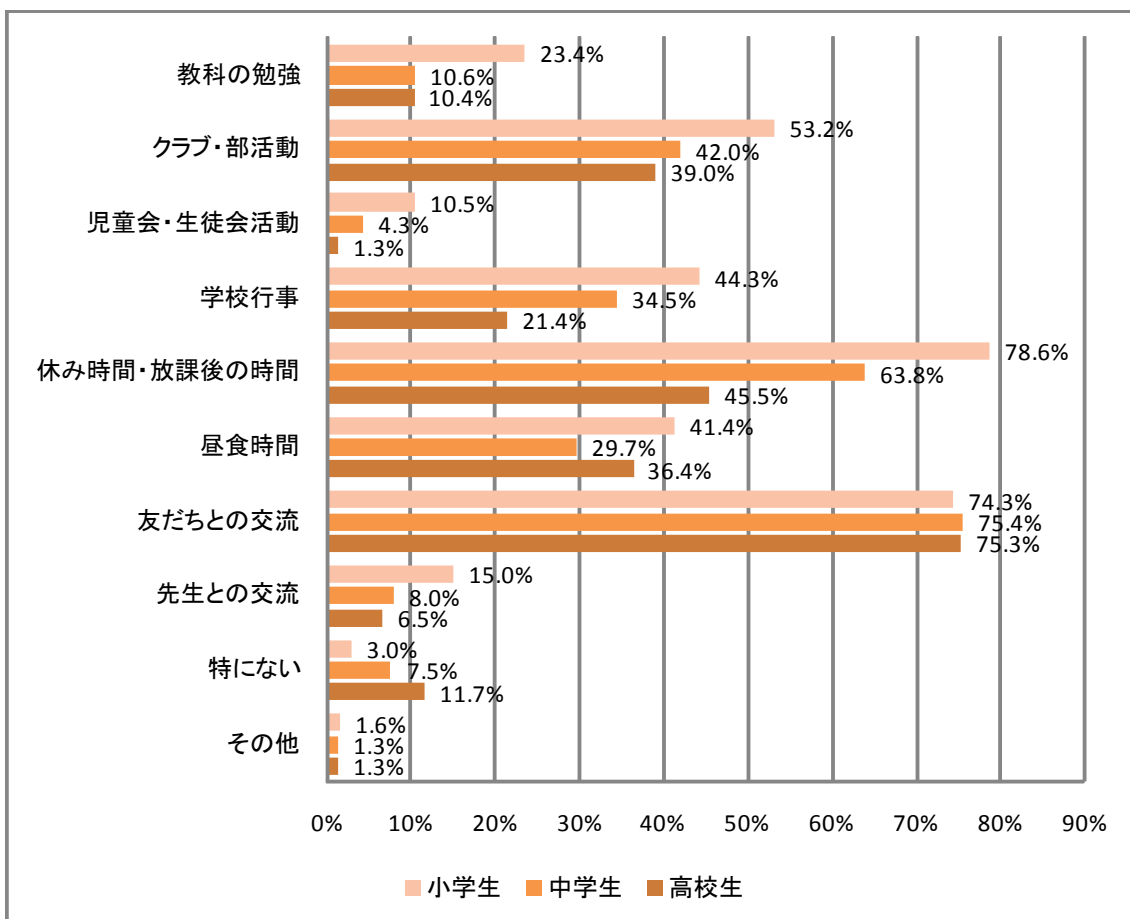
（児童生徒）問 7 あなたが、今学校生活で楽しいと感じるものは何ですか（あてはまるものすべてに○）。

*小学生、中学生、高校生ともに、学校生活の中で楽しいと感じるものとして「友だちとの交流」をそれぞれ7割以上の子どもが選択している。

*学校生活での中心である「教科の勉強」は小学生 23.4%、中学生、高校生では約1割しか楽しいと感じていない。

（表 5－1）

小 N=440 中 N=464 高 N=154



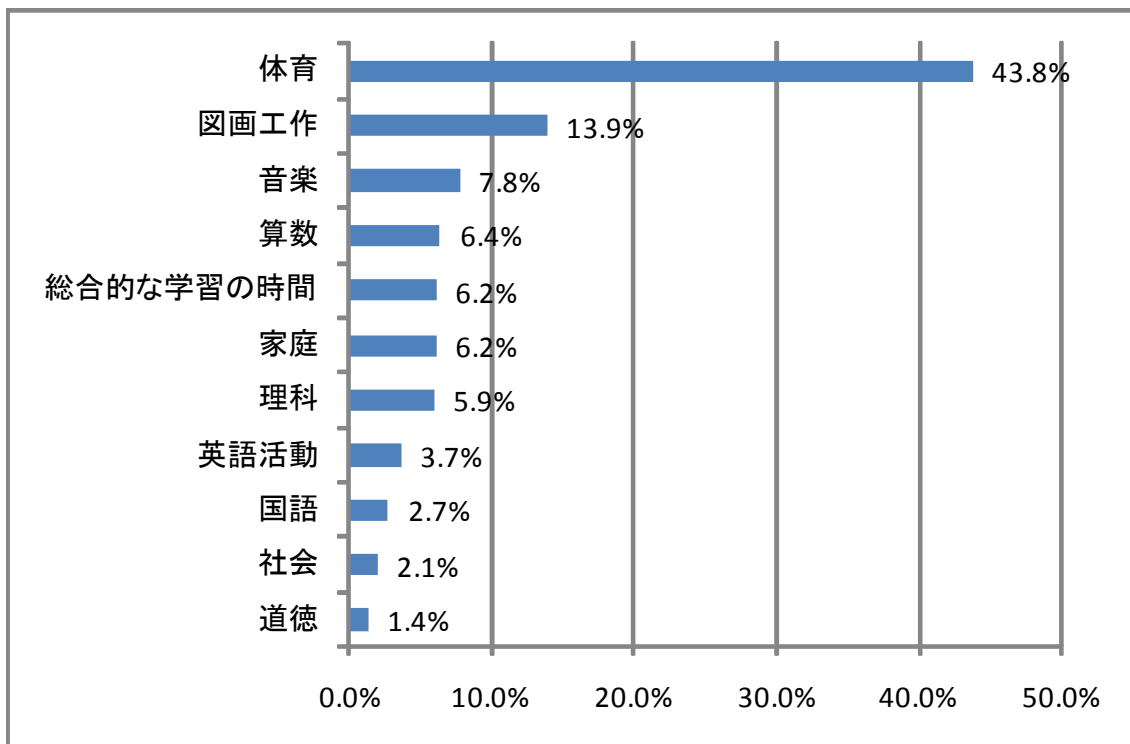
（２）好きな科目

（児童生徒）問 11 学校で習う科目などのうち、一番好きなものはどれですか（１つに○。）

*小学生、中学生、高校生ともに、一番好きな科目として、体育・保健体育を選んでいる。

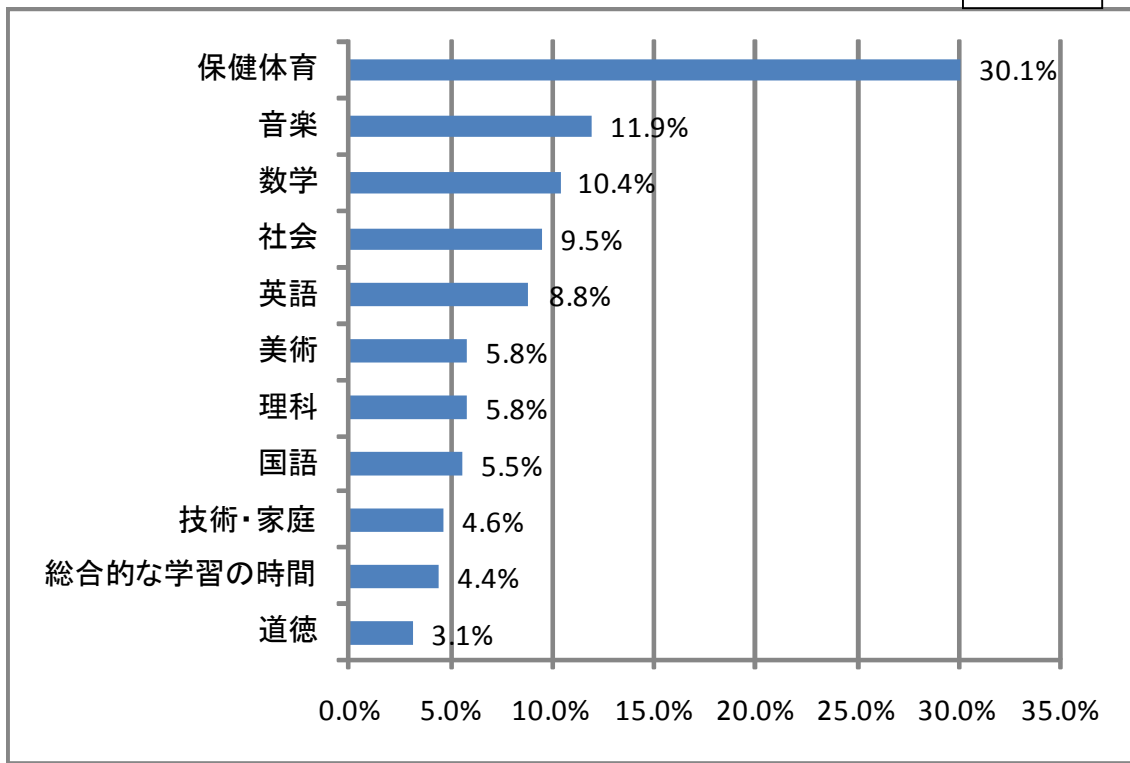
（表５－２ 小学生 好きな科目）

N=438



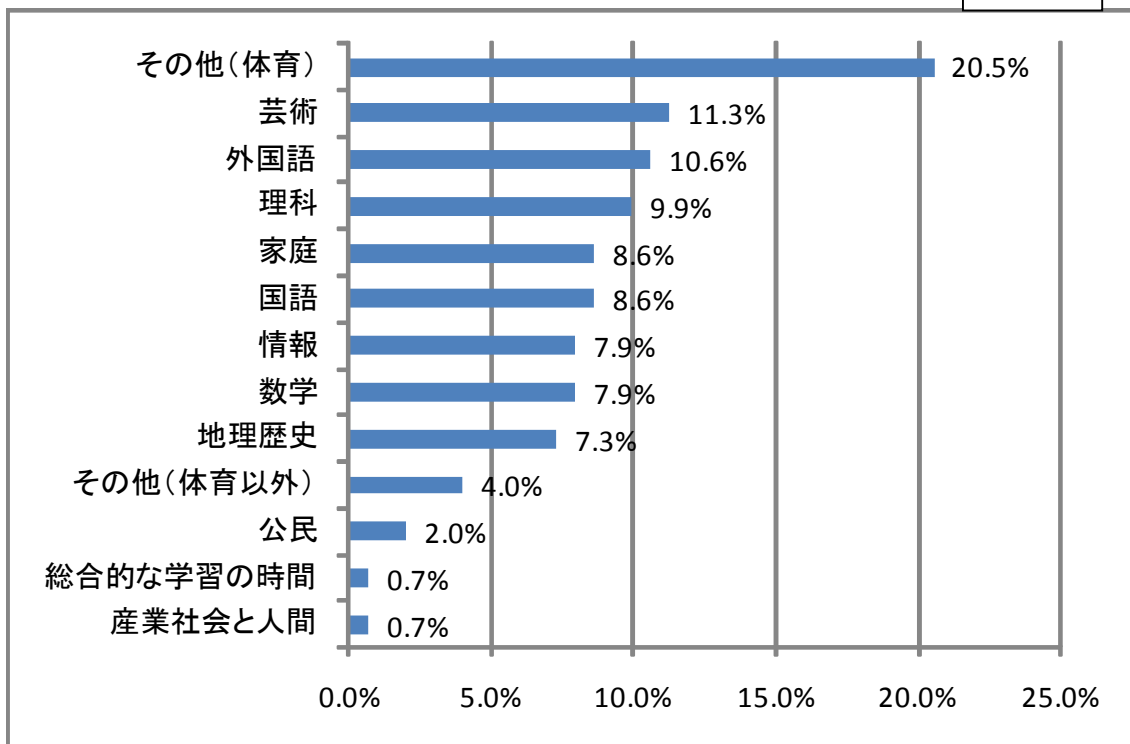
（表 5－3 中学生 好きな科目）

N=452



（表 5－4 高校生 好きな科目）

N=151



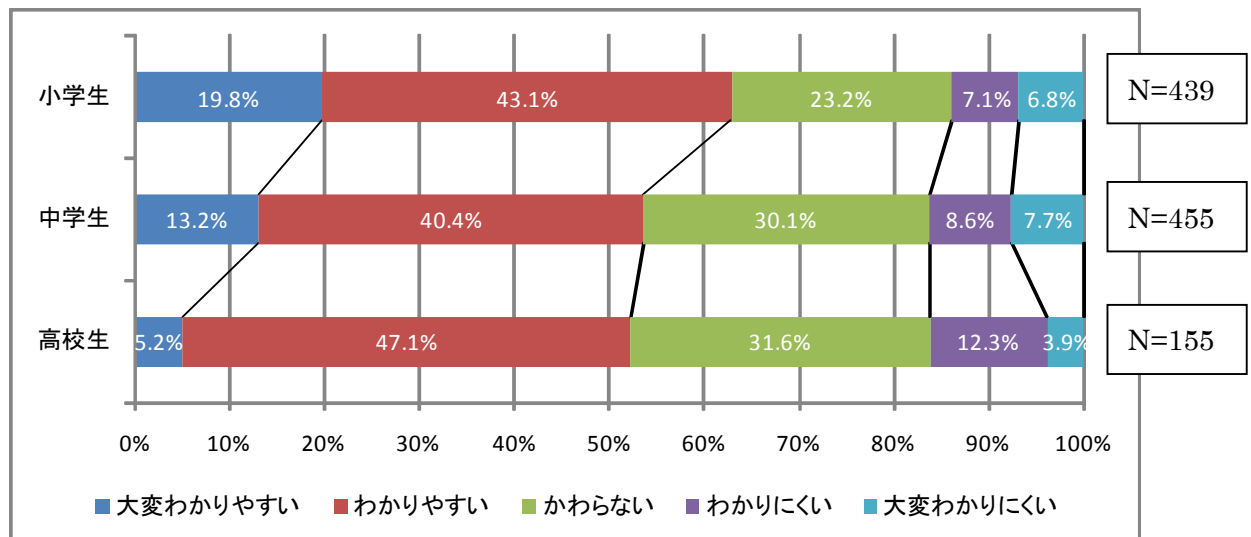
（３）パソコンなどを使った授業

（児童生徒）問 12 先生がパソコンやプロジェクターを使う授業は、わかりやすいですか（１つに○）。

＊小学生、中学生、高校生ともに、パソコンなどを使った授業については５割から６割の子どもが「大変わかりやすい」「わかりやすい」を選択している。また、小→中→高と上がるにしたがい、選択率は下がっている。

＊一方で、「わかりにくい」「大変わかりにくい」も、小学生・中学生・高校生ともに15%前後選択されている。

（表５－５）



（４）小学生と中学生の交流

（児童生徒）

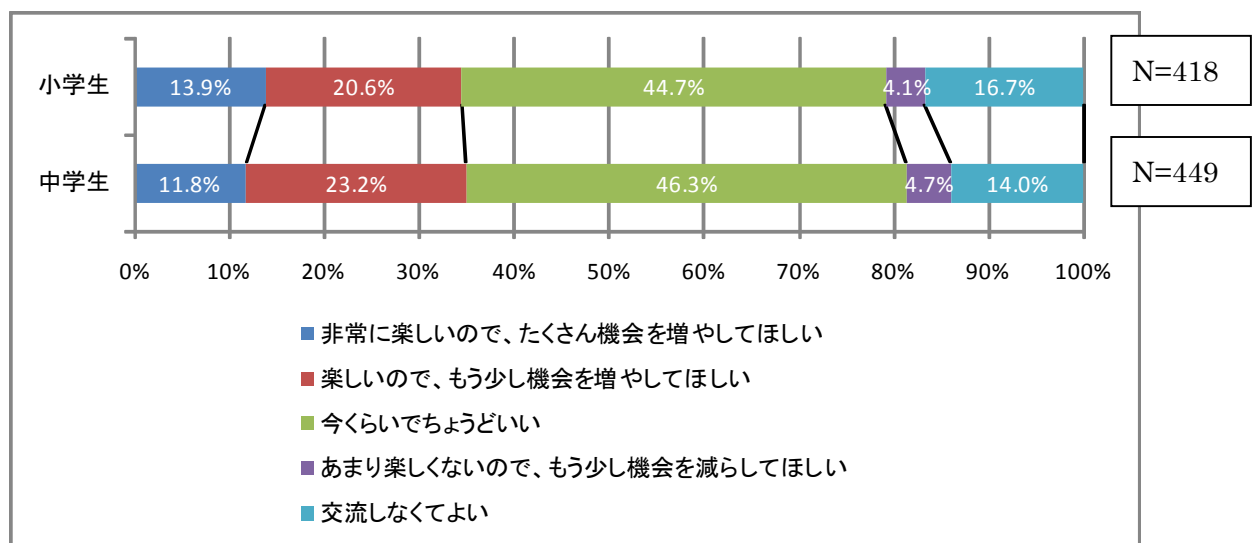
《小学生》問 13 学校での行事などで、中学生と交流することについてどのように感じていますか（１つに○）。

《中学生》問 13 学校での行事などで、小学生と交流することについてどのように感じていますか（１つに○）。

※高校生については、設問なし

＊「たくさん機会を増やしてほしい」「もう少し機会を増やしてほしい」の合計が、小学生 34.5%、中学生 35.0%となっている一方、「もう少し機会を減らしてほしい」「交流しなくてよい」の合計も小学生 20.8%、中学生 18.7%となっている。

（表 5－6）



（５）授業理解度

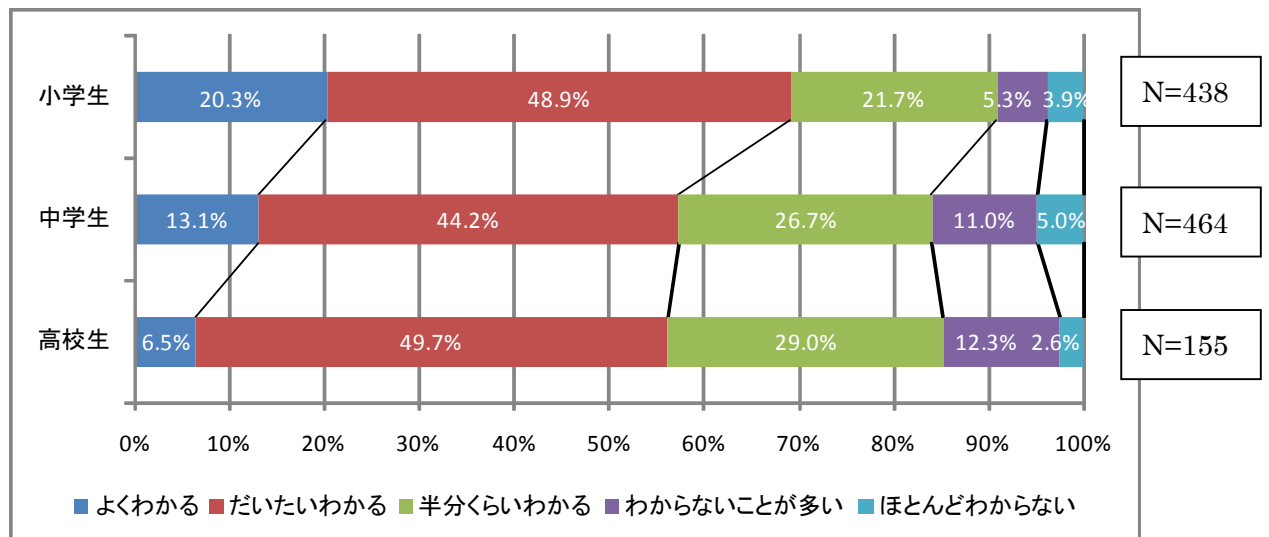
① 児童生徒から

（児童生徒）問 10 学校の授業は分かりますか（１つに○）。

* 「よくわかる」については、小学生（20.3%）→中学生（13.1%）→高校生（6.5%）となっており、小→中→高と上がることに、減っていく傾向にある。

* また、「わからないことが多い」「ほとんどわからない」については、小学生（9.2%）、に対し、中学生（16.0%）と選択率が高くなっている

（表５－７）児童生徒

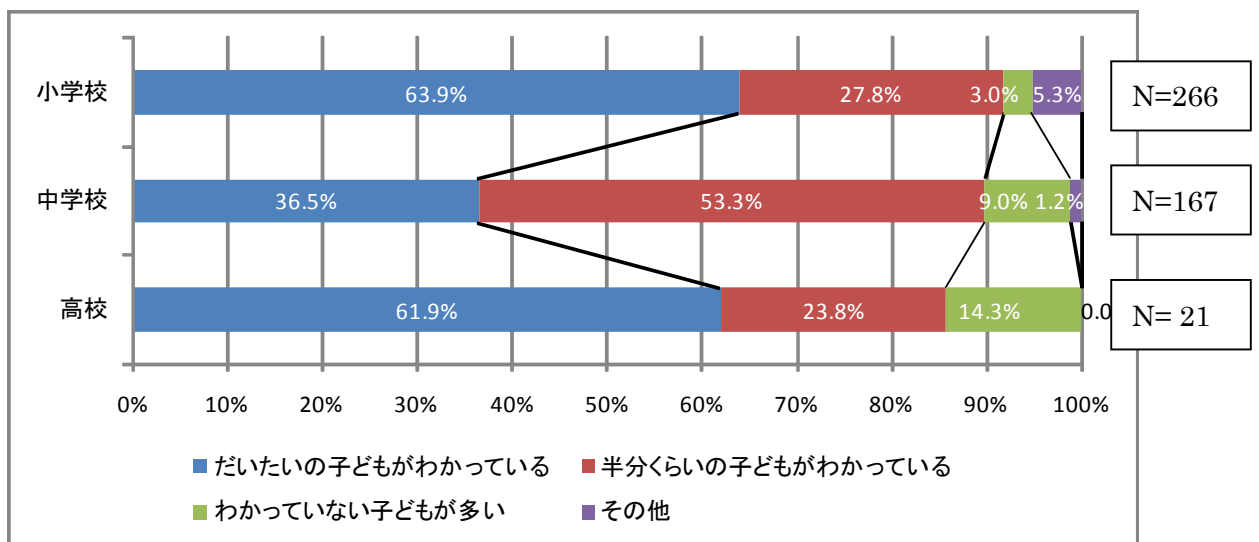


② 教員から

（教員）問 13 あなたが担任しているクラス（または教えている教科、全学年）で、授業がわかる子どもはおおよそどの程度でしょうか（1つに○）。

* 「だいたいの子どもがわかっている」が、小学校（63.9％）に対し、中学校（36.5％）であり、また、「わかっている子どもが多い」も小学校（3.0％）に対し、中学校（9.0％）となっている。

（表 5－8）教員



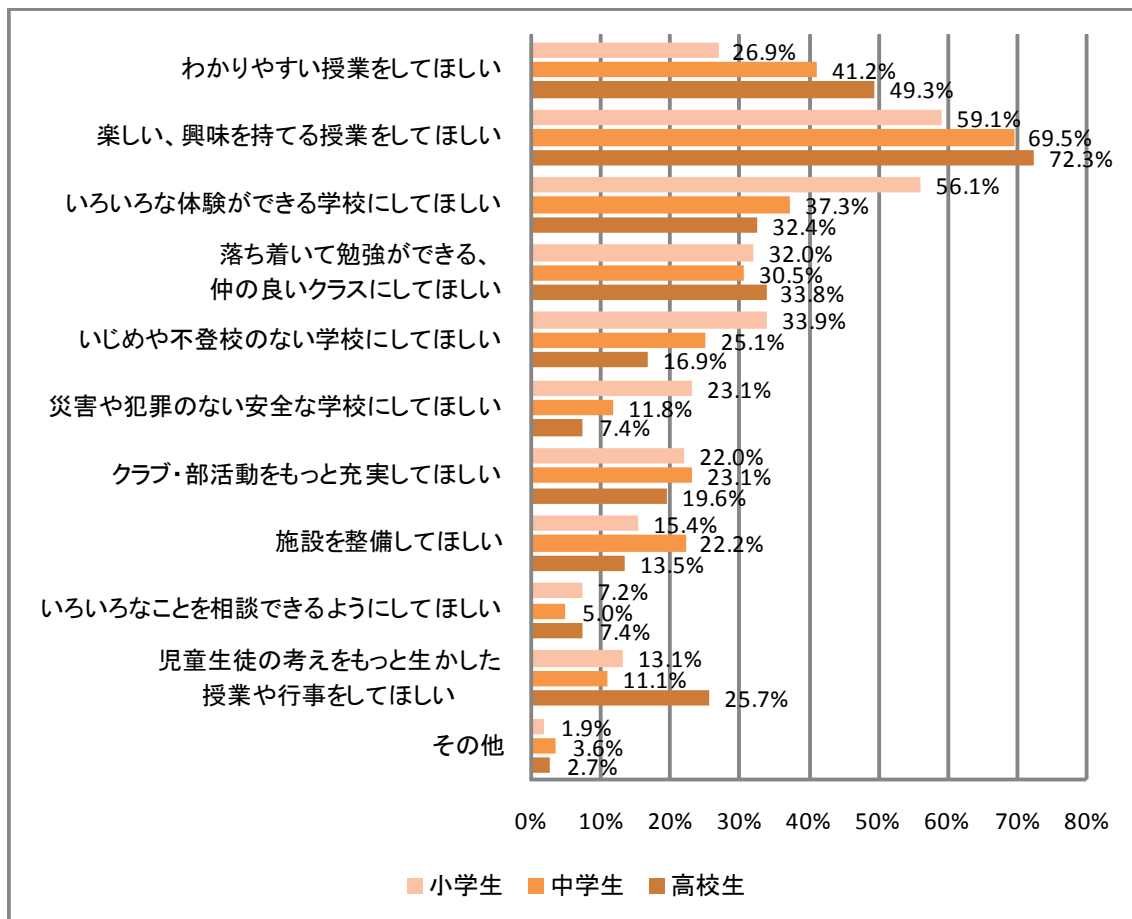
（６）望まれる学校像

（児童生徒）問８ あなたは学校をどのような学校にしてほしいですか（おもなもの
３つに○）。

* 学校種別により、多少数値に差があるが、「わかりやすい授業」「楽しい、興味が持てる授業」「いろいろな体験ができる」などの選択率が高い。

（表５－９）

小 N=428 中 N=442 高 N=148



（７） 担当クラスで困ったこと

（教員）問 12 あなたが担任・担当しているクラス（担任・担当のない人は学校全体）の子どもについて、何か困ったこと、問題と覚えることはありますか。（あてはまるものすべてに○）。

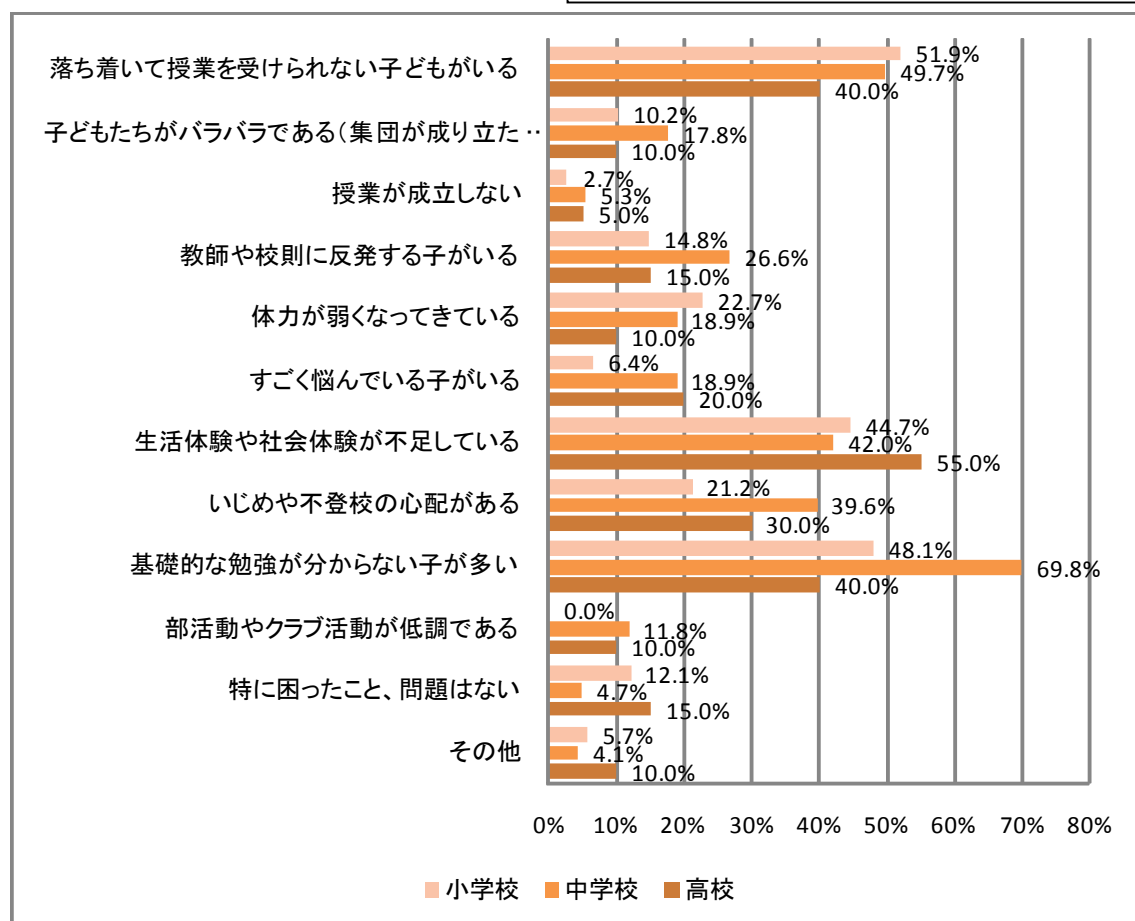
＊全体を通じて、「基礎的な勉強が分からない子が多い」「落ち着いて授業を受けられない子どもがいる」「生活体験や社会体験が不足している」の選択率が高い。

（前回調査とは選択肢の内容が一部異なるが、上位３つが上記選択肢であったという点では同じ傾向である。）

＊特に、中学校では、69.8%の教員が「基礎的な勉強が分からない子が多い」を選んでる。

（表５－10）

小 N=264 中 N=169 高 N=20



（８）望まれる教師像

（児童生徒）問 9 あなたが好きな先生はどのような先生ですか（おもなものを３つに○）。

（保護者・市民）問 6（教員）問 11 あなたが考える望ましい先生はどのような先生ですか（３つまで選んで○）。

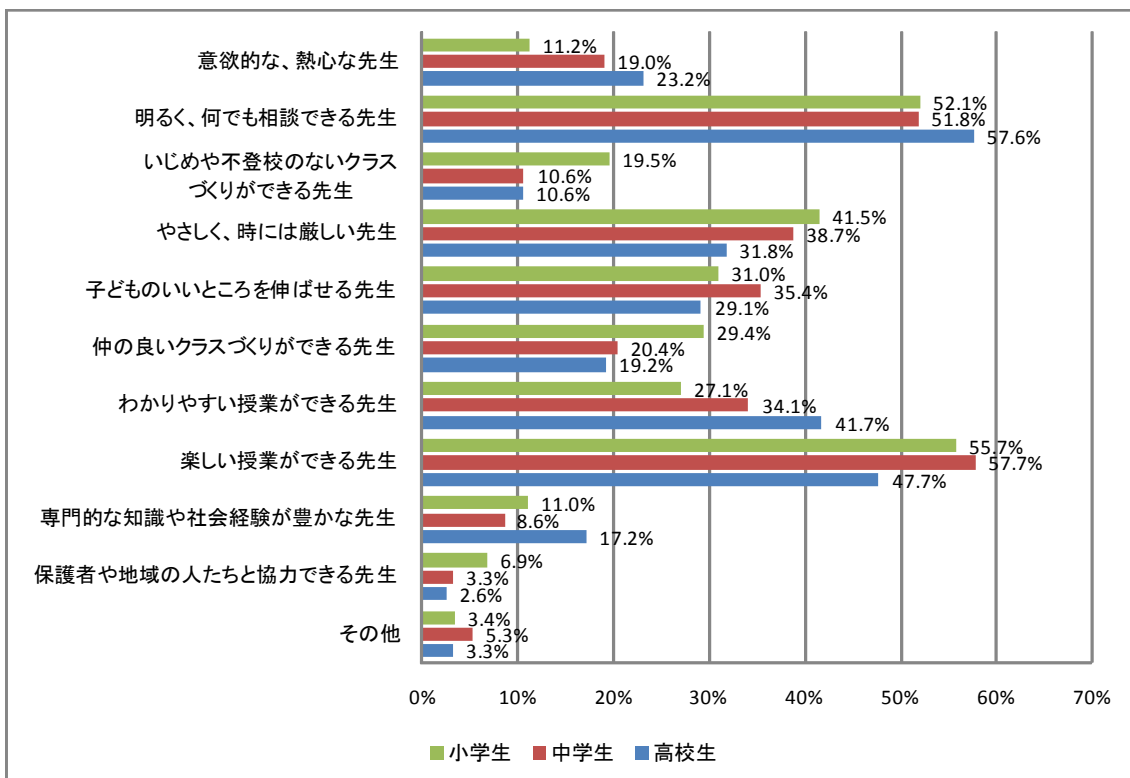
＊児童生徒については、５割前後が「明るく、何でも相談できる先生」「楽しい授業ができる先生」を選んでいる。（これらは、保護者・市民・教員においては、選択率があまり高くない。）また、「やさしく、時には厳しい先生」「わかりやすい授業ができる先生」も３割前後が選ばれている。

＊保護者・市民・教員では、４割を超えた選択率となっているのが「やさしく、時には厳しい先生」「子どものいいところを伸ばせる先生」「わかりやすい授業ができる先生」である。

＊特に教員は、「わかりやすい授業ができる先生」を 72.5%が選択し、望ましい教師像としている。

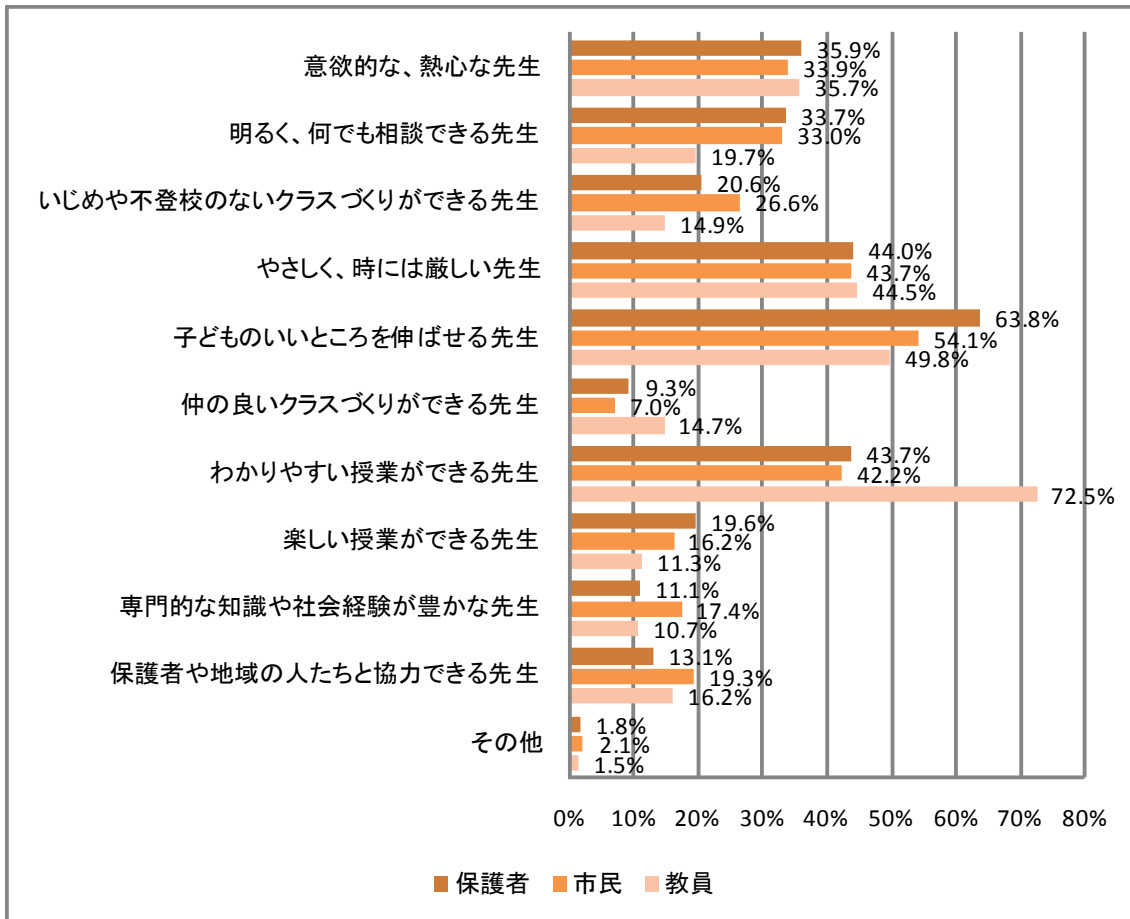
（表 5－11）児童生徒

小 N=436 中 N=452 高 N=151



（表 5－12）保護者・市民・教員

保 N=398 市 N=327 教 N=426



（９）教員に必要な研修

（保護者・市民）問 7 先生の研修として重要だと思うものはどれですか（３つまで選んで○）。

（教員）問 18 今後どのような研修を希望しますか（３つまで選んで○）。

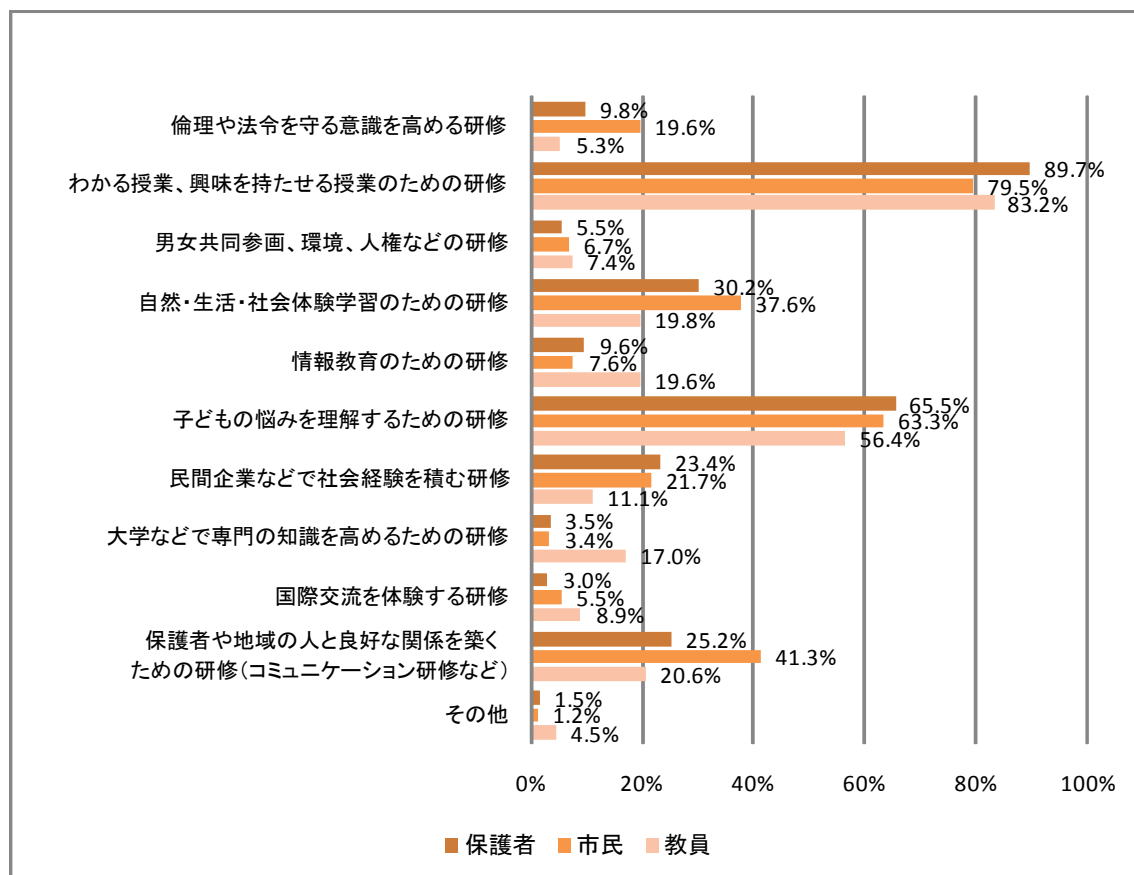
（表 5－13）

＊保護者、市民、教員とも「わかる授業、興味を持たせる授業のための研修」「子どもの悩みを理解するための研修」の選択率が高い。

＊教員は、「情報教育のための研修」（19.6%）「大学などで専門の知識を高める研修」（17.0%）といった実務的な能力向上につながる研修も選んでいるが、これらについて、保護者や市民は選択率が低い。

＊また「民間企業などで社会経験を積む研修」「自然・生活・社会体験学習のための研修」「倫理や法令を守る意識を高める研修」などは、教員の選択率に比べて、保護者・市民の選択率が高い。

保 N=397 市 N=327 教 N=470

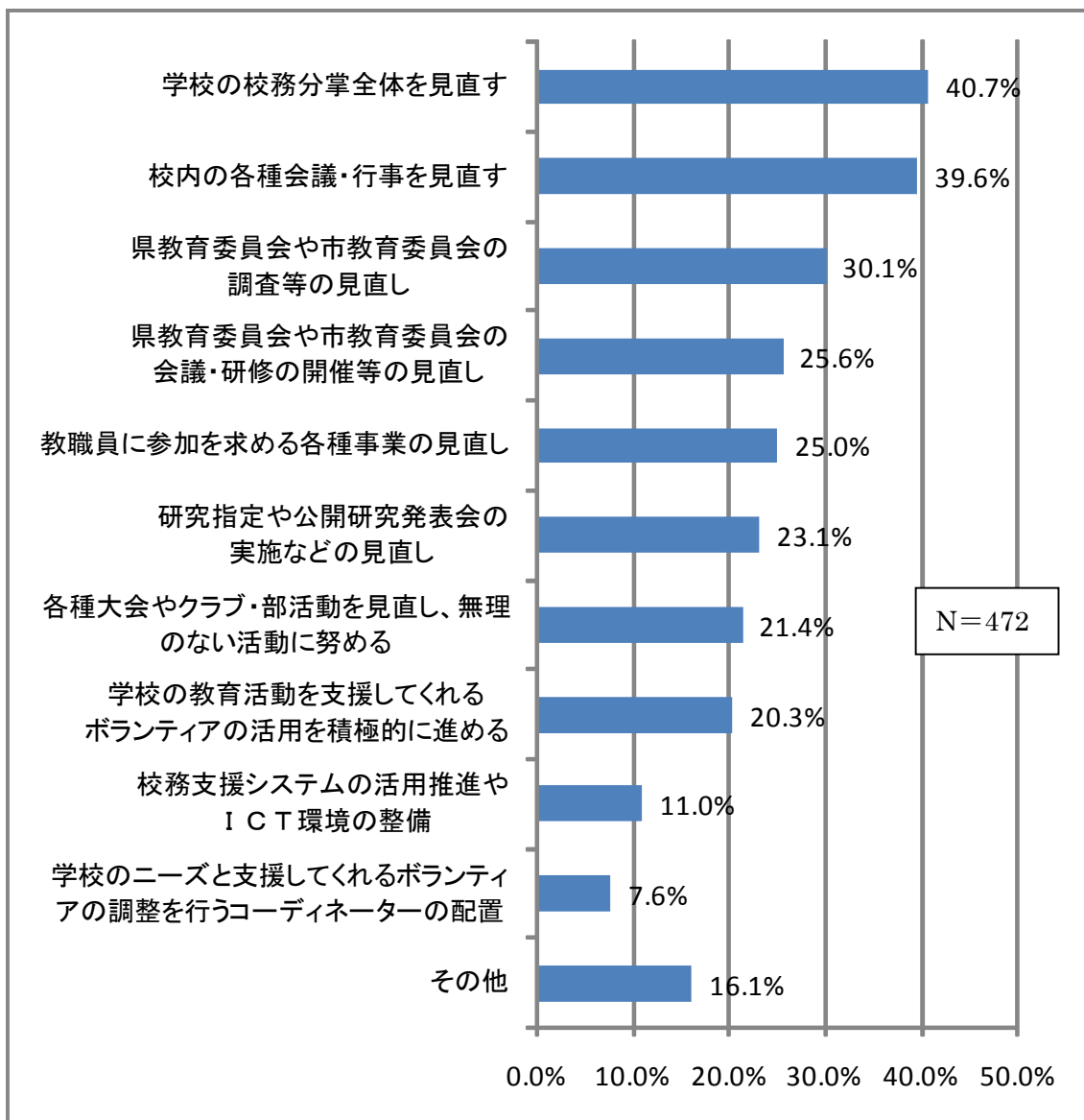


(10) 教員の多忙化解消に必要な取り組み

（教員）問 17 教員の多忙化解消するためには、どのような取り組みが有効だと思いますか（3つまで選んで○）。

* 「学校の校務分掌全体を見直す」「校内の各種会議・行事を見直す」という学校内部での取り組みと「県教育委員会や市教育委員会の調査等を見直し」「同会議・研修の開催等を見直し」など、教育委員会からの事務の軽減の選択率が高い。

(表 5－14)



(11) 子どもの教育に必要だと思うこと

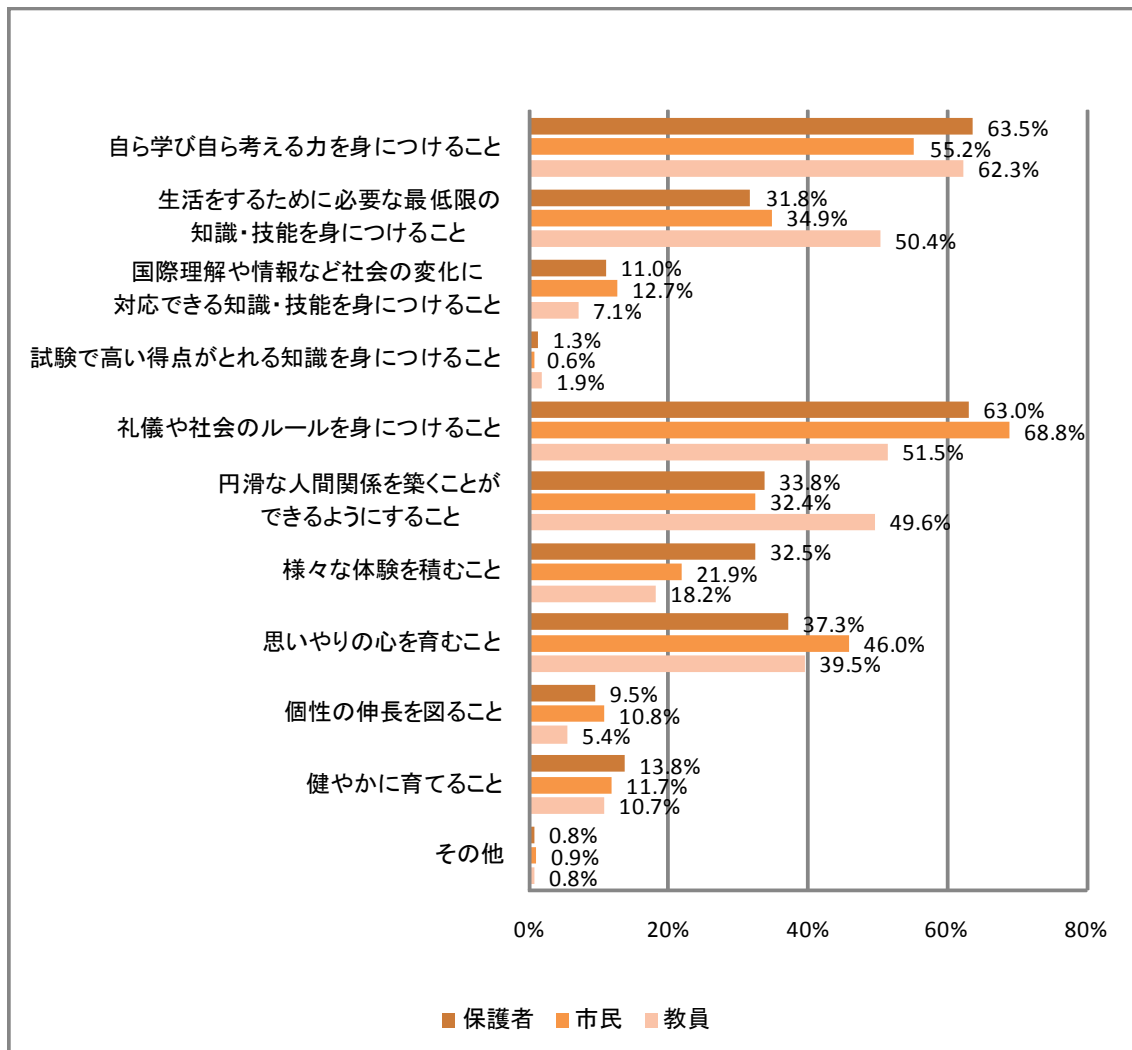
（保護者・市民）問 5 （教員）問 10 あなたが、小学校・中学校の子どもの教育に必要なだと思うことは何ですか（3つまで選んで○）。

*保護者・市民・教員ともに、5割から6割強が「自ら学び自ら考える力を身につけること」「礼儀や社会のルールを身につけること」を選んでいる。

*教員は、「生活をするために必要な最低限の知識・技能を身につけること」（50.4%）「円滑な人間関係を築くことができるようにすること」（49.6%）の選択率も高い。

（表 5－15）

保 N=400 市 N=324 教 N=478



(12) 基礎的学力向上への取り組み

（保護者・市民）問 8 （教員）問 14 「基礎的学力」を高めるために、学校教育でどのような取り組み体制が必要とお考えですか（3 つまで選んで○）。

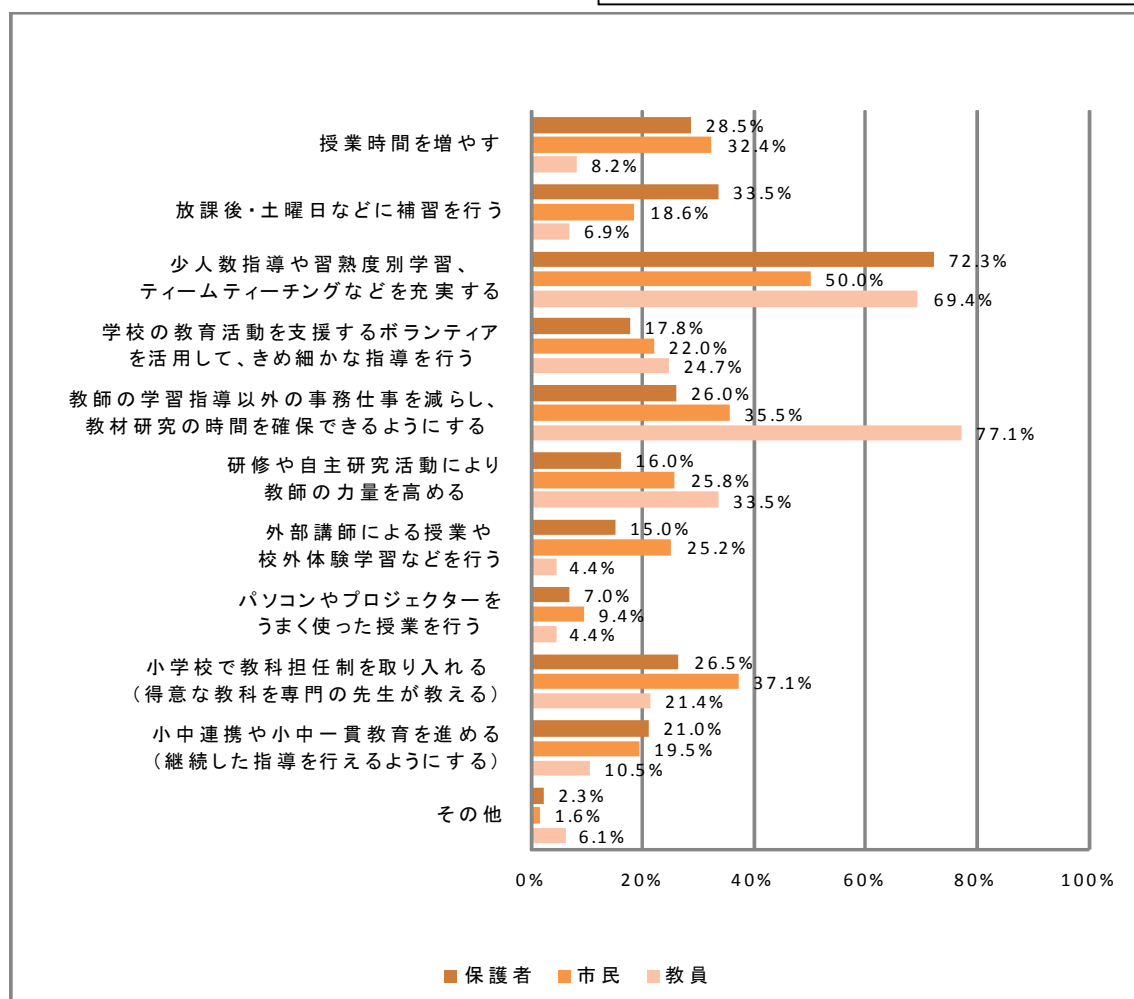
*「少人数指導や習熟度別学習」については、保護者・市民・教員とも選択率が高くなっている。

*教員は、「教材研究の時間を確保できるようにする」(77.1%)「研修や自主研究活動により教師の力量を高める」(33.5%)などの選択率が高く、これらは保護者や市民の選択率を大きく上回っている。

*一方、保護者や市民は、「授業時間を増やす」「放課後・土日などに補習を行う」など、の選択率が高くなっているが、教員の選択率はあまり高くない。

(表 5 - 16)

保 N=400 市 N=318 教 N=477



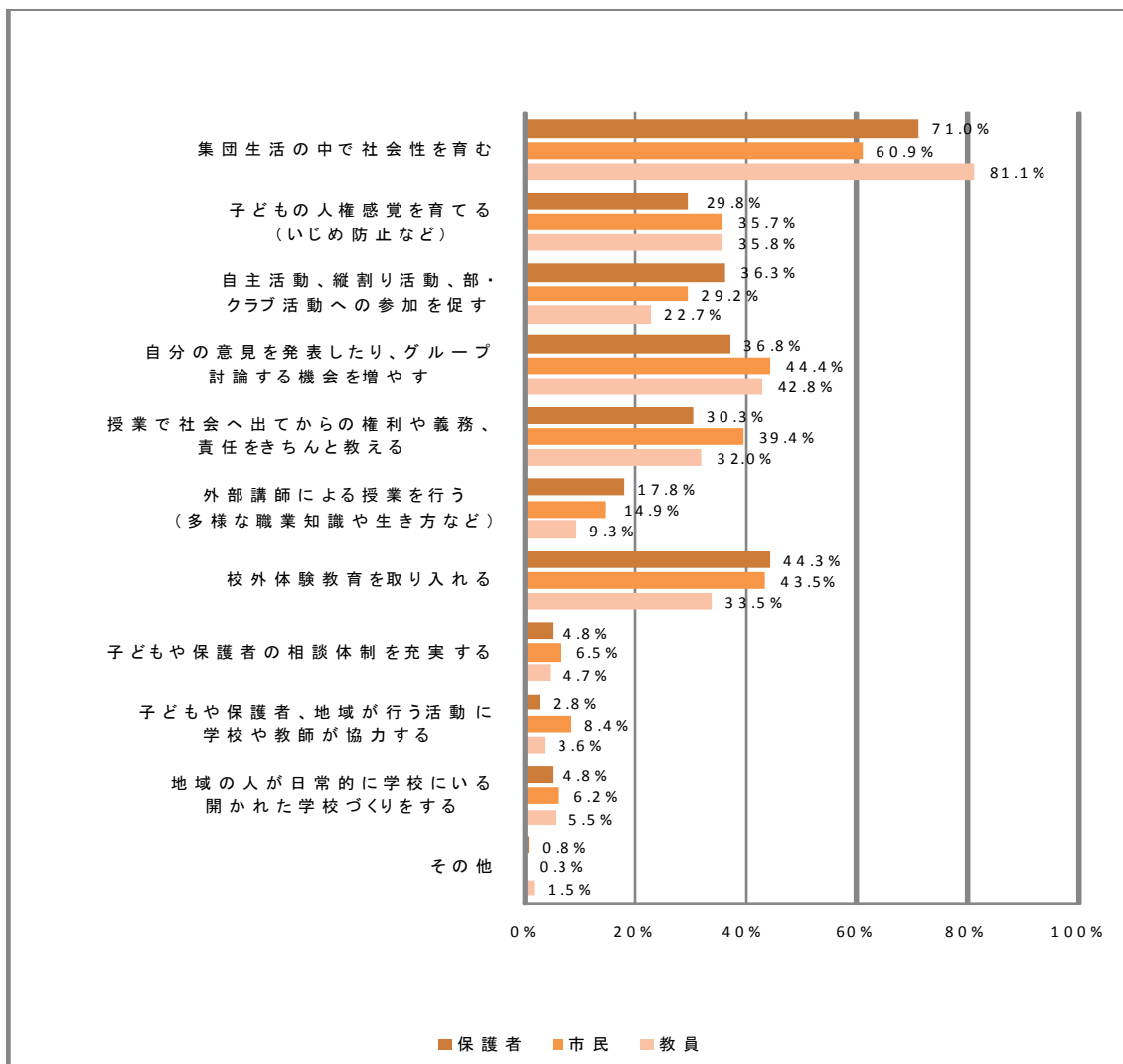
(13) 社会生活に役立つ力をつけるための取り組み

（保護者・市民）問9（教員）問15 社会生活に役立つ力を子どもがつけるために、学校でどのような取り組みが必要とお考えでしょうか（3つまで選んで○）。

*保護者・市民・教員の回答にあまり差がなく、「集団生活の中で社会性を育む」「自分の意見を発表したり、グループ討論する機会を増やす」「校外体験教育を取り入れる」の選択率が高くなっている。

(表5-17)

保 N=400 市 N=322 教 N=472



(14) いじめ・不登校を未然に防ぐ取り組み

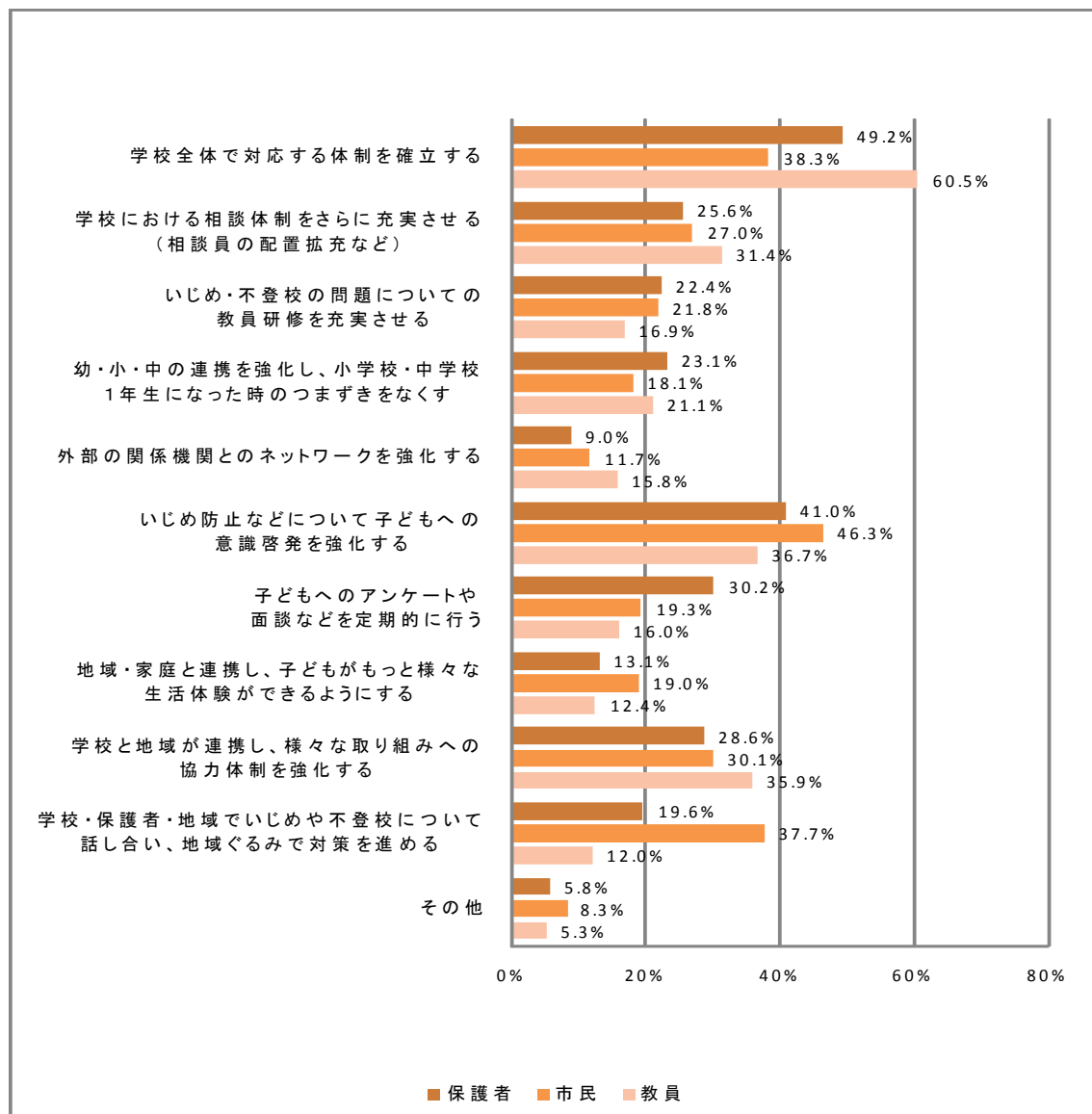
（保護者・市民）問 10（教員）問 16 いじめや不登校を未然に防止するためにはどのような対策が有効だとお考えですか（3つまで選んで○）。

＊「学校全体で対応する体制を確立する」「いじめ防止などについて子どもへの意識啓発を強化する」が多く選択されている。

＊また、市民については、「学校・保護者・地域でいじめや不登校について話し合い、地域ぐるみで対策を進める」の選択率も 37.7%と高い。

（表 5－18）

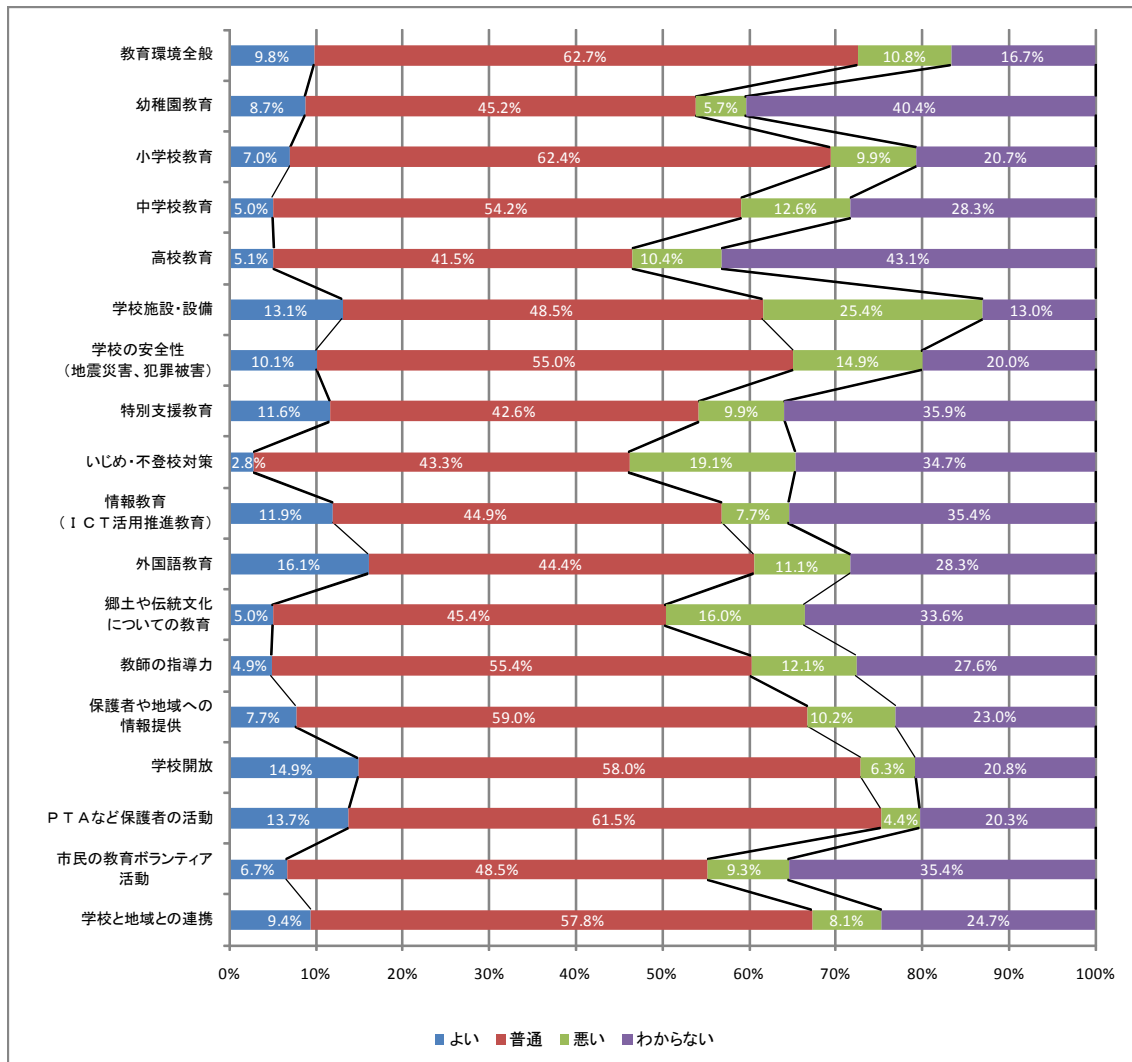
保 N=398 市 N=326 教 N=474



(15) 横須賀市の教育への評価

（保護者・市民）問 15（教員）問 19 横須賀市の教育について、どのように評価されるでしょうか（①から⑱のそれぞれ1つに○）。

（表 5－19）

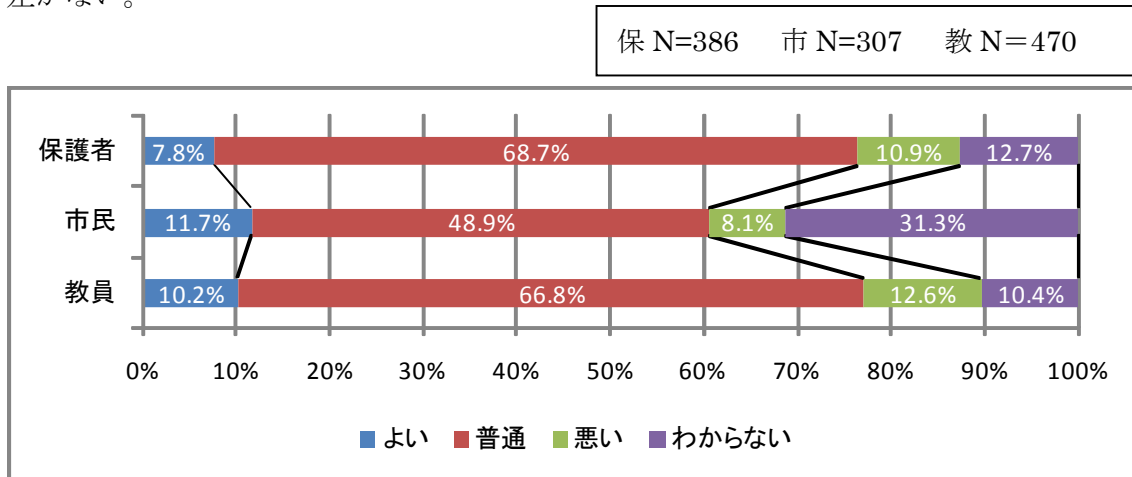


*保護者、市民、教員を合わせた選択率

*各質問項目の保護者、市民、教員の回答を比較した結果は次ページ以降に掲載

① 教育環境全般

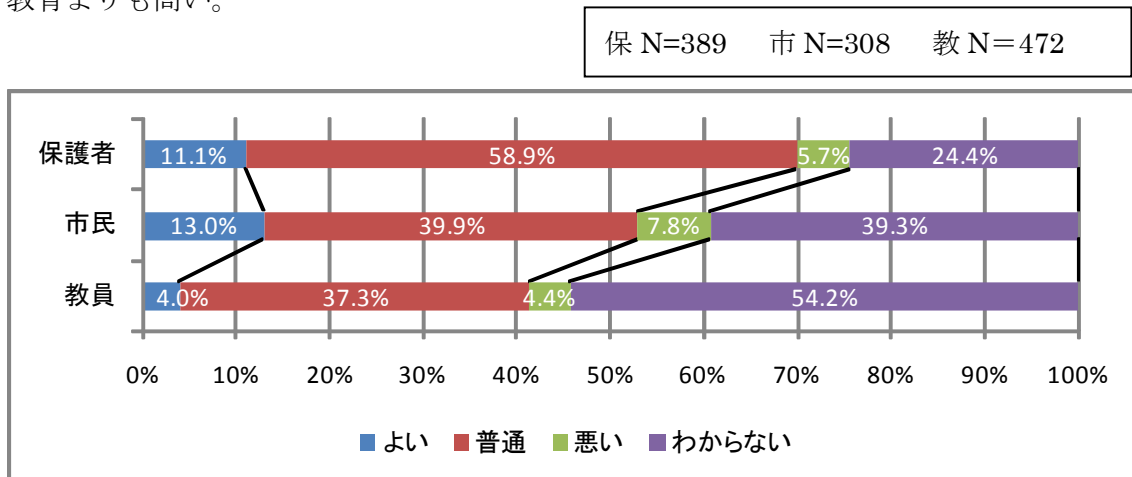
*「よい」と「悪い」の選択率にあまり差がなく、また保護者・市民・教員にもあまり差がない。



② 幼稚園教育

*教員の 54.2%が「わからない」を選択している。

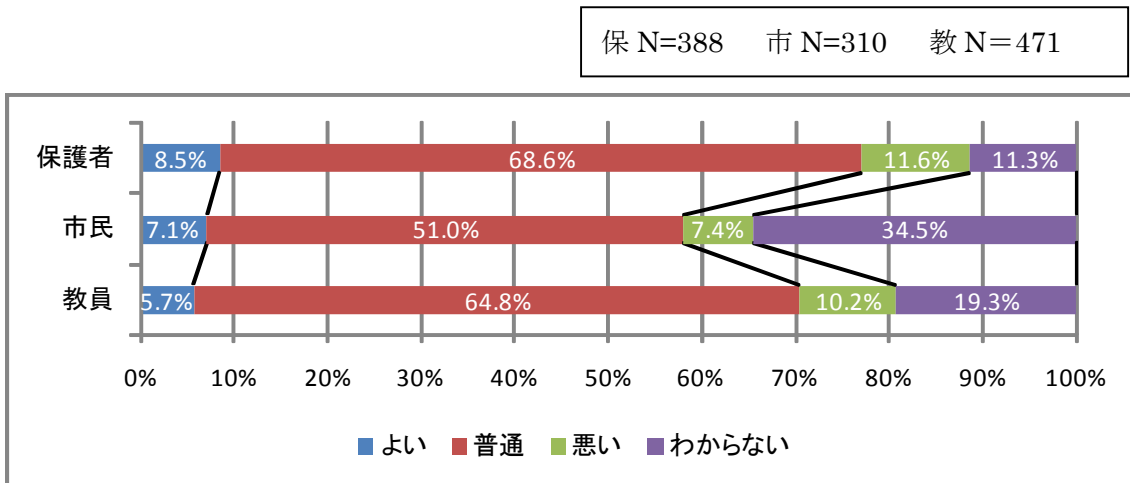
*保護者・市民について、「よい」の選択率が、③小学校教育、④中学校教育、⑤高校教育よりも高い。



③ 小学校教育

*保護者・教員の約3分の2が「普通」を選択している。

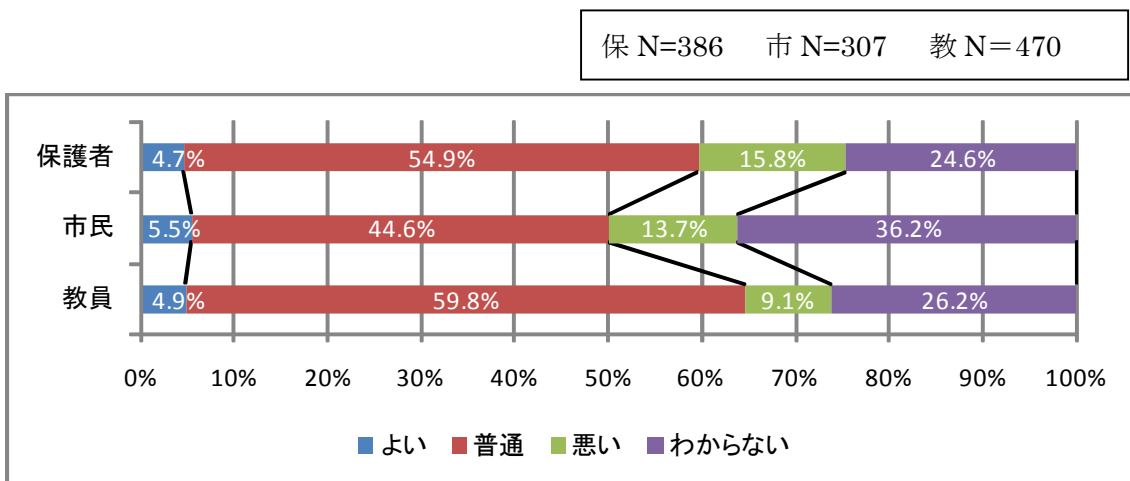
*「よい」に比べて「悪い」という回答率の方がやや高い。



④ 中学校教育

*保護者や市民では、③小学校教育に比べ、「よい」の選択率が低く、「悪い」の選択率が高い。

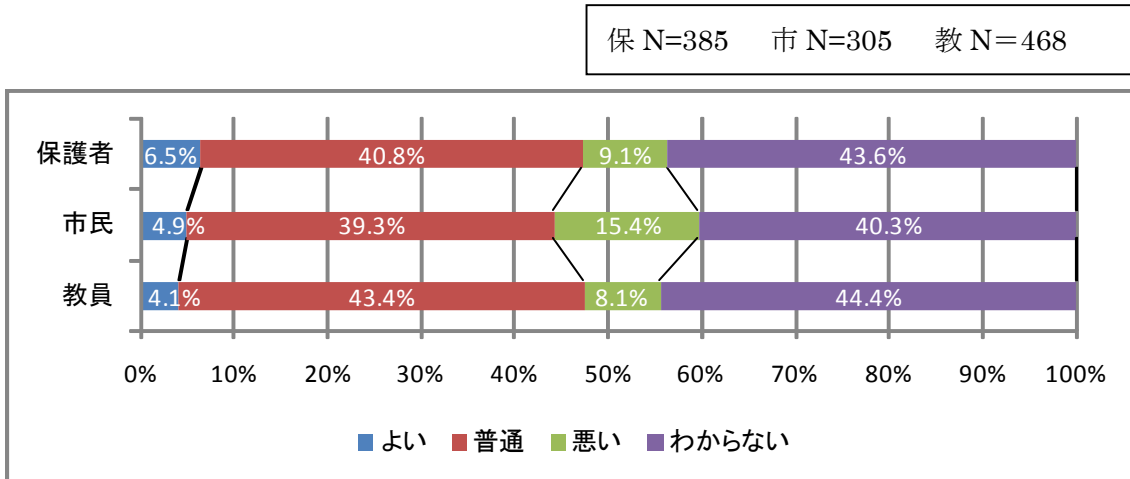
*教員については、③小学校教育と比べ、あまり回答率に差がない。



⑤ 高校教育

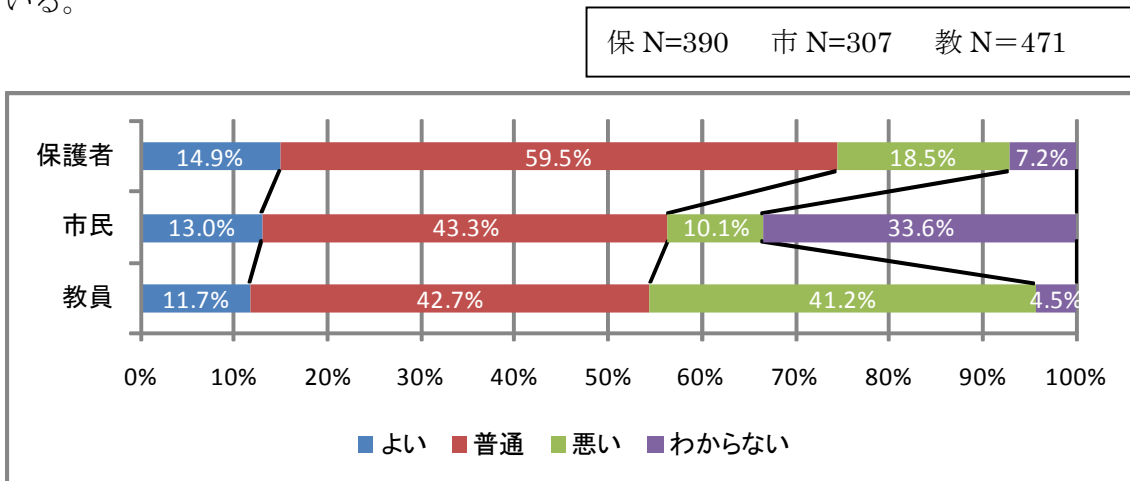
*「わからない」の回答率が保護者・市民・教員とも40%を超えている。

*「悪い」の選択率は、保護者（9.1%）、教員（8.1%）に比べ、市民は15.4%とやや高い。



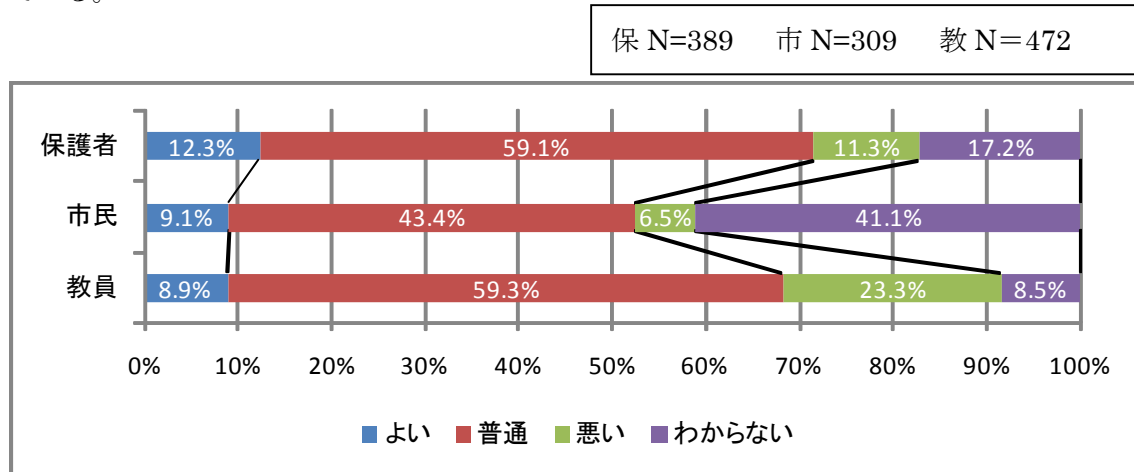
⑥ 学校施設・設備

*教員の41.2%が「悪い」を選択し、保護者（18.5%）・市民（10.1%）を大きく上回っている。



⑦ 学校の安全性（地震災害、犯罪被害）

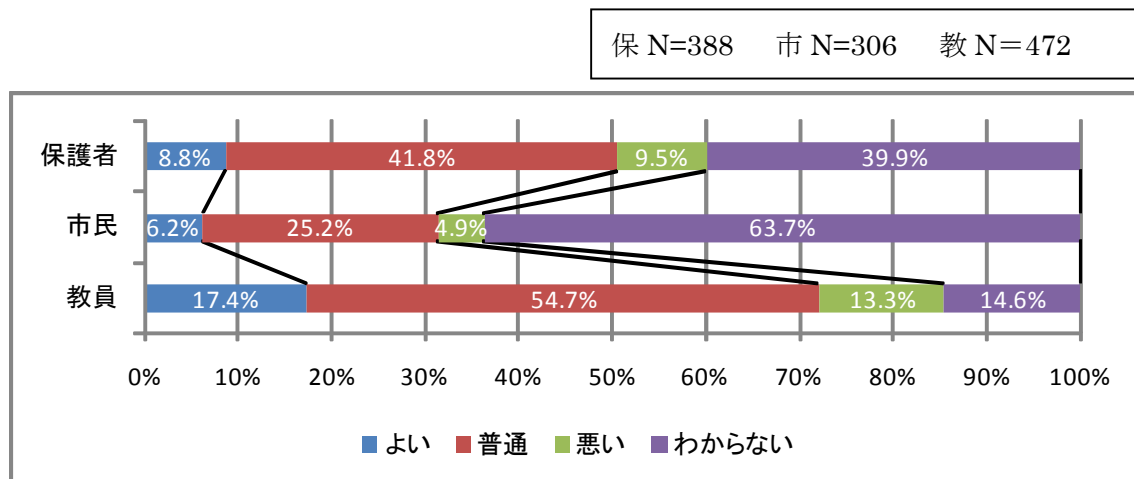
*教員の23.3%が「悪い」を選択しており、保護者（11.3%）、市民（6.5%）よりも、高くなっている。



⑧ 特別支援教育

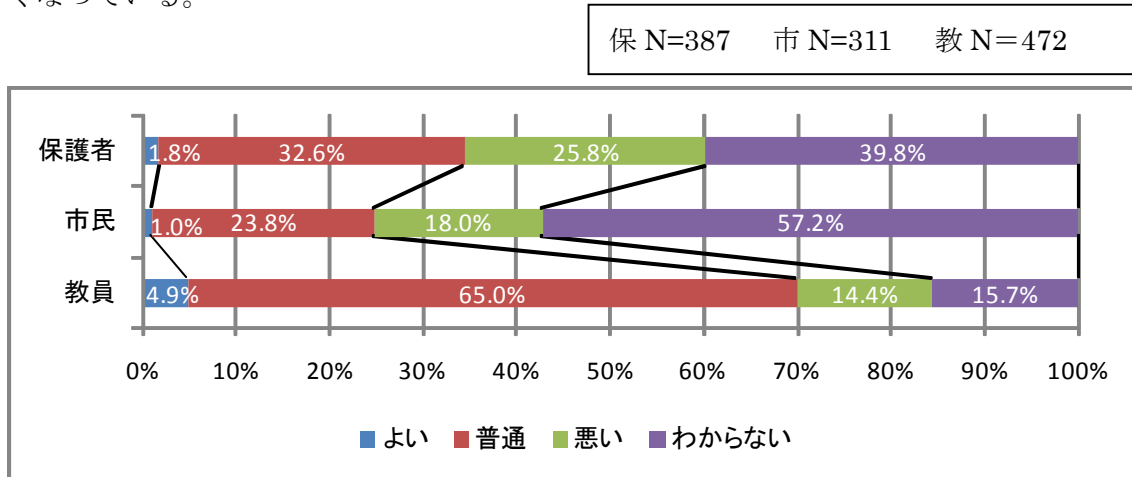
*教員の17.4%は「よい」を選択しており、「悪い」（13.3%）を上回っている。

*市民については、63.7%が「わからない」を選択している。



⑨ いじめ・不登校対策

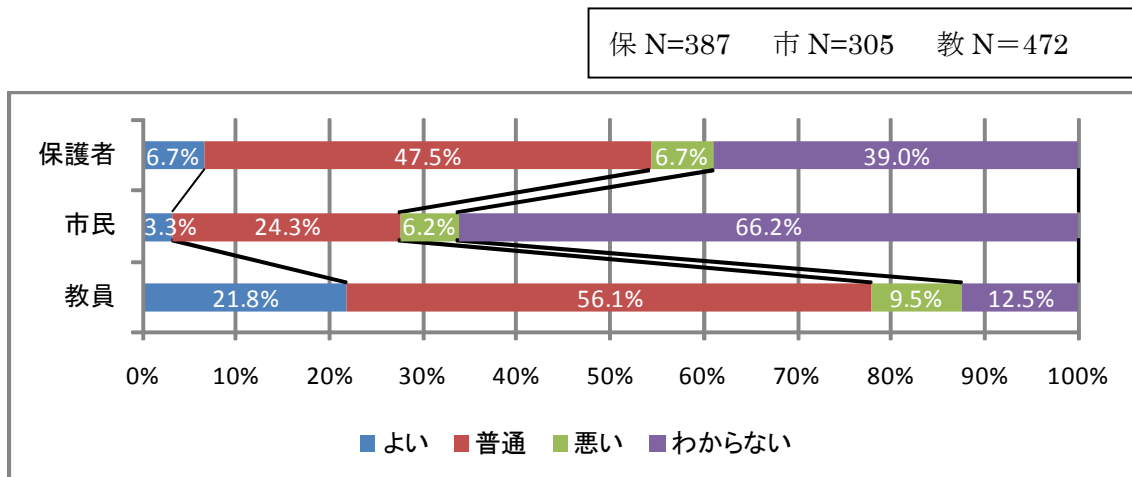
*保護者・市民・教員とも「よい」をほとんど選択しておらず、「悪い」の選択率が高くなっている。



⑩ 情報教育（ICT 活用推進教育）

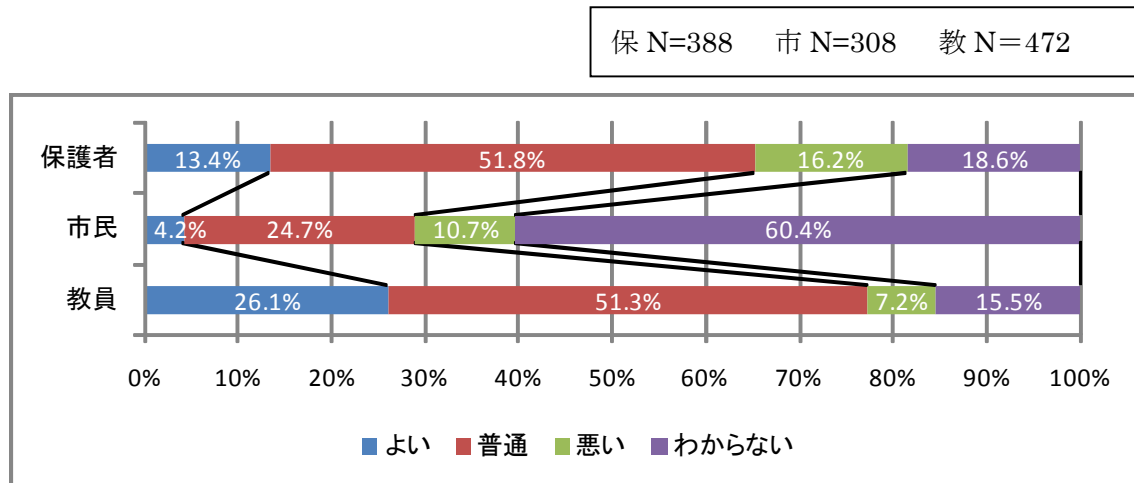
*教員は、「よい」（21.8%）が「悪い」（9.5%）を大きく上回っている。

*市民については、約3分の2が「わからない」を選択している。



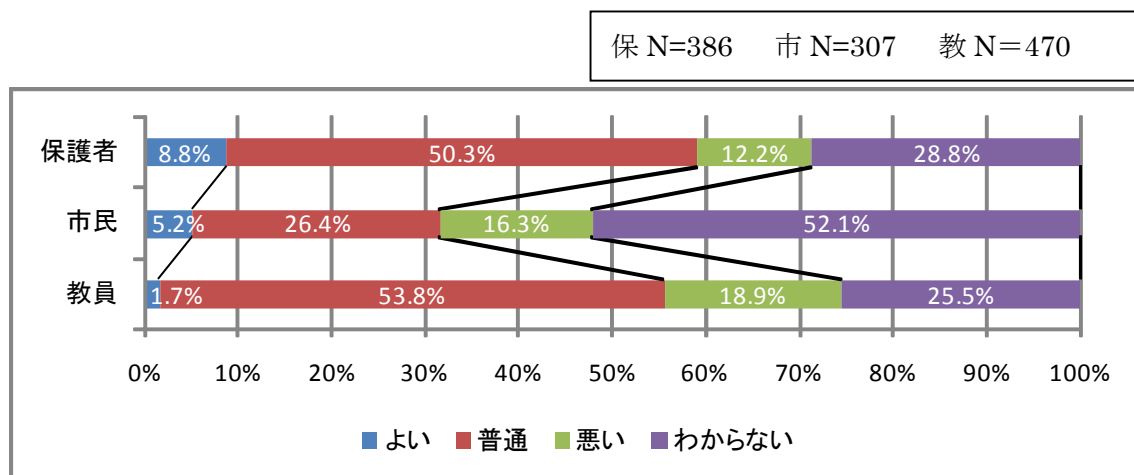
⑪ 外国語教育

*教員は、「よい」(26.1%)の選択率が「悪い」(7.2%)を大きく上回っているが、保護者や市民は「悪い」の選択率の方が高くなっている。



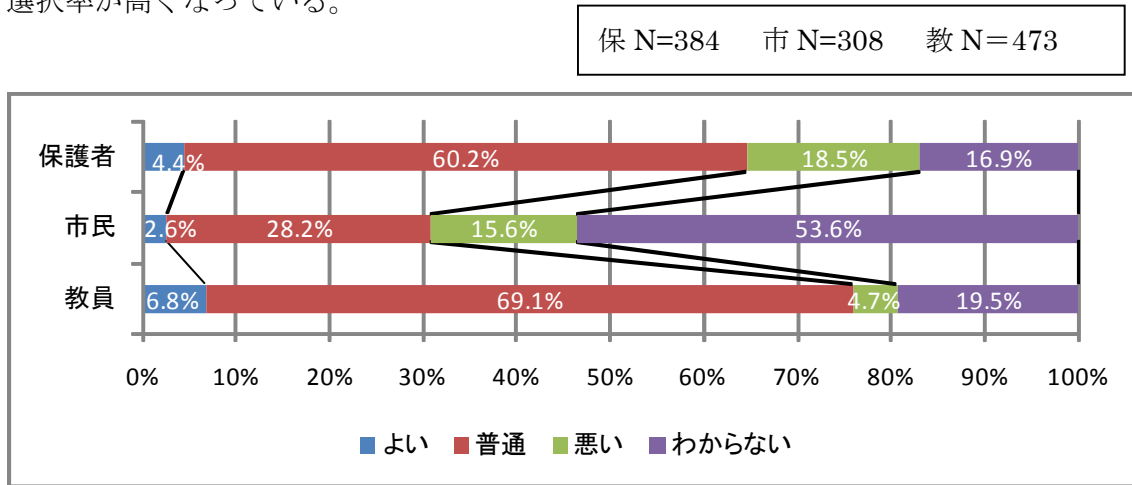
⑫ 郷土や伝統文化についての教育

*全般的に、「悪い」の選択率が「よい」を上回っているが、特に教員は「よい」(1.7%)に対し、「悪い」(18.9%)となっている。



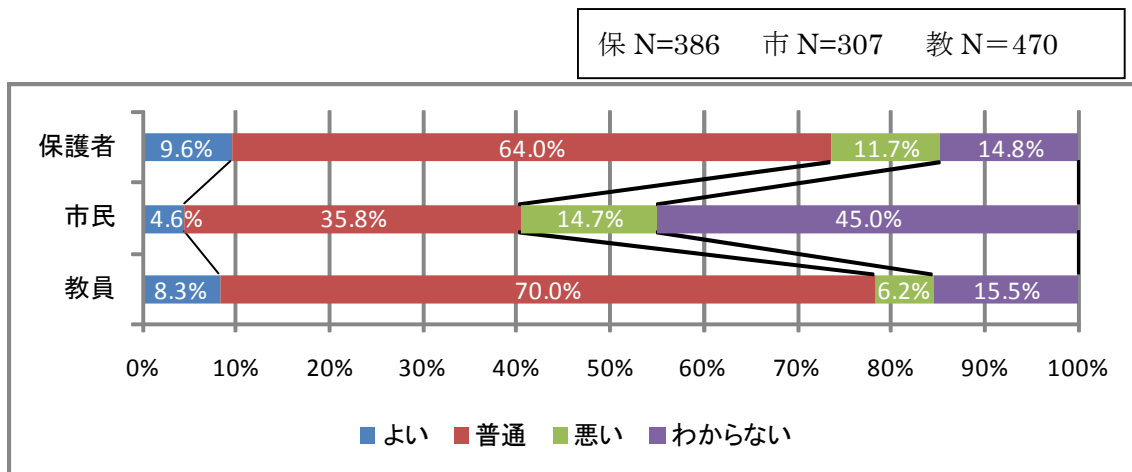
⑬ 教師の指導力

*「悪い」の選択率は、教員（4.7%）に対し、保護者（18.5%）、市民（15.6%）と大幅に選択率が高くなっている。



⑭ 保護者や地域への情報提供

保護者と教員は、「よい」「普通」の選択率が70%を超えているが、市民は40%に止まっている。（「わからない」の選択率も45%と多い。）

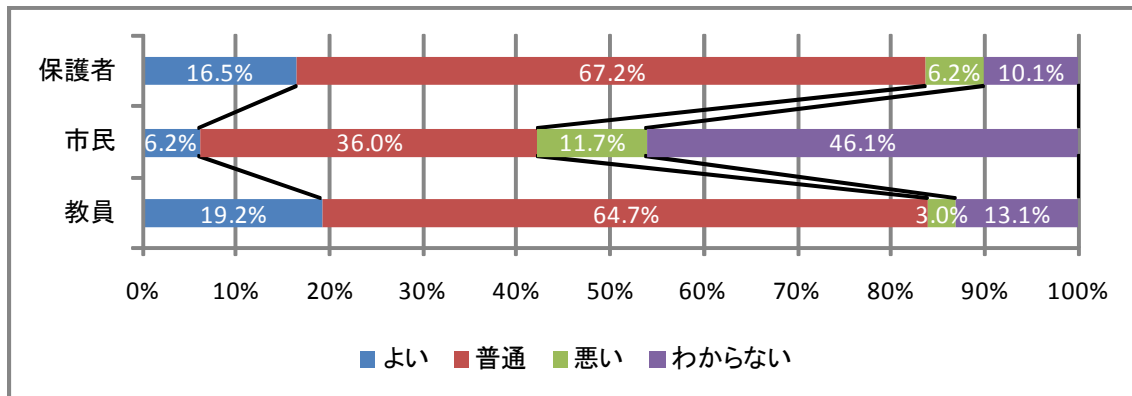


⑮ 学校開放

*保護者、教員とも、「よい」「普通」の選択率が、8割を超えている。

*市民は、「悪い」の選択率（11.7%）が「よい」（6.2%）を上回っている。また、「わからない」の選択率も46.1%となっている。

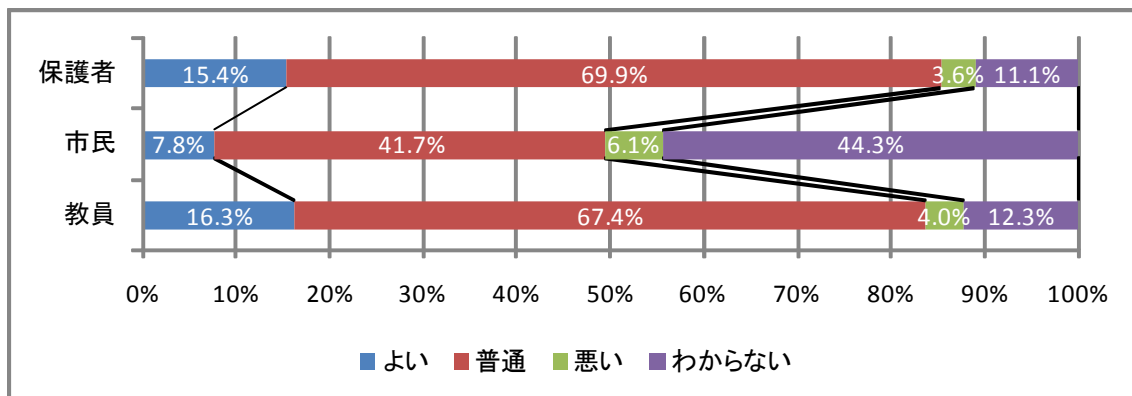
保 N=387 市 N=308 教 N=473



⑯ PTA など保護者の活動

*保護者、教員とも8割以上が「よい」「普通」を選択している。

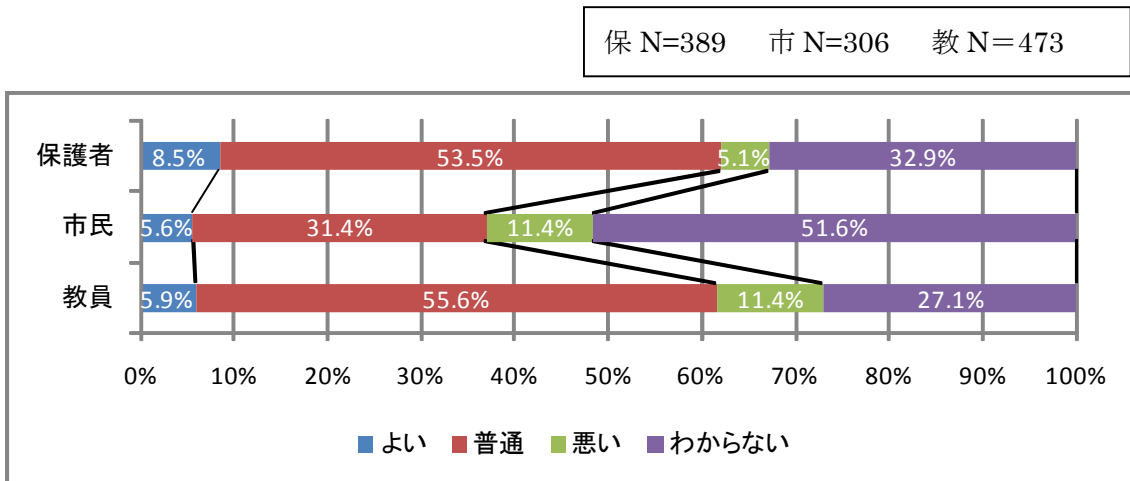
保 N=389 市 N=309 教 N=473



⑰ 市民の教育ボランティア活動

*保護者、教員とも、「よい」「普通」の選択率が6割以上となっている。

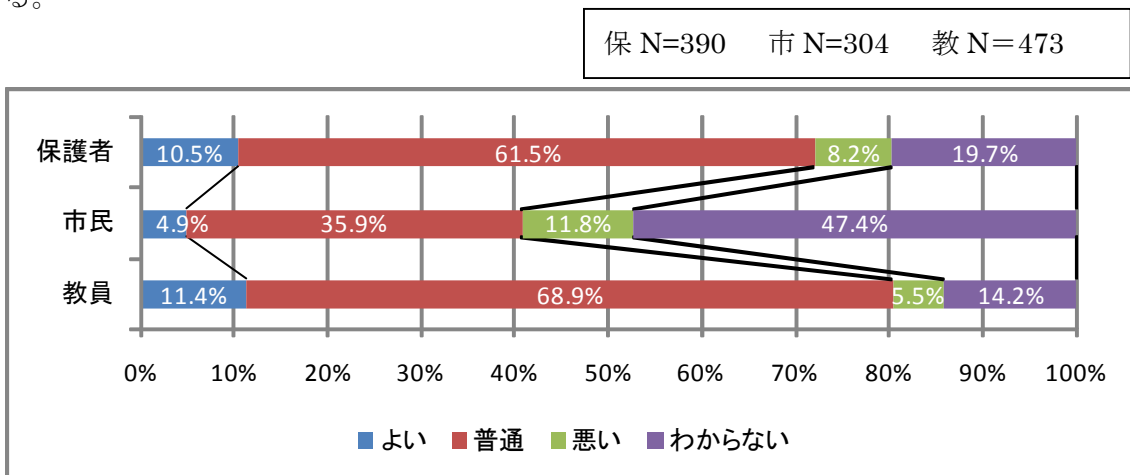
*市民・教員については、「悪い」の選択率が、「よい」を上回っている。



⑱ 学校と地域との連携

*保護者、教員は、「よい」「普通」の選択率が7割以上となっている。

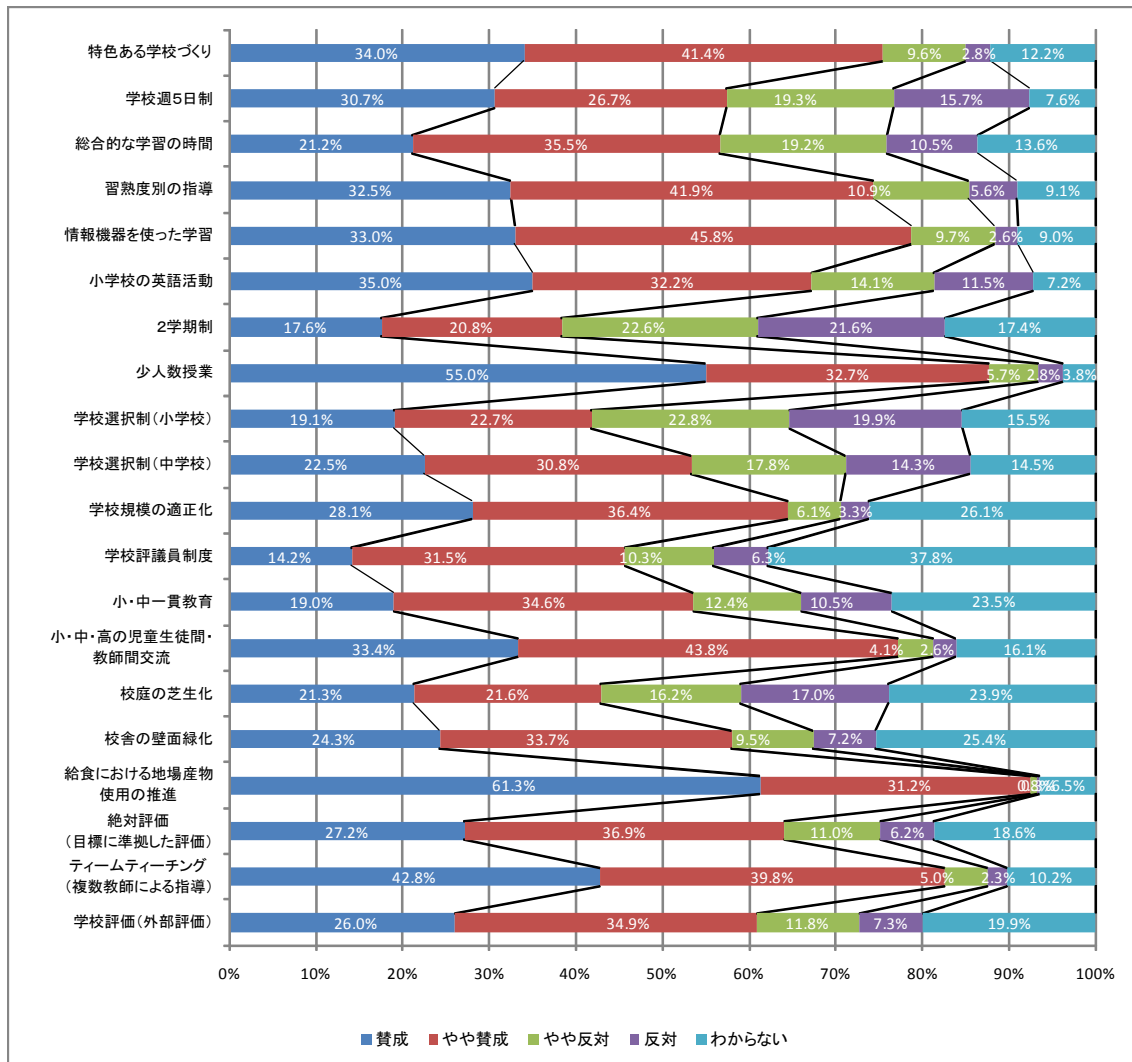
*市民の 11.8%は、「悪い」と回答しており、保護者（8.2%）と教員（5.5%）を上回っている。



(16) 取り組みへの評価

（保護者・市民）問 11（教員）問 20 これまでの教育の取り組みや、今後、検討する教育改革についてどのようにお考えでしょうか（①から⑮のそれぞれ1つに○）。

（表 5－20）



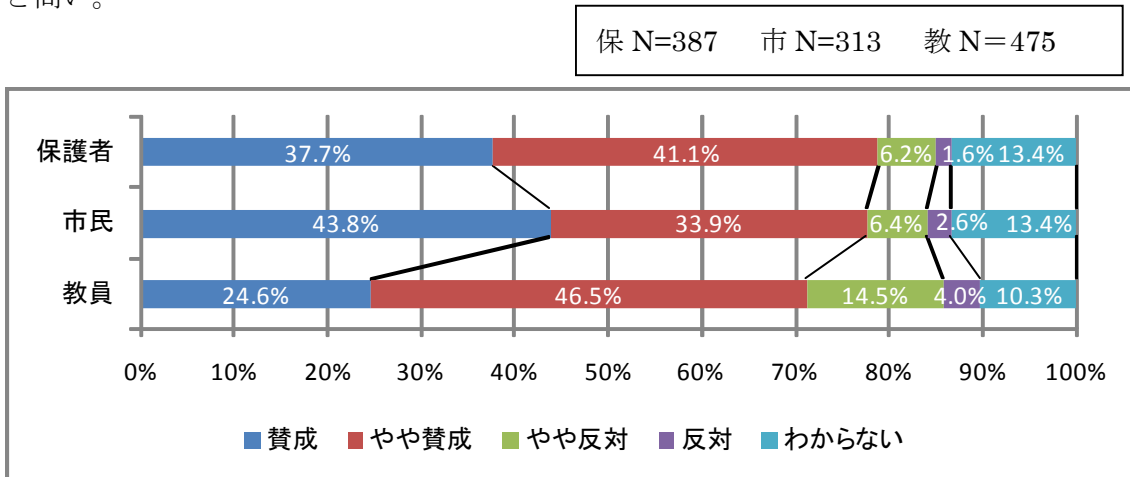
*保護者、市民、教員を合わせた選択率

*各質問項目の保護者、市民、教員の回答を比較した結果は次ページ以降に掲載

① 特色ある学校づくり

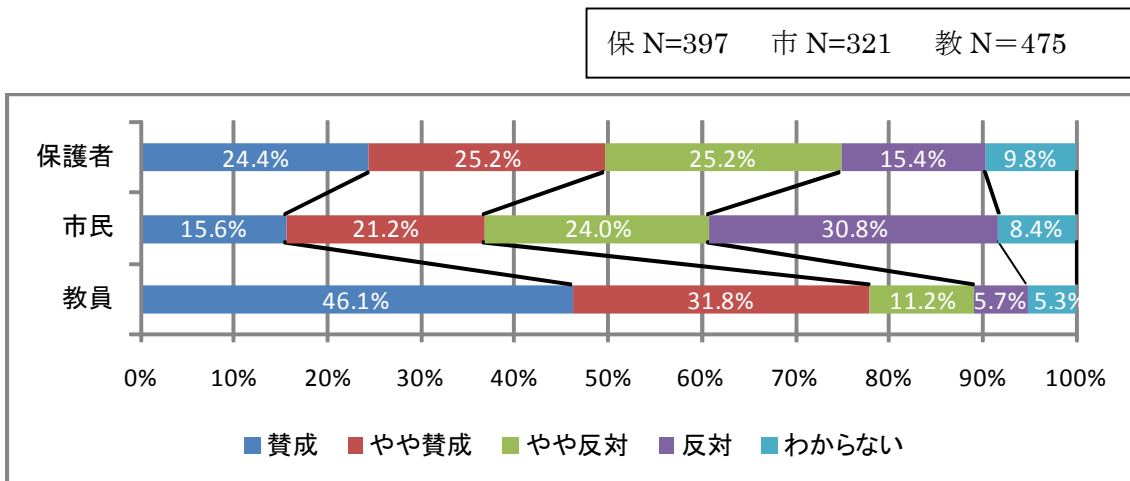
*保護者、市民、教員とも7割以上は「賛成」「やや賛成」を選択している。

*「やや反対」「反対」の割合が、保護者(7.8%)、市民(9.0%)に対し、教員は(18.5%)と高い。



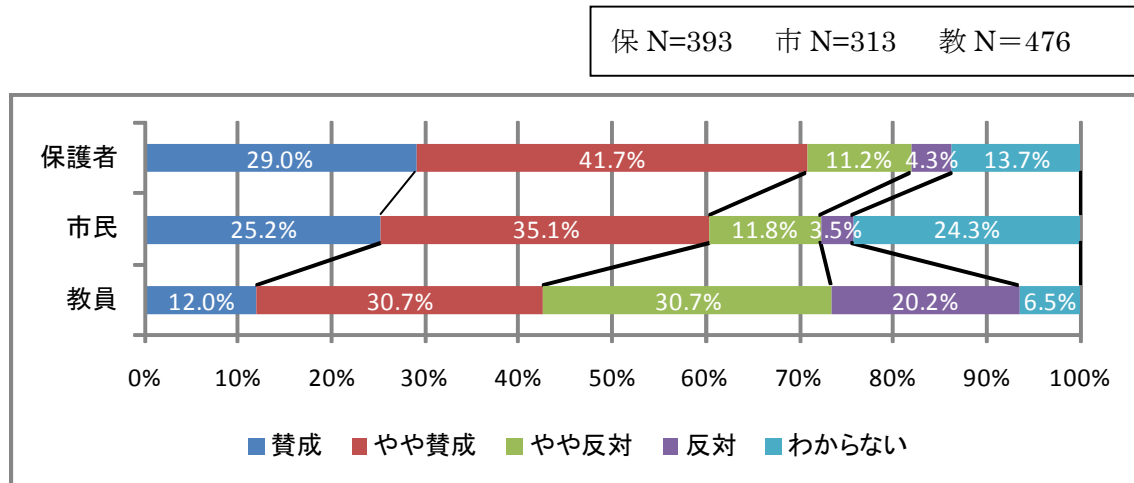
② 学校週5日制

*教員の77.9%が「賛成」「やや賛成」を選択しているが、保護者(49.6%)、市民(36.8%)と大きく離れている。



③ 総合的な学習の時間

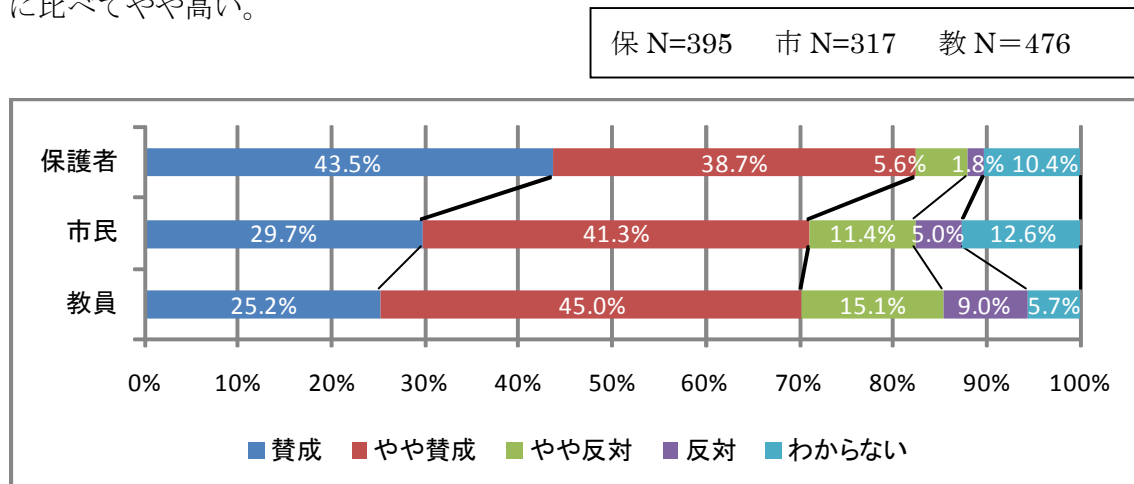
*保護者、市民の6割が「賛成」「やや賛成」を選択しているが、教員の50.9%は「やや反対」「反対」としており、保護者（15.5%）、市民（15.3%）と大きく差がある。



④ 習熟度別の指導

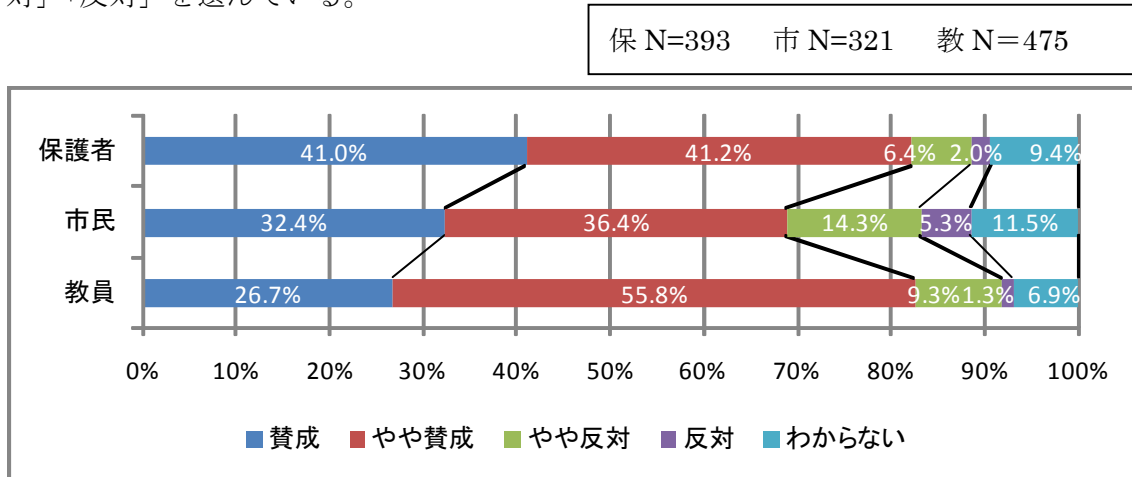
*保護者・市民・教員とも7割以上は「賛成」「やや賛成」を選択している。

*「やや反対」「反対」の選択率は、教員（24.1%）が、保護者（7.4%）、市民（16.4%）に比べてやや高い。



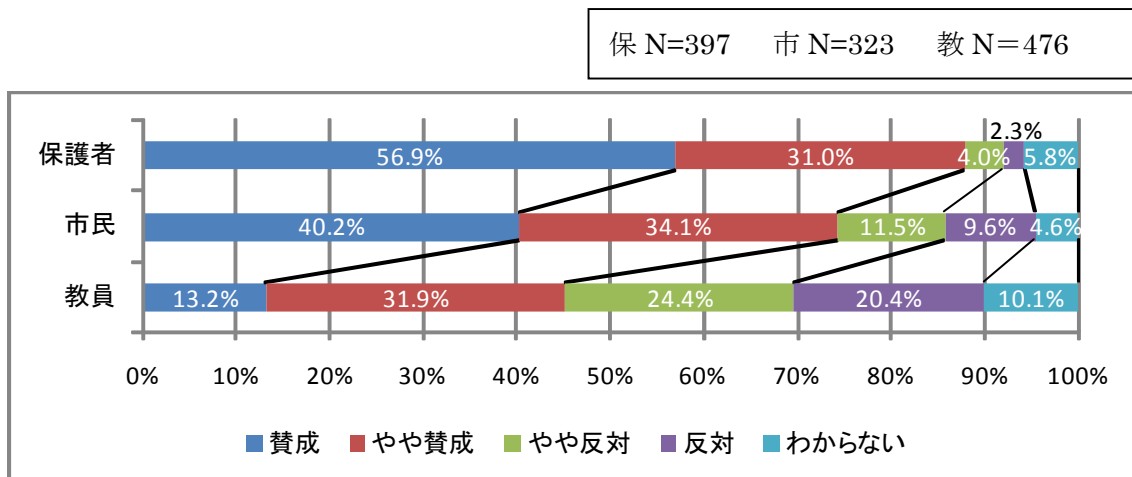
⑤ 情報機器を使った学習

＊全体的に「賛成」「やや賛成」の選択率が高いが、市民については、19.6%が「やや反対」「反対」を選んでいる。



⑥ 小学校の英語活動

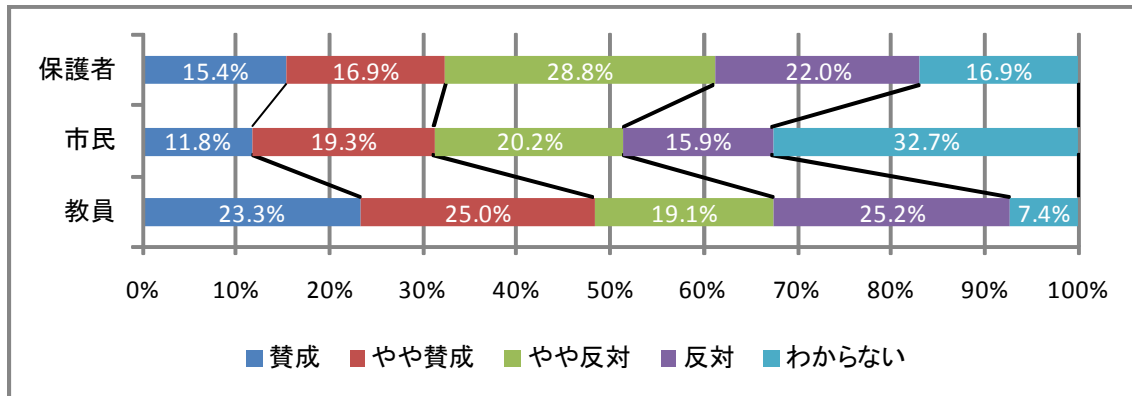
＊「賛成」「やや賛成」の合計が、保護者（87.9%）、市民（74.3%）に比べて、教員は（45.1%）と大きく差が出ている。



⑦ 2学期制

*保護者、市民は「やや反対」「反対」の選択率が高く、教員についても評価が二分されている状況である。

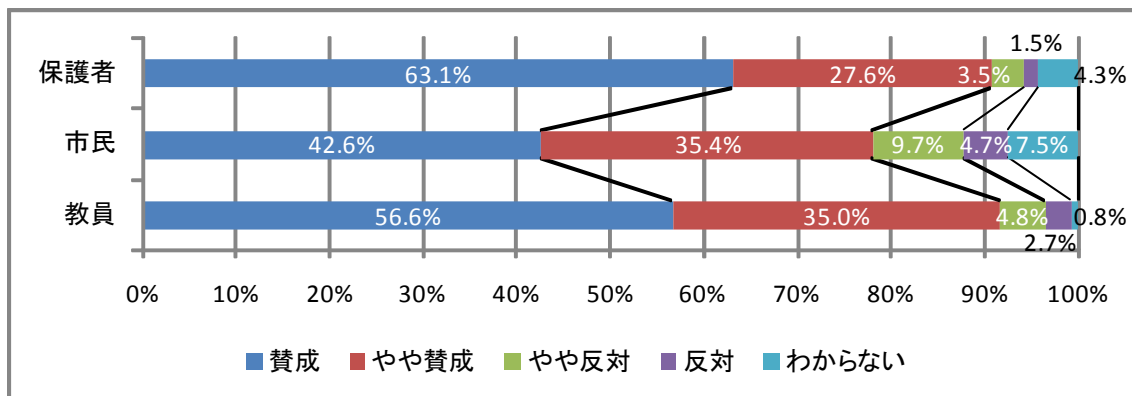
保 N=396 市 N=321 教 N=476



⑧ 少人数授業

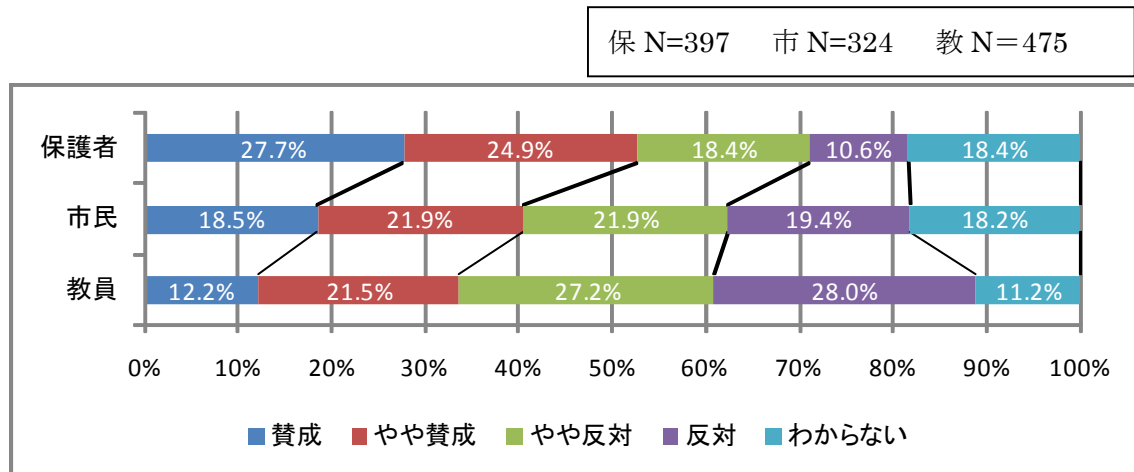
*保護者、教員の約9割、市民の約8割が「賛成」「やや賛成」を選択している。

保 N=398 市 N=319 教 N=477



⑨ 学校選択制（小学校）

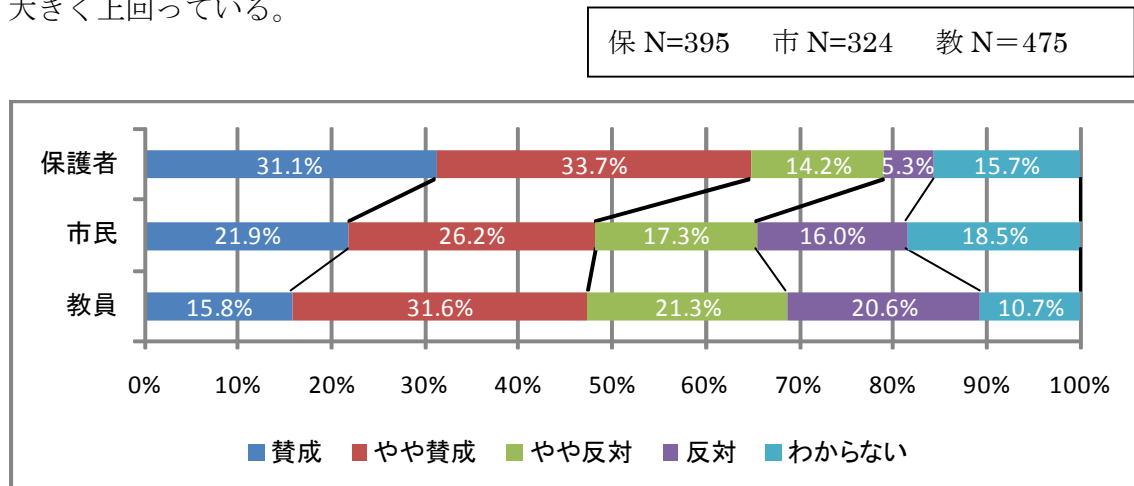
＊保護者、市民、教員とも評価が分かれており、教員については、（33.7%-55.2%）と否定的にとらえられている割合が大きい。保護者については、52.6%が肯定的に捉えており、市民（40.4%）、教員（33.7%）に比べるとその割合が大きい。



⑩ 学校選択制（中学校）

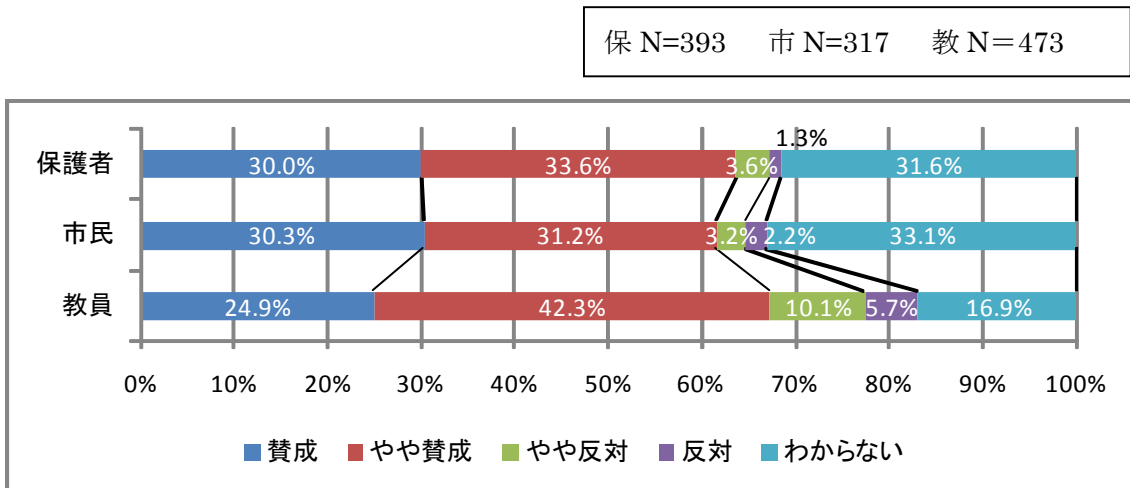
＊市民、教員については評価が割れているが、小学校の学校選択制に比べると肯定的にとらえられている。

＊保護者についても、64.8%が肯定的に捉えており、否定的に捉えている（19.5%）を大きく上回っている。



⑪ 学校規模の適正化

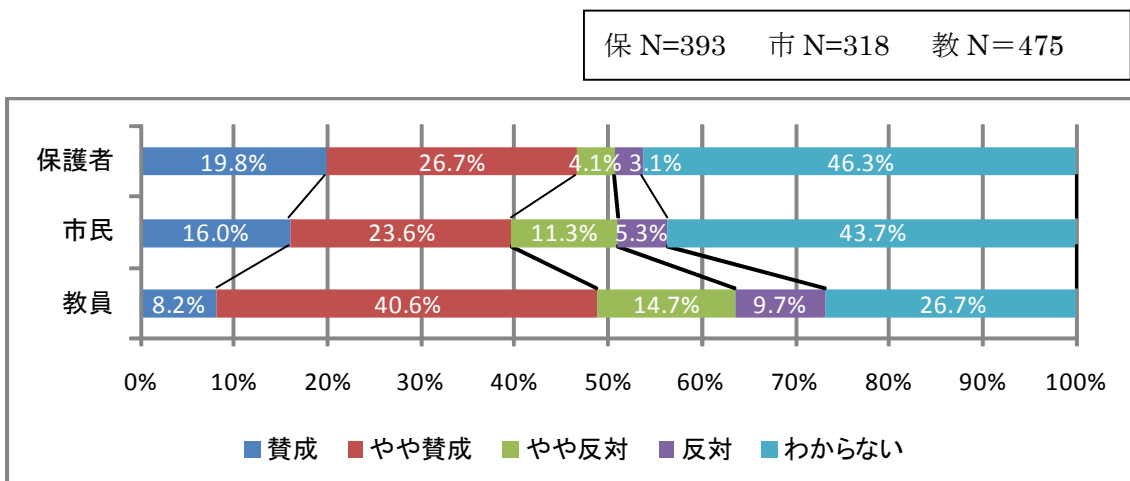
*保護者・市民・教員とも6割以上が「賛成」「やや賛成」を選択し、「やや反対」「反対」を選択した割合を大きく上回っている。



⑫ 学校評議員制度

*保護者・市民・教員とも「賛成」「やや賛成」の選択率が、「やや反対」「反対」を選択している選択率を大きく上回っている。

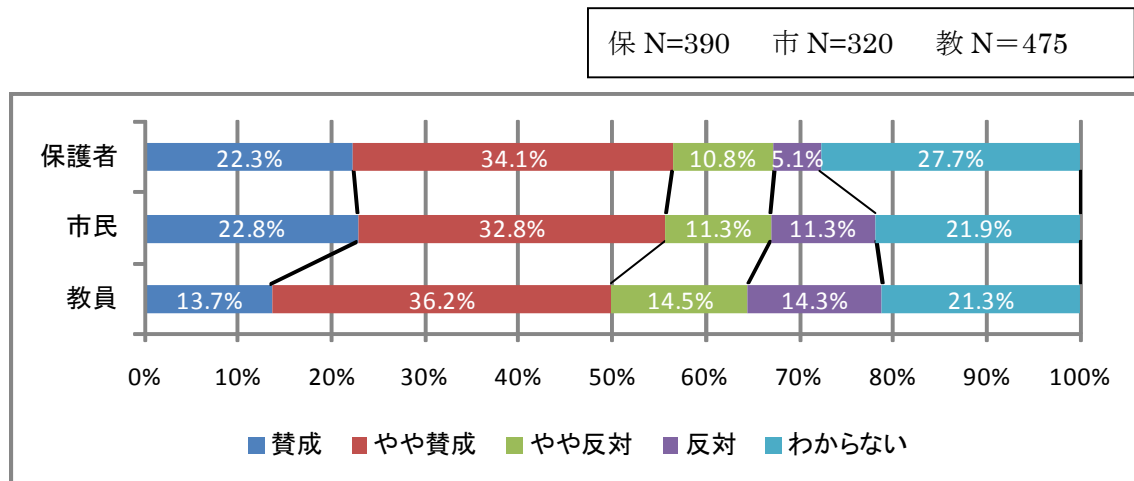
*一方で、保護者・市民については、「わからない」も4割以上選択されていた。



⑬ 小・中一貫教育

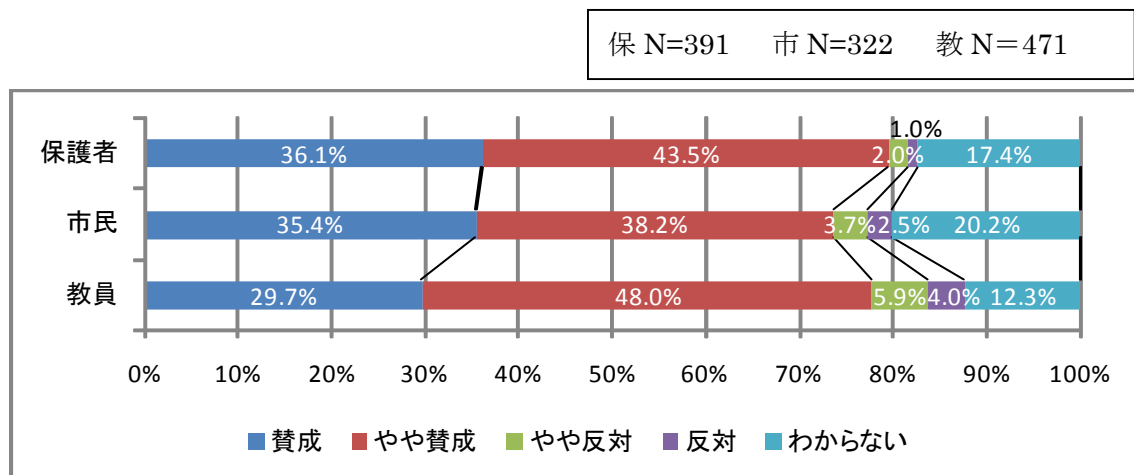
*保護者・市民・教員とも5割前後は、「賛成」「やや賛成」を選択している。

*一方で、「わからない」を選択した割合が2割以上、「やや反対」「反対」の選択率も15～30%弱である。



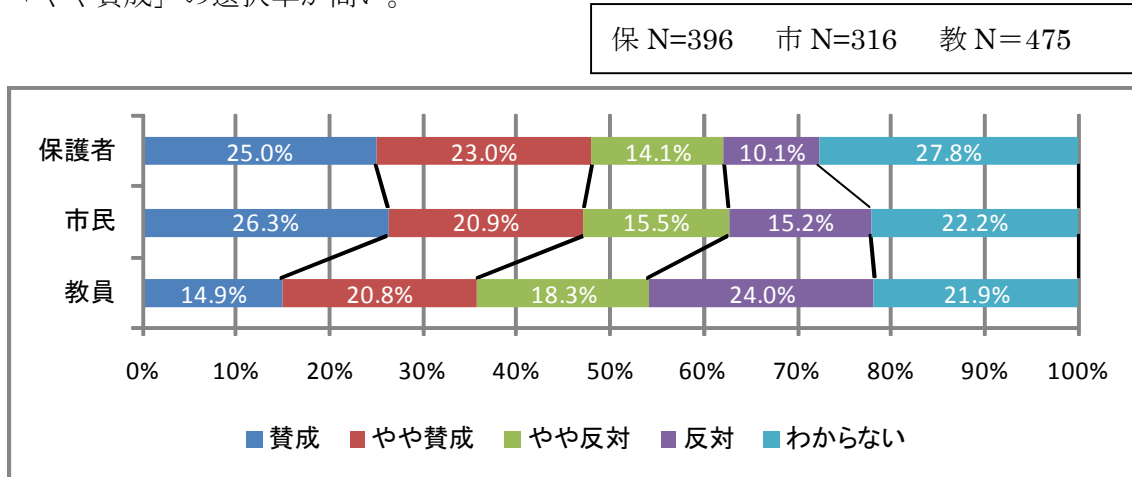
⑭ 小・中・高の児童生徒間・教師間交流

*保護者、市民、教員とも7割以上が「賛成」「やや賛成」を選択している。



⑮ 校庭の芝生化

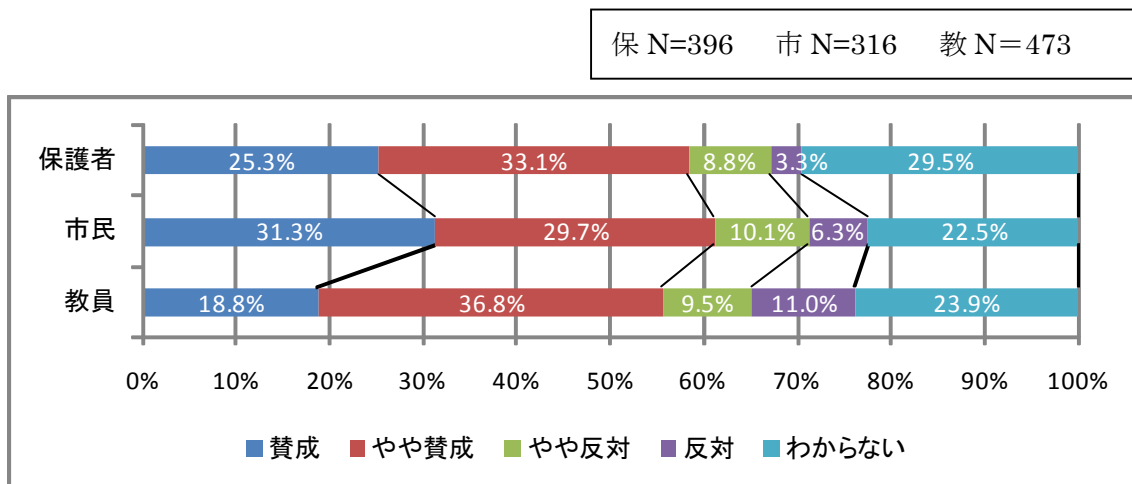
*保護者・市民・教員ともに回答率が分散している。教員よりも保護者の方が「賛成」「やや賛成」の選択率が高い。



⑯ 校舎の壁面緑化

*保護者、市民、教員の5割以上は「賛成」「やや賛成」を選択している。

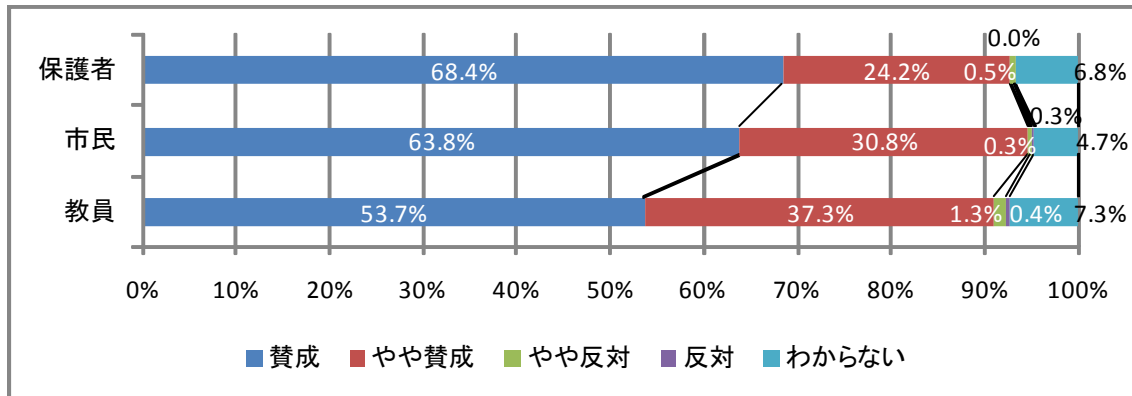
*⑮校庭の芝生化よりも「賛成」「やや賛成」の選択率が高い。



⑪ 給食における地場産物使用の推進

*保護者、市民、教員とも9割以上が「賛成」「やや賛成」を選択しており、その割合は他の項目と比べて圧倒的に高い。

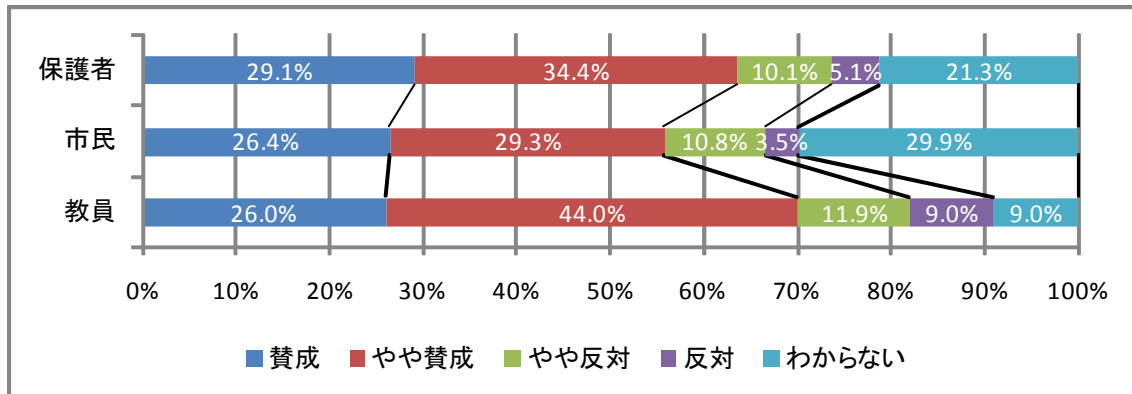
保 N=396 市 N=318 教 N=477



⑫ 絶対評価（目標に準拠した評価）

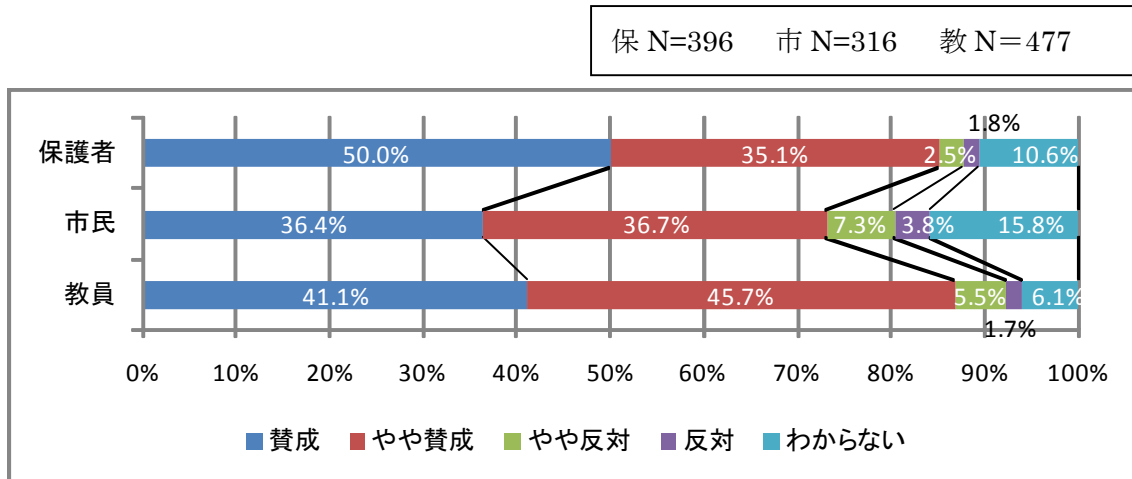
*保護者、市民、教員とも5割以上は「賛成」「やや賛成」を選択している。

保 N=395 市 N=314 教 N=477



⑱ ティームティーチング（複数教師による指導）

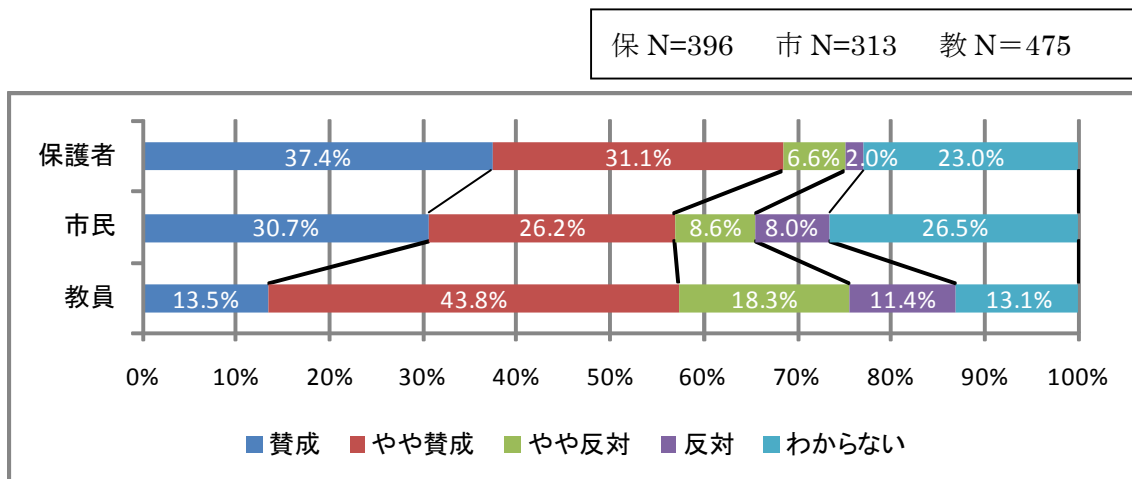
*保護者、市民、教員とも75%以上が「賛成」「やや賛成」を選択している。



⑳ 学校評価（外部評価）

*保護者、市民、教員とも55%以上が「賛成」「やや賛成」を選択している。

*一方で、教員については、29.7%が「やや反対」「反対」を選択しており、これは保護者（8.6%）や市民（16.6%）と比べると選択率が高い。



6 悩みなど

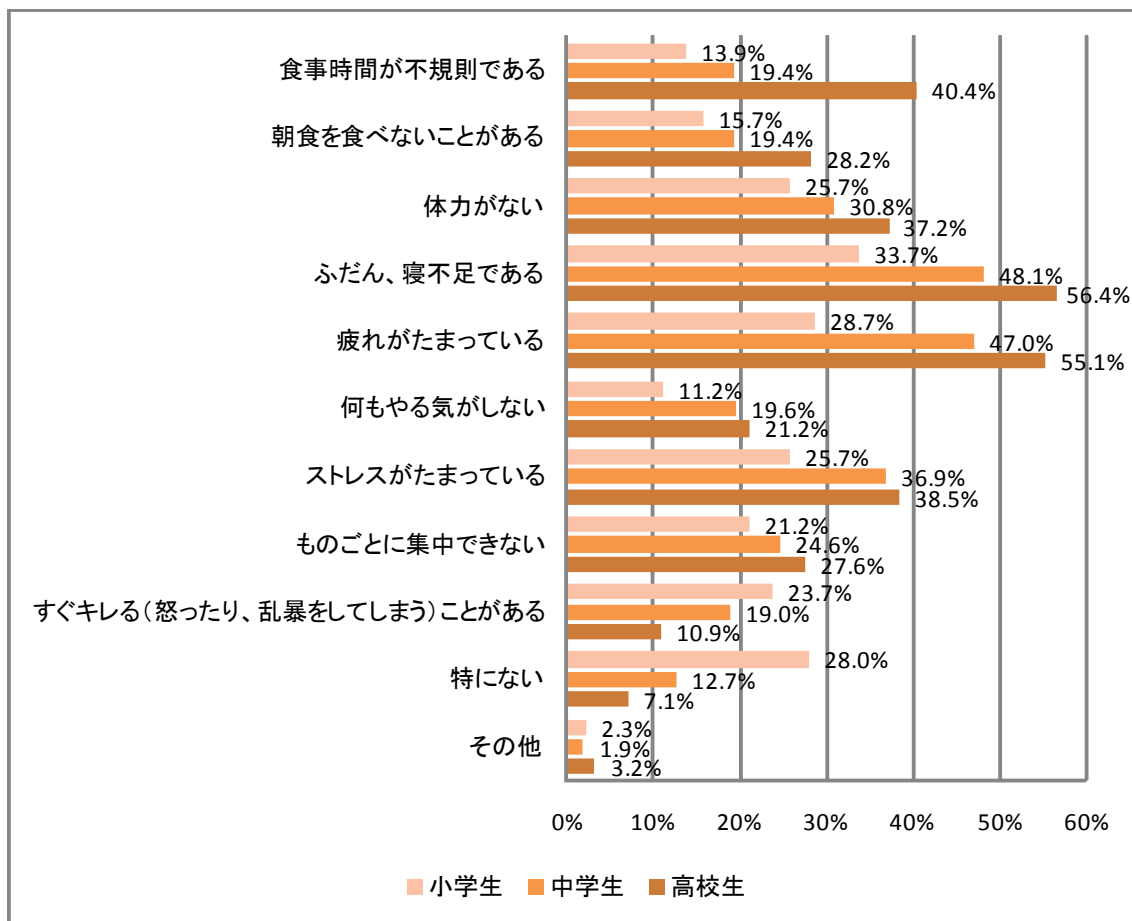
（１）健康や体力に関する問題

（児童生徒）問４ あなたは、自分の健康や体力について次のような問題を感じていますか（あてはまるものすべてに○。）

- * 「ふだん、寝不足である」「疲れがたまっている」の選択率が小・中・高とも高い。
- * 全体的には、小→中→高と上がるごとに、問題を感じる割合が増える（逆に、特にないは減っていく）項目が多い。

（表６－１）

小 N=439 中 N=464 高 N=156



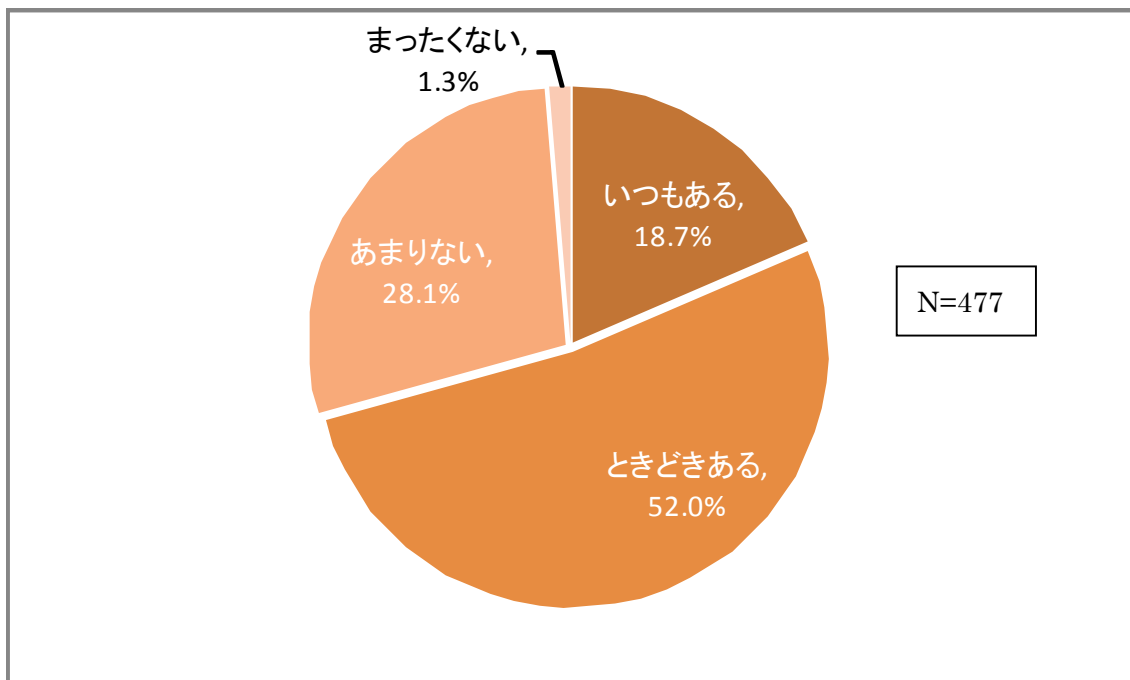
（２）悩みなどの有無

（教員）問５ あなたは、最近、特に悩んだり困ったりしたことがありますか（１つに○。）

*約７割の教員が、「いつもある」か「ときどきある」と回答している。

*前回調査と比べると、「いつもある」（27.6%→18.7%）、「あまりない」（18.7%→28.1%）に変化があった。

（表６－２）



（３） 悩みや困ったことの内容

ア 児童生徒

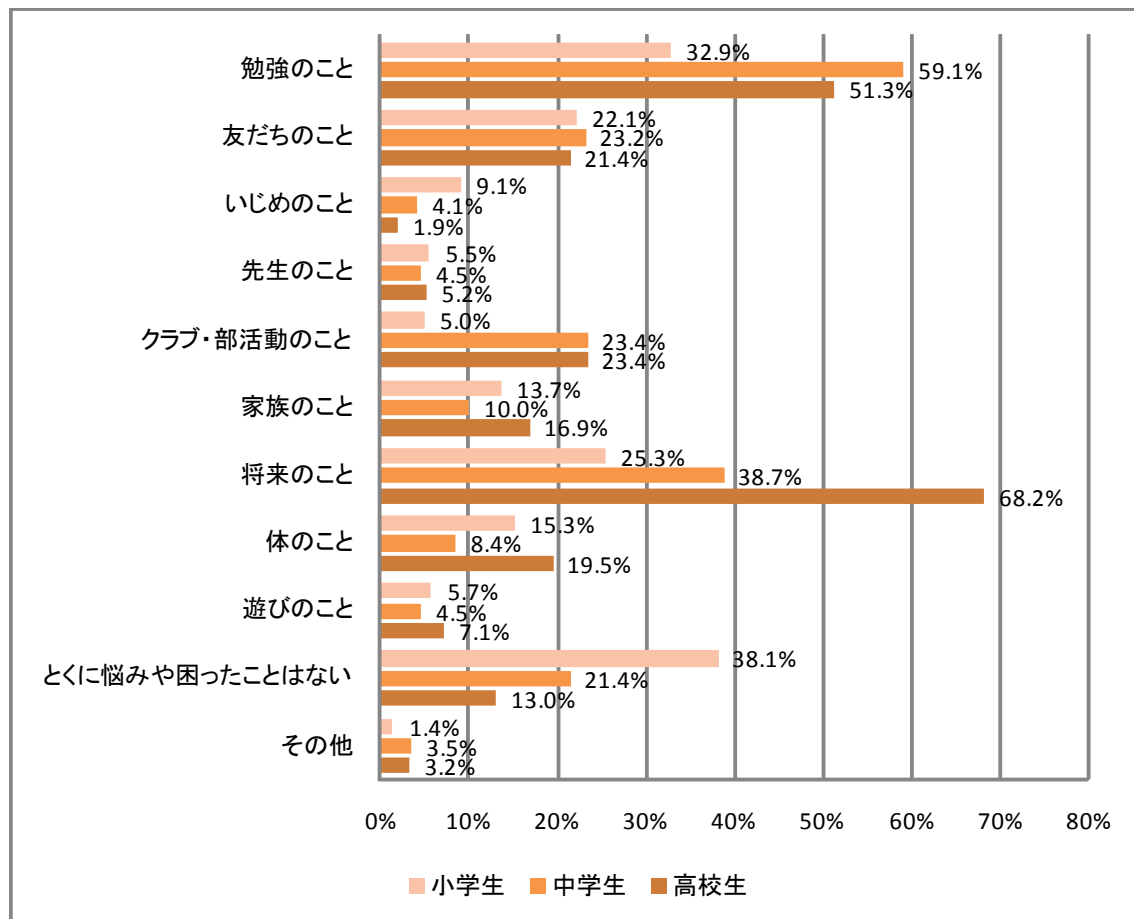
（児童生徒）問５ あなたは、何か悩みや困ったことはありますか（あてはまるものすべてに○。）

*小学生、中学生、高校生とも、「勉強のこと」「将来のこと」についての選択率が高く、「将来のこと」については、小→中→高があがるごとに、選択率が大きく増えている。

*「いじめのこと」については、小（9.1%）、中（4.1%）、高（1.9%）が悩みとして挙げている。

（表６－３）

小 N=438 中 N=462 高 N=154



イ 保護者

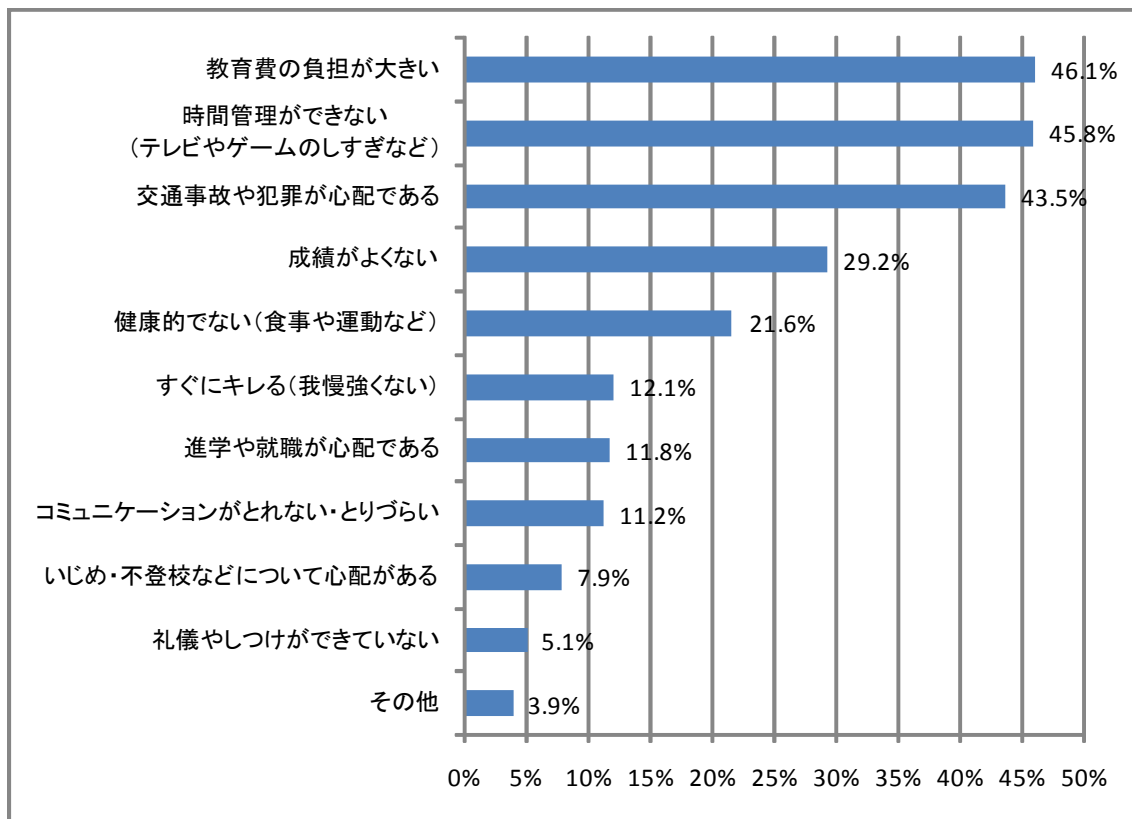
（保護者）問 21 お子さんの生活や教育について、悩んでいることはありますか（あてはまるものすべてに○。）

＊「教育費の負担が大きい」「時間管理ができない」「交通事故や犯罪が心配である」の3つの選択率が高い。

＊前回とは選択肢が若干異なるものの、教育費の負担が大きいは、46.1%（前回 17.1%）選ばれており、大幅に増えている。

（表 6－4）

N=356



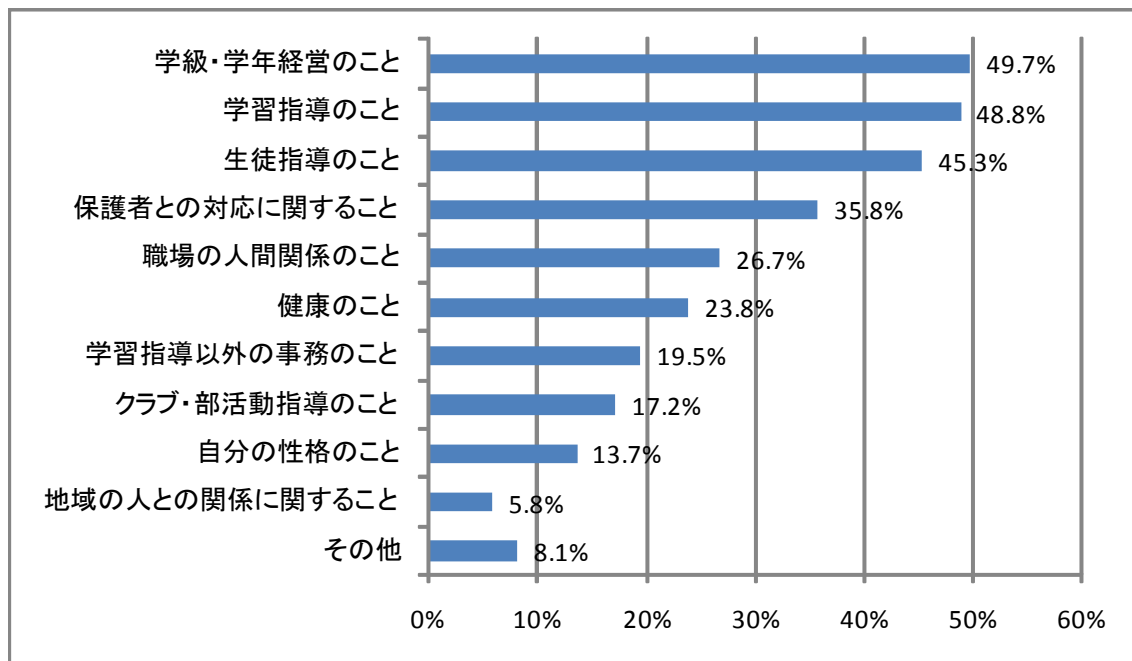
ウ 教員

（教員）問6 悩んだり困ったりしたことはどんなことですか（あてはまるものすべてに○。）

*「学級・学年経営のこと」「学習指導のこと」「生徒指導」が、上位3つとなっている。

（表6－5）

N=344



（４）相談相手

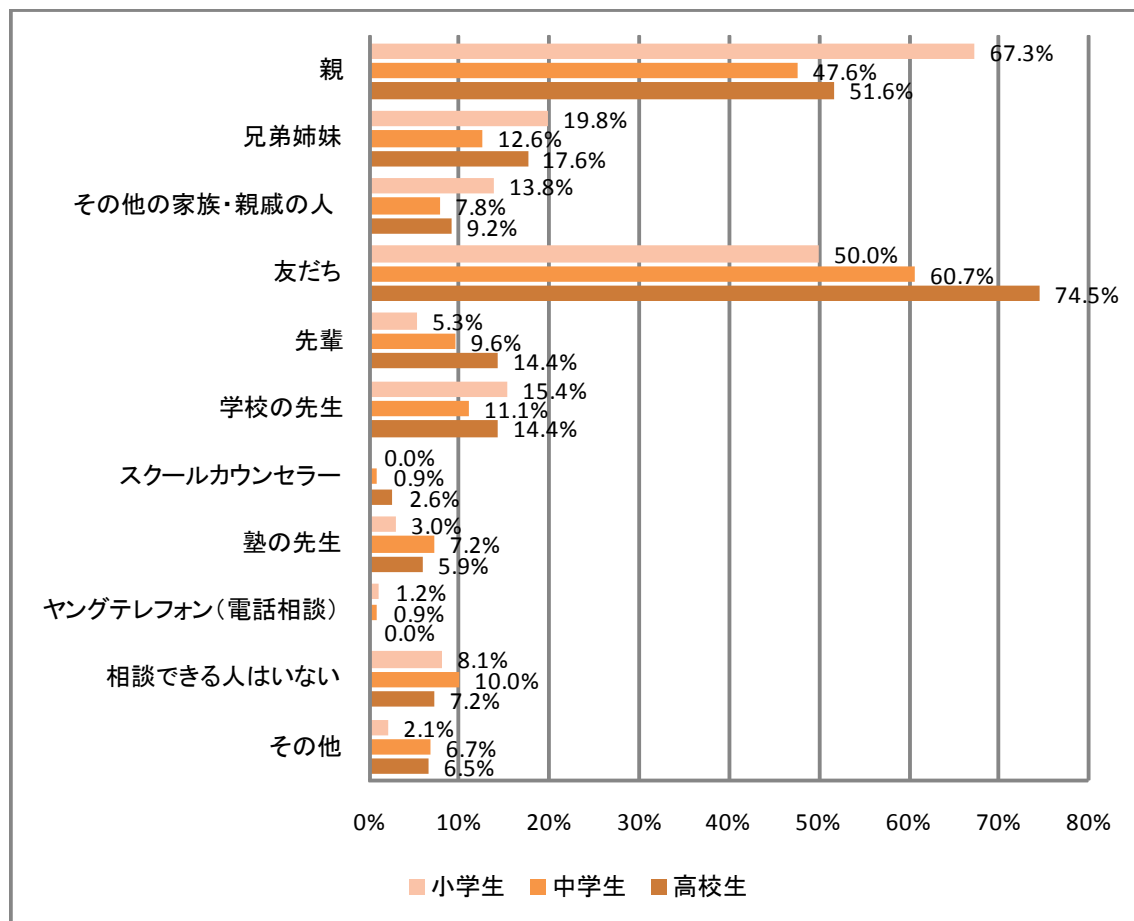
ア 児童生徒

（児童生徒）問６ 悩みや困ったときは、だれ（どこ）に相談しますか（あてはまるものすべてに○。）

*小学生、中学生、高校生ともに、「親」や「友だち」の選択率が高い。小→中→高と上がるにしたがい「親」が減少し、「友達」が増加する。「学校の先生」という回答は10～15%程度に留まっている。

（表６－６）

小 N=434 中 N=460 高 N=153



イ 保護者

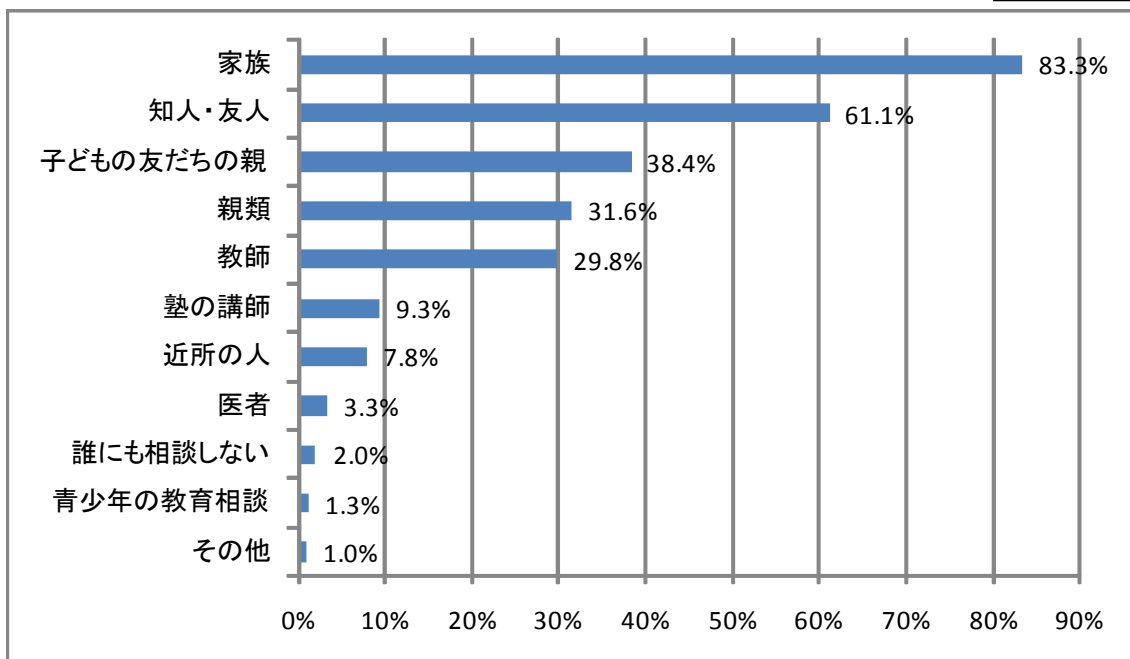
（保護者）問 22 お子さんの問題や教育について、誰と相談していますか（あてはまるものすべてに○。）

*「家族」（83.3%）「知人・友人」（61.1%）が非常に高い選択率である。「教師」については、約3割となっている。

*各項目とも、前回調査とあまり変化がなかった。

（表 6－7）

N=396



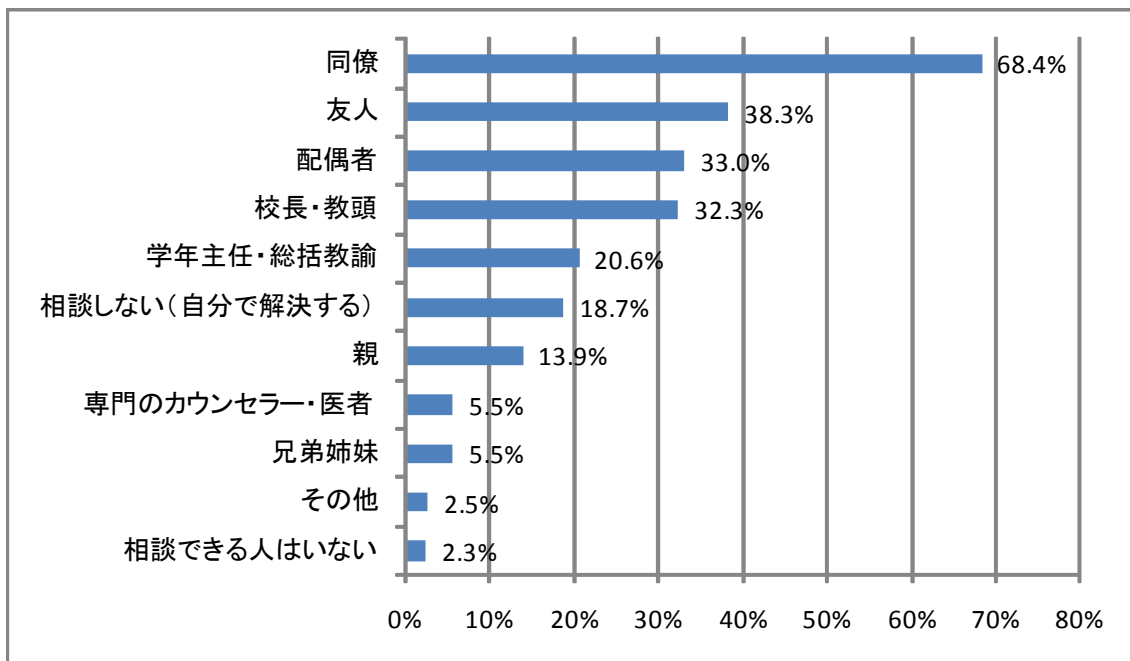
ウ 教員

（教員）問7 悩みや心配事があった場合、誰に相談していますか。あるいは誰に相談したいと思いますか（あてはまるものすべてに○。）

*「同僚」の選択率が、68.4%で、群を抜いている。また、校長・教頭（32.3%）や学年主任・総括教諭（20.6%）なども選択率が高めであった。

（表6－8）

N=433

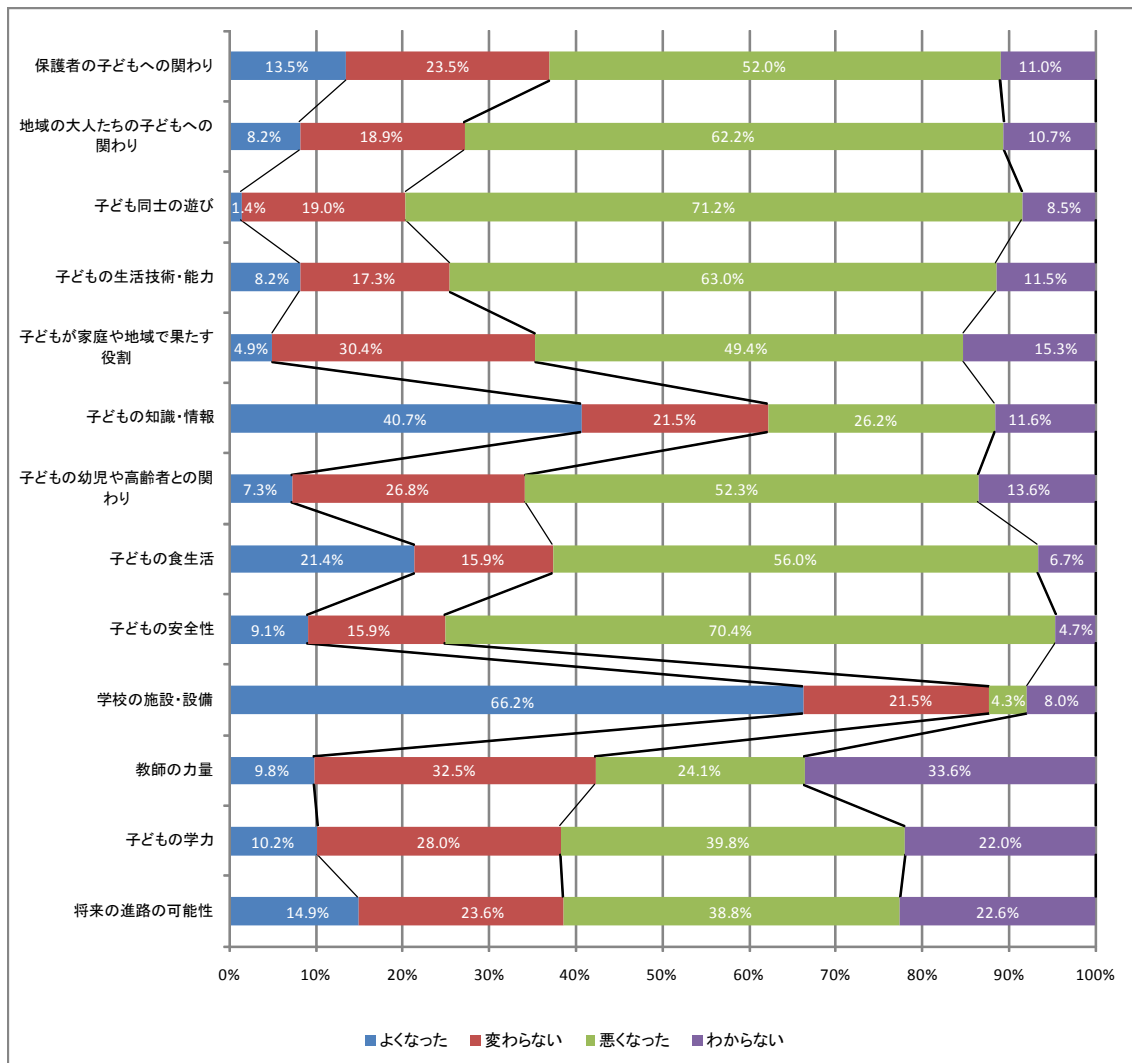


7 全体的なこと

（1）子どもを取り巻く環境(昔の環境との比較)

（保護者・市民）問3（教員）問8 あなたが子どもだった頃と較べて、子どもを取り巻く様々な環境は良くなってきていますか、悪くなってきていますか（①から⑬のそれぞれ1つに○）。

（表7－1）

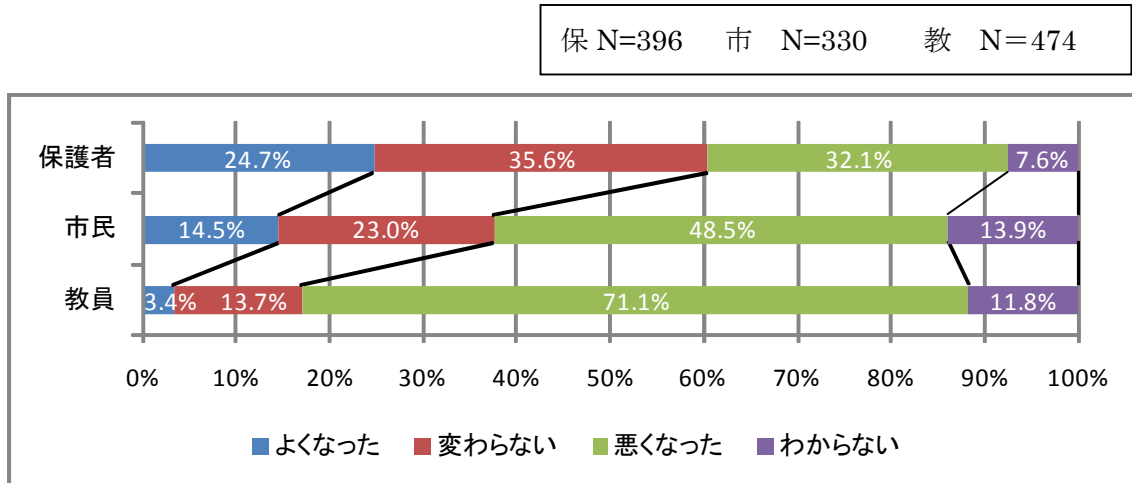


*保護者、市民、教員を合わせた選択率

*各質問項目の保護者、市民、教員の回答を比較した結果は次ページ以降に掲載

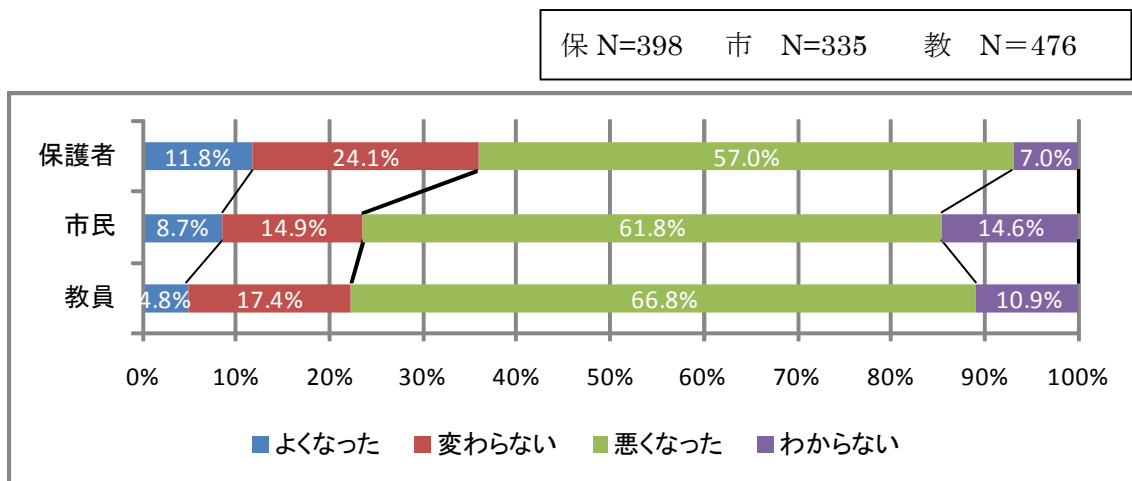
① 保護者の子どもへの関わり

*全体的に、「よくなった」よりも「悪くなった」の割選択率が高く、特に教員は、「よくなった」(3.4%) に対し、「悪くなった」(71.1%) と大きく差が出ている。



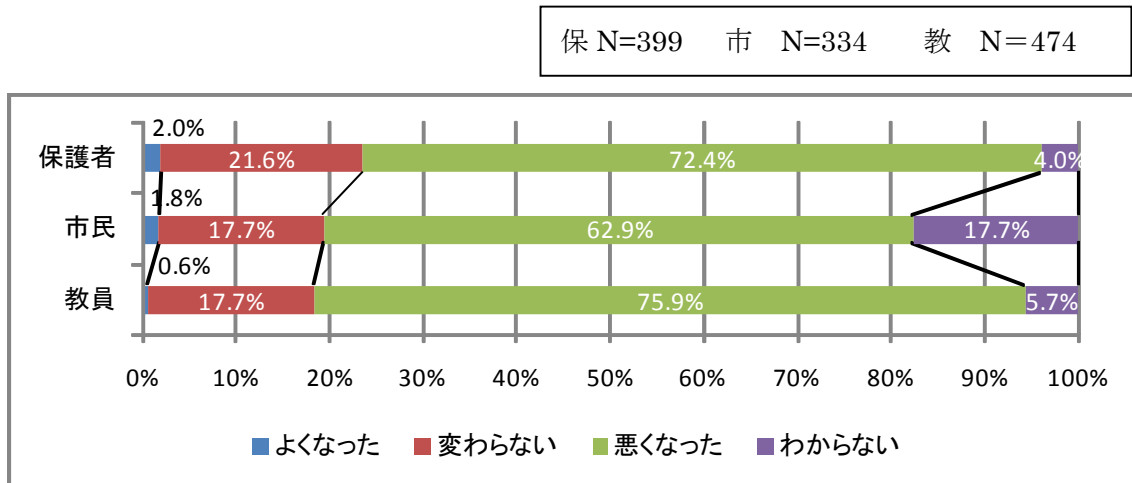
② 地域の大人たちの子どもへの関わり

*全体的に、「よくなった」よりも「悪くなった」とする割合が圧倒的に高い。



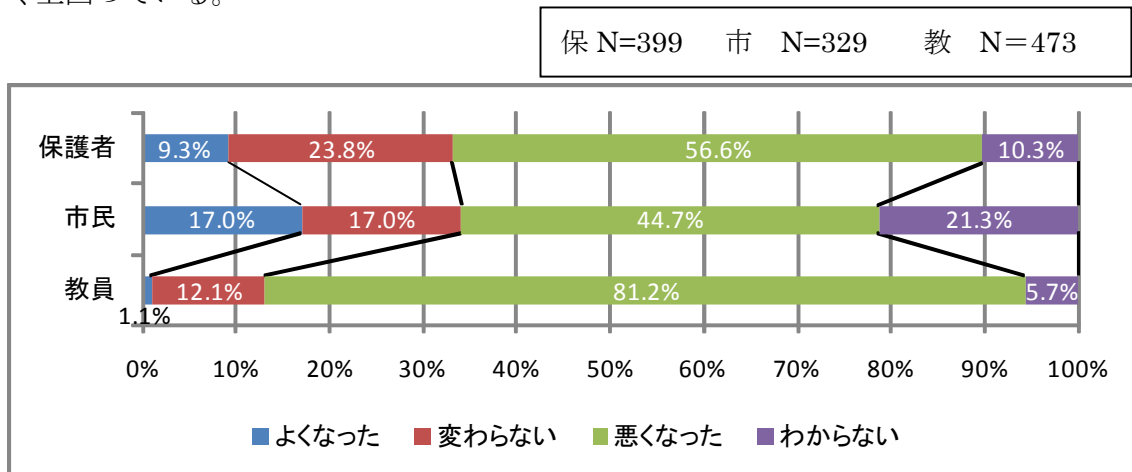
③ 子ども同士の遊び

＊「よくなった」はほとんど選ばれておらず、保護者・市民・教員でそれぞれ 60%～75% が「悪くなった」と感じている。



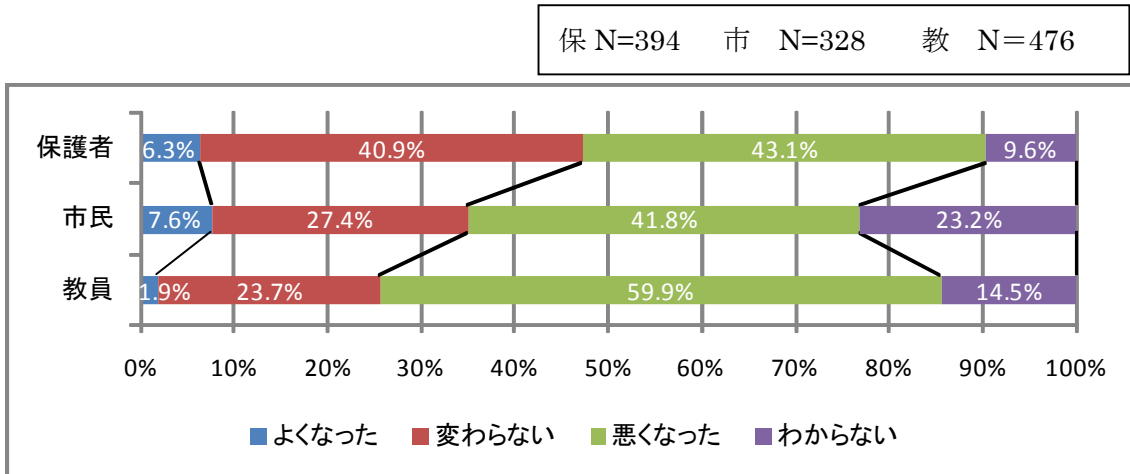
④ 子どもの生活技術・能力

＊「悪くなった」の選択率は、教員で 8 割を超えており、保護者や市民の選択率を大きく上回っている。



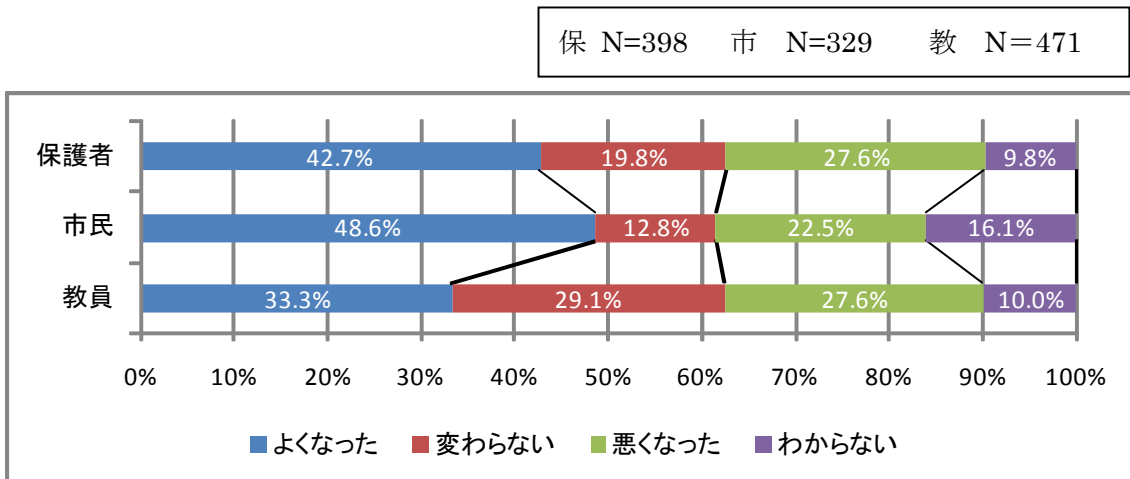
⑤ 子どもが家庭や地域で果たす役割

*保護者、市民の4割以上、教員の約6割が「悪くなった」を選択している。



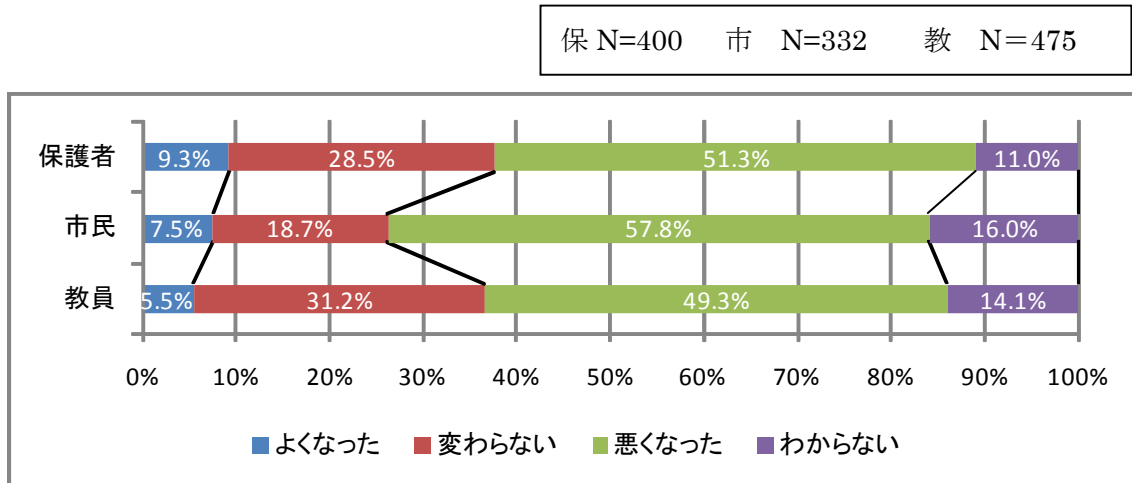
⑥ 子どもの知識・情報

*保護者、市民の4割以上、教員の3割以上が「よくなった」を選択している一方で、全体の約4分の1は、「悪くなった」を選択している。



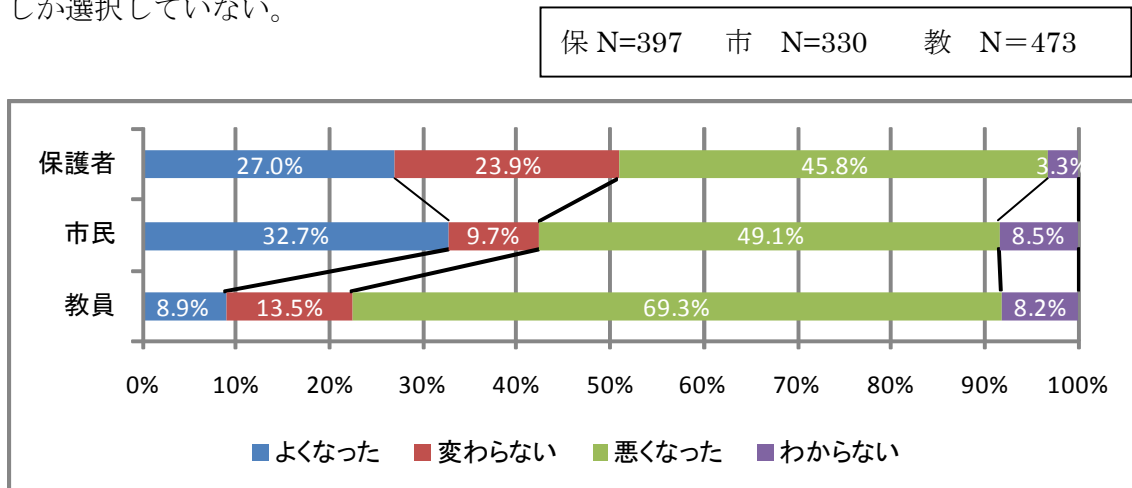
⑦ 子どもの幼児や高齢者との関わり

* 世代間交流についても全体の約5割が、「悪くなった」を選択している。



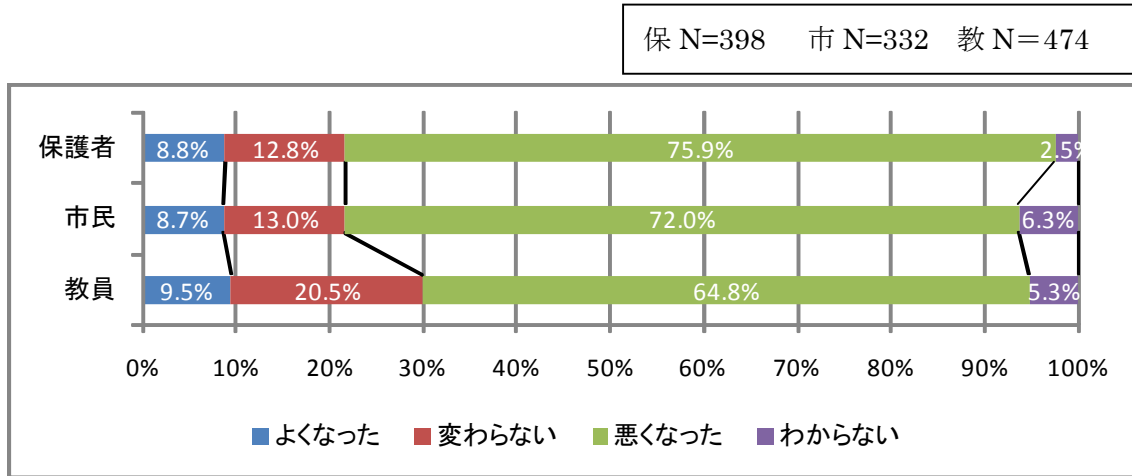
⑧ 子どもの食生活

* 「よくなった」の選択率は、保護者（27.0%）、市民(32.7%)に比べて、教員は 8.9%しか選択していない。



⑨ 子どもの安全性（災害や交通事故、犯罪など）

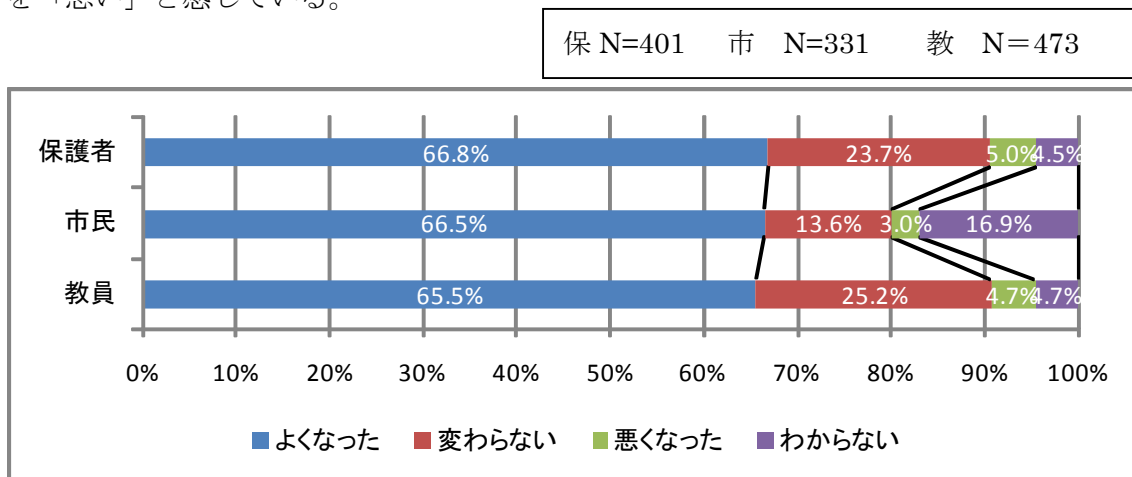
*「悪くなった」の回答率が、全体の約7割となっている。



⑩ 学校の施設・設備

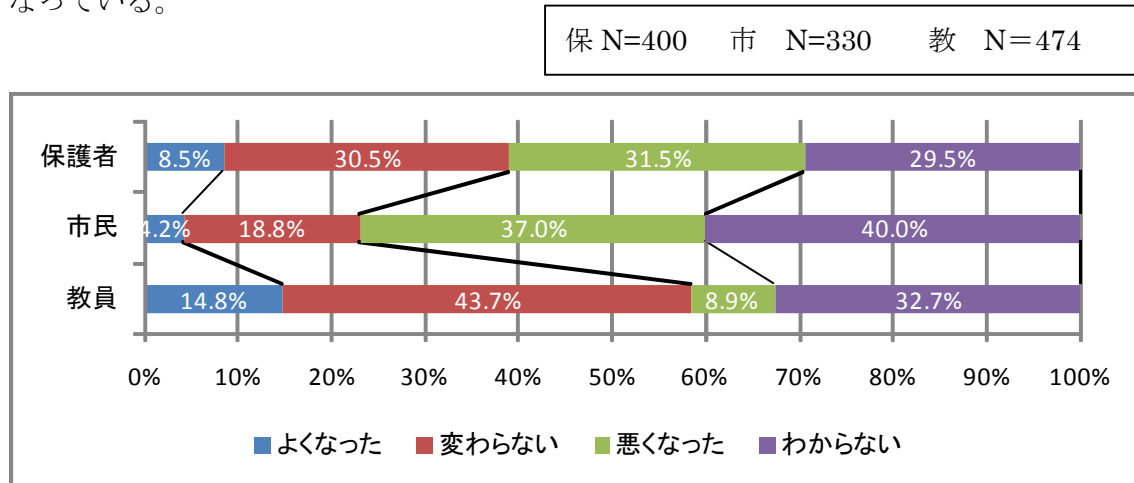
*全体の約3分の2が、「よくなった」と回答している。

*一方で、現状の評価として、5－(15)－⑥では、教員の41.2%が、学校の施設・設備を「悪い」と感じている。



⑪ 教師の力量

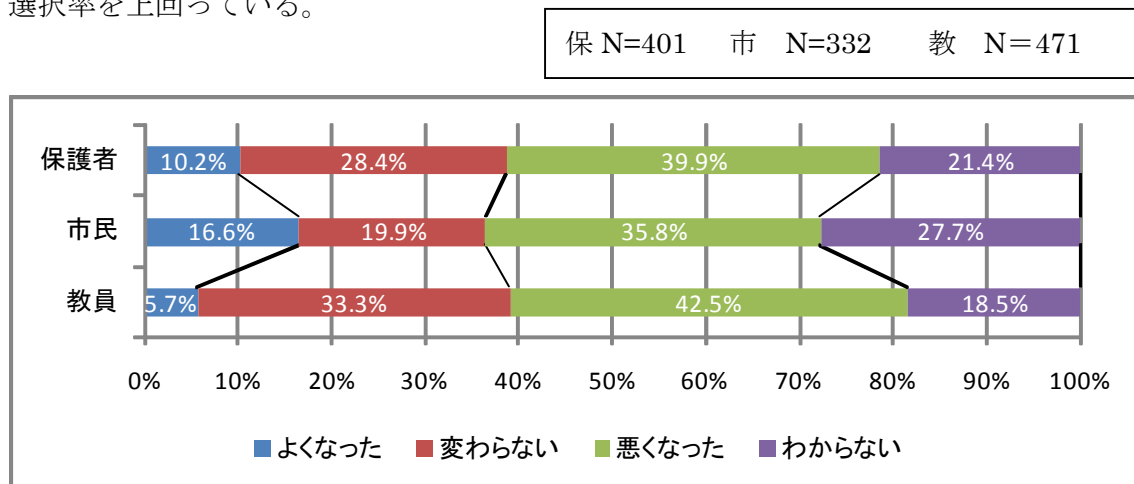
*「悪くなった」の回答率は、教員（8.9%）に対し、保護者（31.5%）、市民（37.0%）となっている。



⑫ 子どもの学力

*全体的に「悪くなった」の回答率が高い。

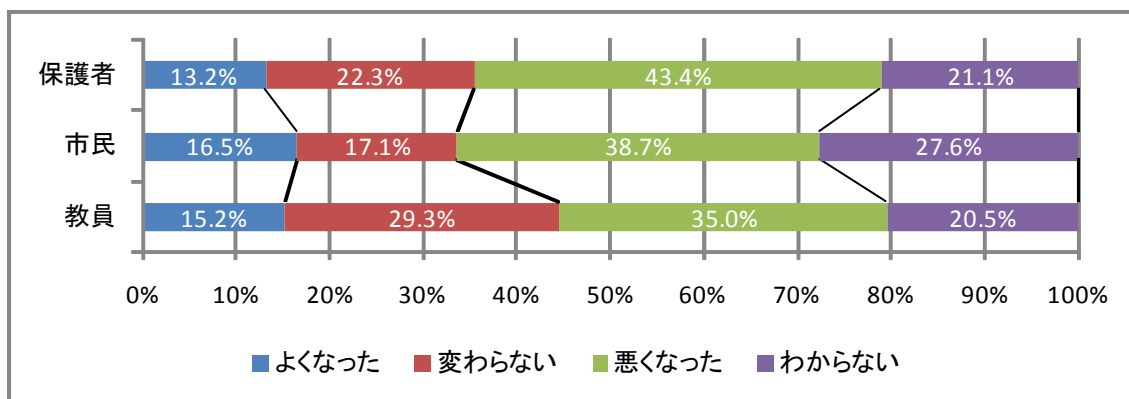
*「よくなった」については、市民（16.6%）が、保護者（10.2%）や教員（5.7%）の選択率を上回っている。



⑬ 将来の進路の可能性

* 「悪くなった」の選択率が 40%あるが、他の項目と比べると「よくなった」の選択率は高めである。

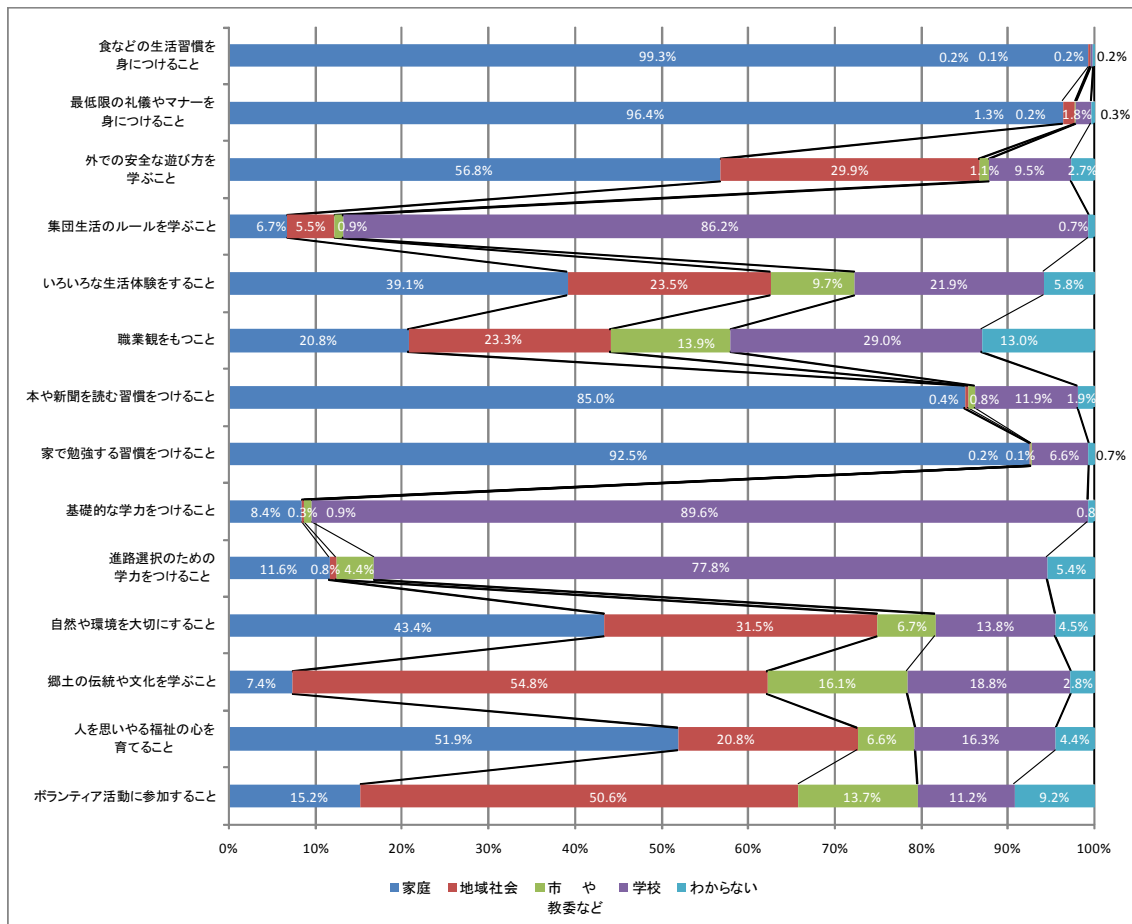
保 N=403 市 N=333 教 N=474



（２）子どもたちに教えるのは誰の役割か

（保護者・市民）問４（教員）問９ あなたは、次のようなことを子どもたちに教えるのは主に誰の役割だと思いますか（①から⑭のそれぞれ１つに○）。

（表 7－2）

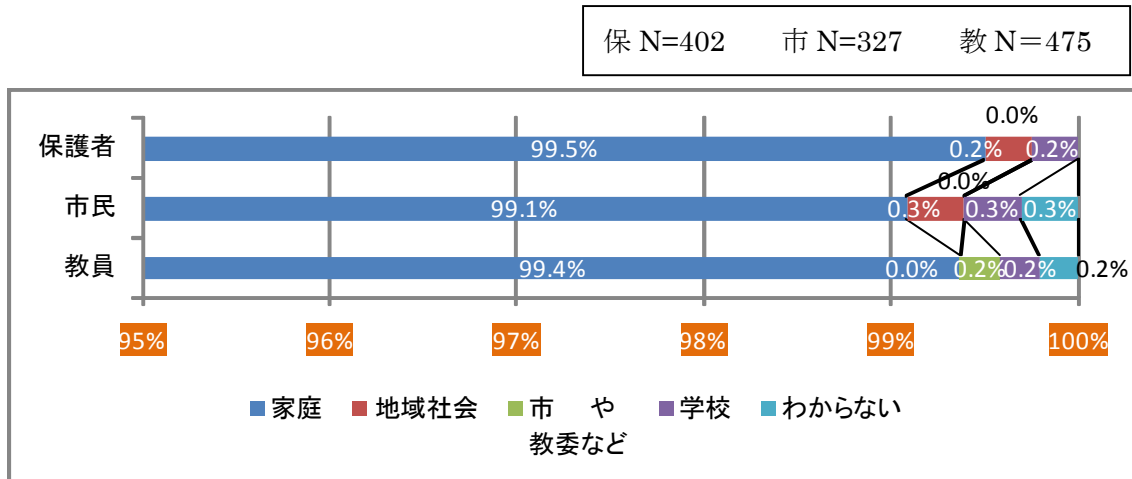


*保護者、市民、教員を合わせた選択率

*各質問項目の保護者、市民、教員の回答を比較した結果は次ページ以降に掲載

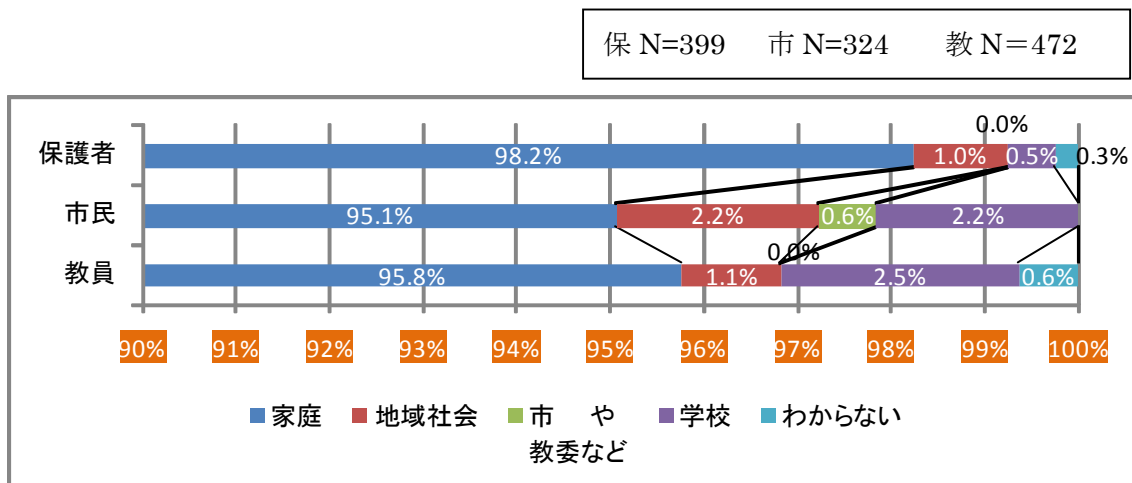
① 食などの生活習慣を身につけること

*保護者・市民・教員ともに99%以上が、「家庭」を選択している。



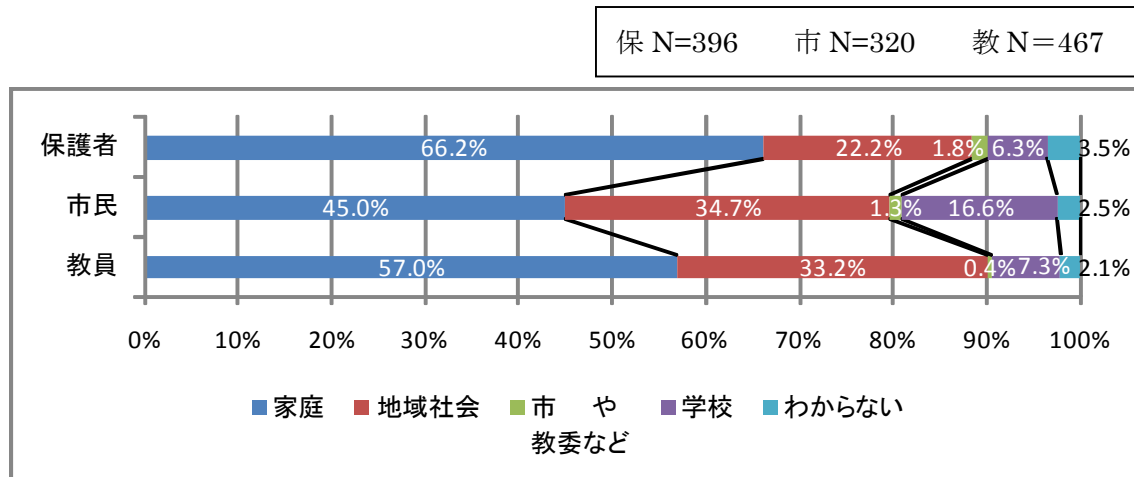
② 最低限の礼儀やマナーを身につけること

*保護者・市民・教員ともに95%以上が「家庭」を選択している。



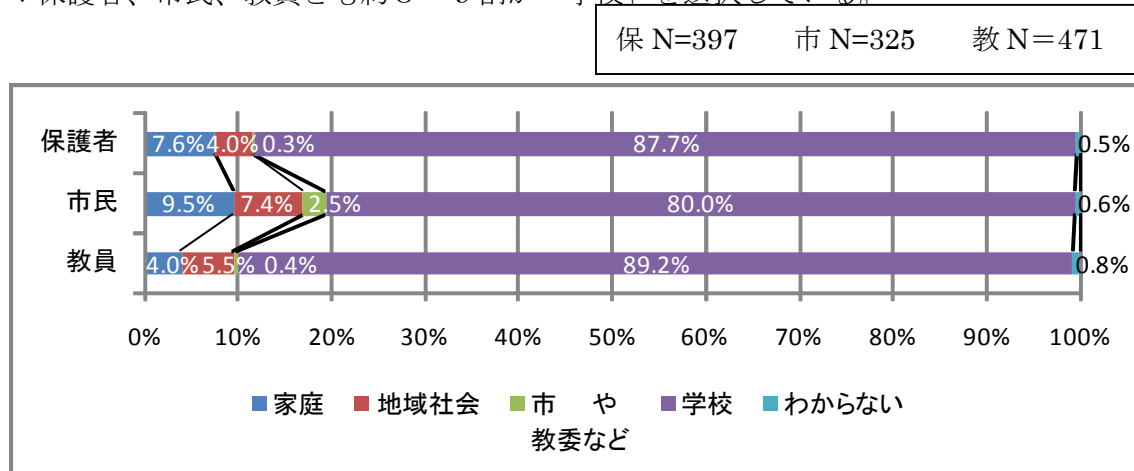
③ 外での安全な遊び方を学ぶこと

*保護者の役割とする回答が多いが、地域の役割とする回答も2～3割ある。また、市民は、学校の役割と捉えている回答も16.6%に上っている。



④ 集団生活のルールを学ぶこと

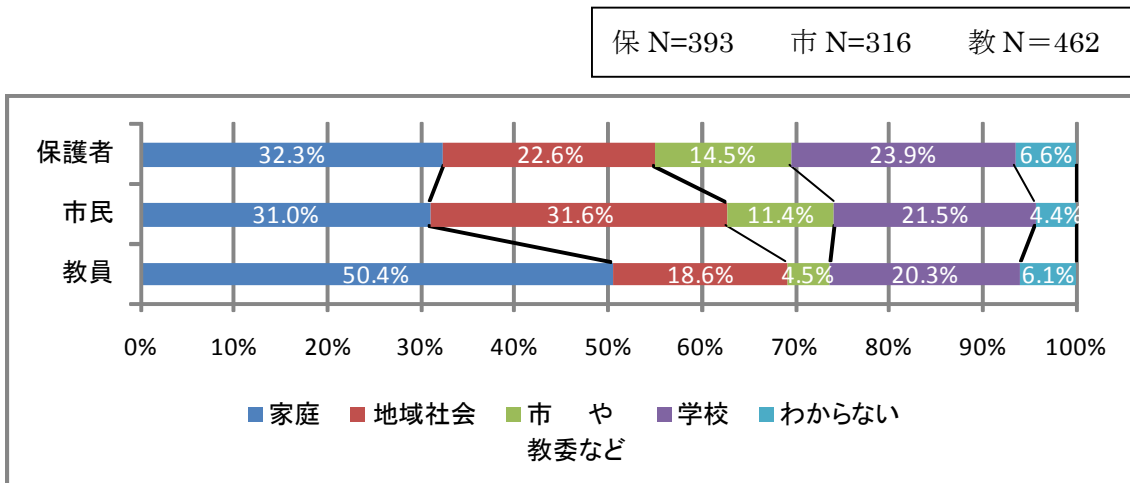
*保護者、市民、教員とも約8～9割が「学校」を選択している。



⑤ いろいろな生活体験をすること

＊全体的には「家庭」の選択率が一番高いが、「地域社会」「学校」「市や教委など」も選択率も高く、回答が分散している。

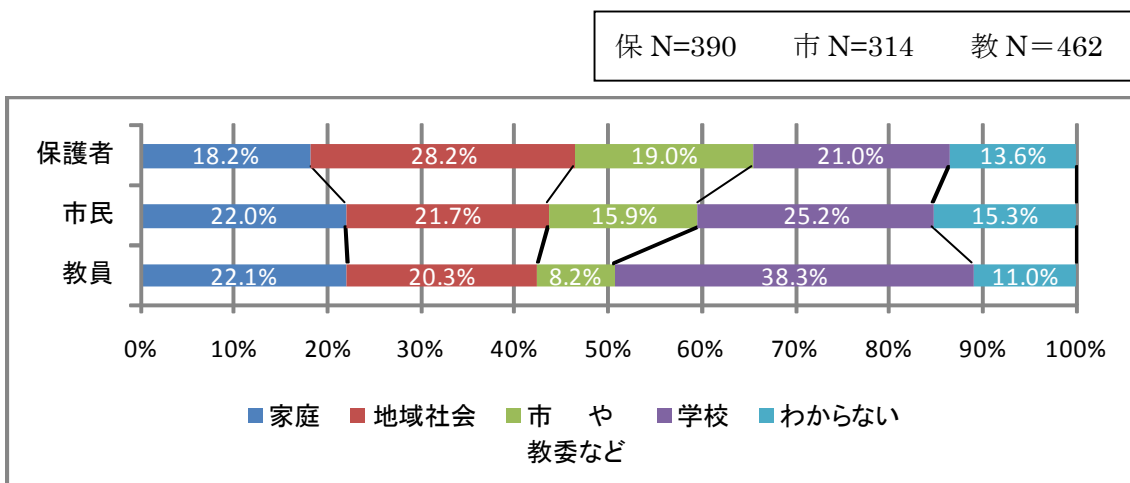
＊ただし、教員の50.4%は「家庭」を選択している。



⑥ 職業観をもつこと

＊すべての選択肢に回答が分散している。

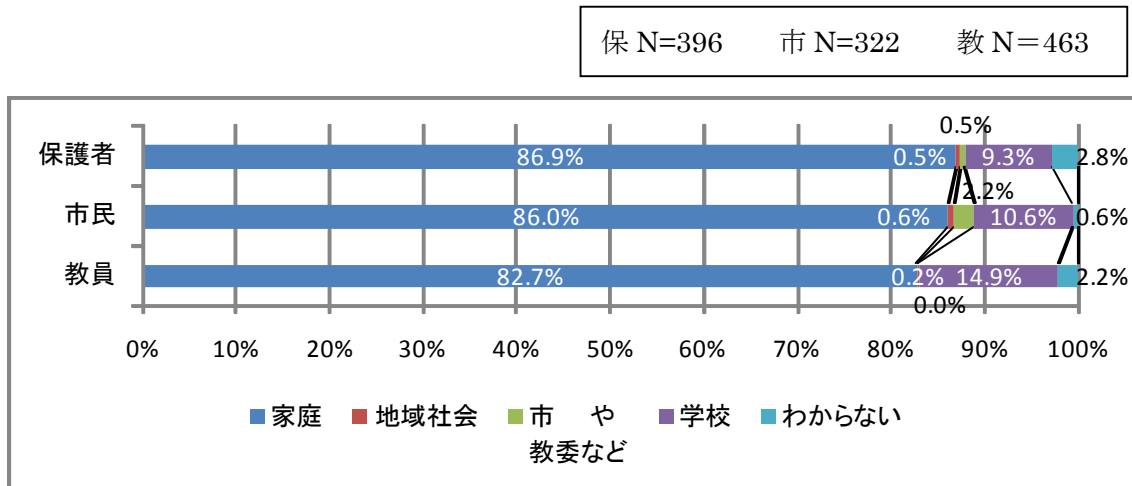
＊教員の38.3%は、「学校」と回答している。



⑦ 本や新聞を読む習慣をつけること

*保護者、市民、教員とも8割以上が、「家庭」を選択している。

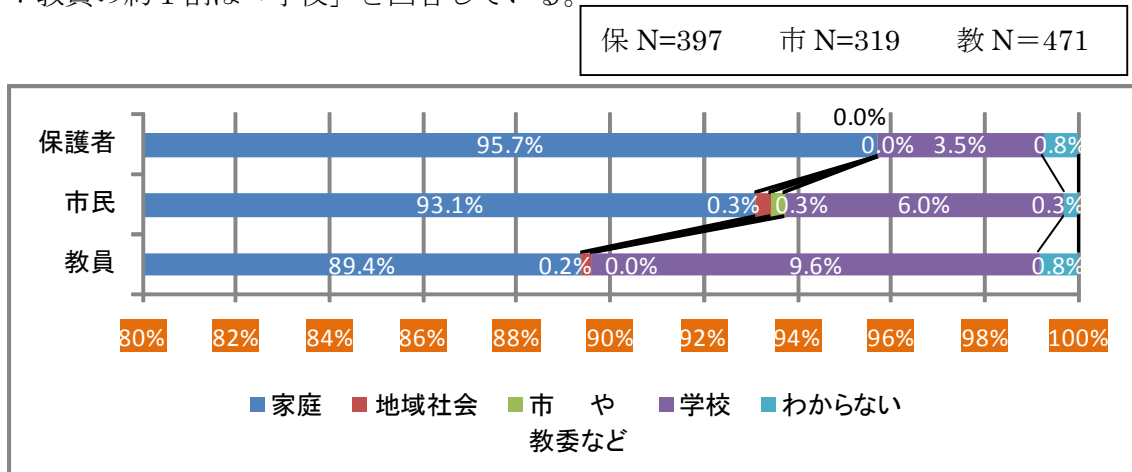
*ただし、「学校」についても保護者、市民、教員とも1割前後選択されている。



⑧ 家で勉強する習慣をつけること

*保護者、市民、教員とも約9割が、「家庭」を選択している。

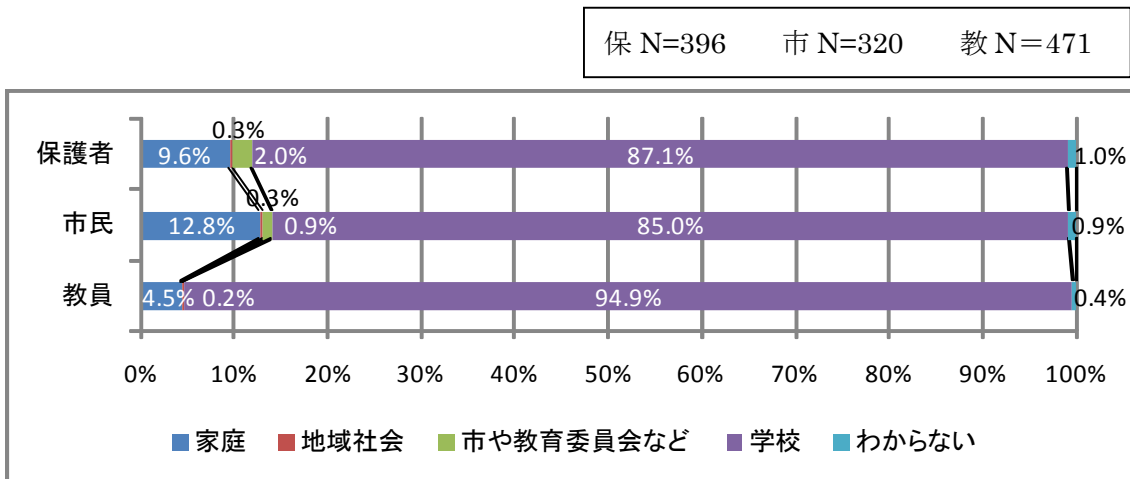
*教員の約1割は「学校」と回答している。



⑨ 基礎的な学力をつけること

*保護者、市民、教員とも85%以上が「学校」を選択している。

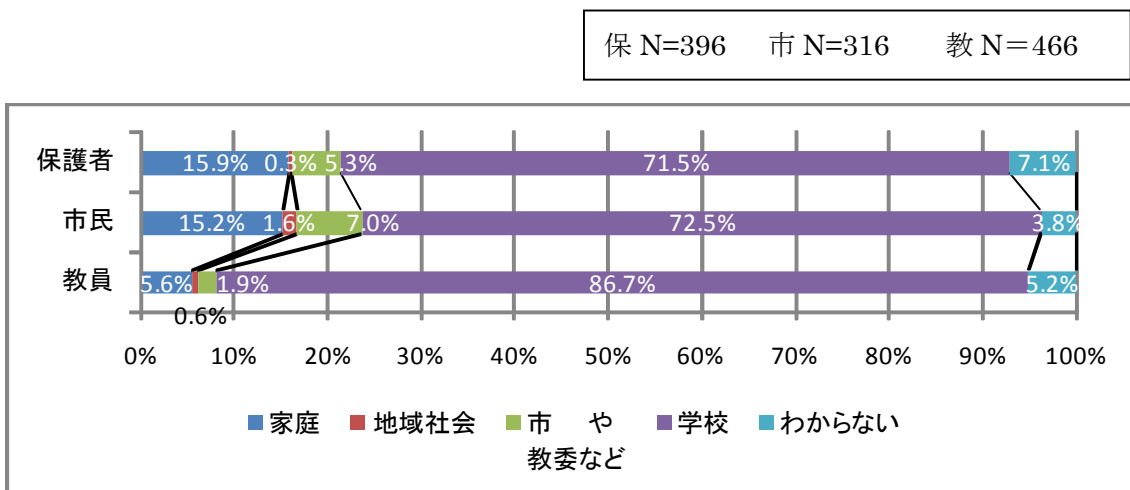
*保護者や市民の約1割は、「家庭」を選択している。



⑩ 進路選択のための学力をつけること

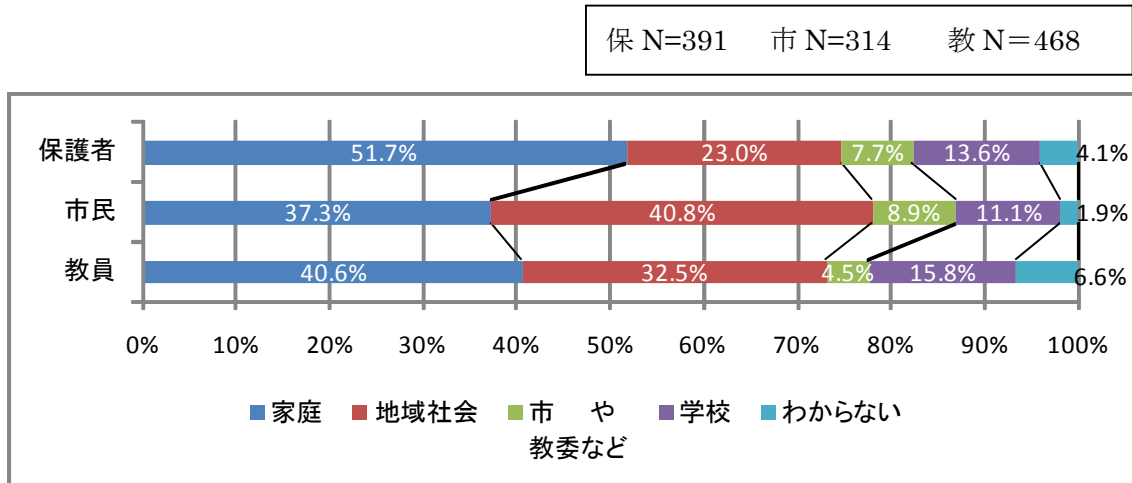
*保護者、市民、教員とも7割以上が「学校」を選択している。

*ただし、保護者や市民の15%以上が「家庭」を選択し、教員の選択率（5.6%）を大きく上回っている。



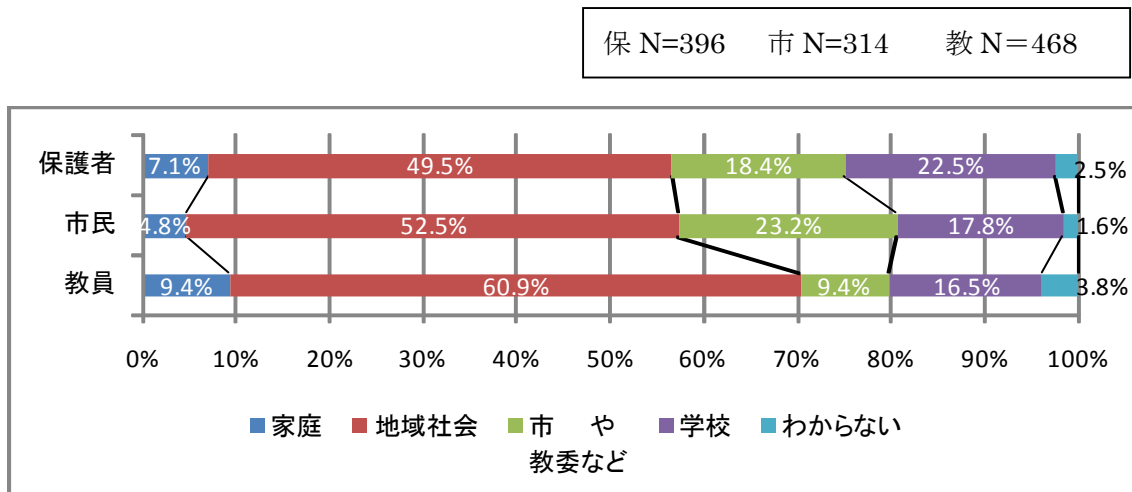
⑪ 自然や環境を大切にすること

*保護者・市民・教員ともに約7割が、「家庭」と「地域社会」を選択している。



⑫ 郷土の伝統や文化を学ぶこと

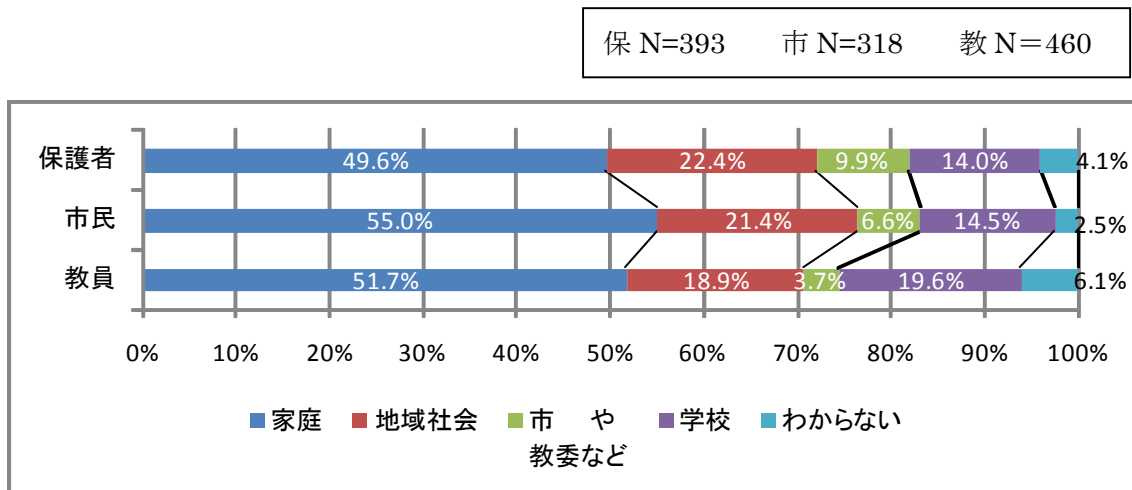
*保護者・市民・教員ともにその約5割から6割が「地域社会」を選択している。また、保護者・市民の約2割が「市や教委など」を選択しており、「市や教委など」が選ばれた率としては、最も高かった。



⑬ 人を思いやる福祉の心を育てること

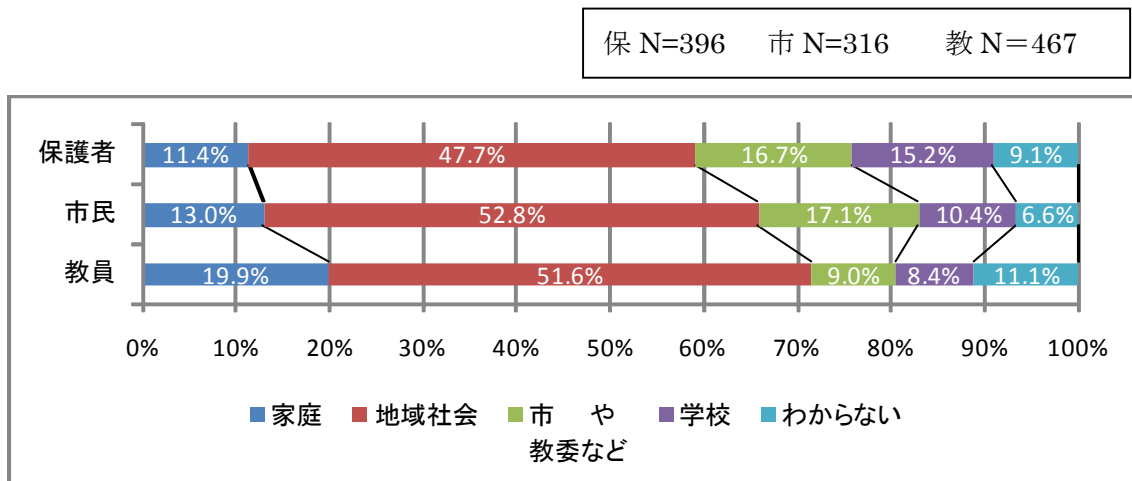
＊保護者、市民、教員ともに約5割が、「家庭」を選択している。

＊一方で、「地域社会」「学校」の選択率も低くない。



⑭ ボランティア活動に参加すること

＊保護者、市民、教員ともに約5割が、「地域社会」を選択している。また、保護者、市民は、「市や教委など」の選択率が2番目に高い。



【自由意見】 * 一部抜粋

【1】 児童生徒

（1） 学校全般

- *もっと楽しいことをふやしてください。（小4）
- *もっといい学校をつくる。（中3）
- *学校の人が全員、仲良く、楽しい学校に、できればよいと思います。（小5）

（2） 教育内容

- *もっとわかりやすくレベルの高い教育をしてほしい。（小4）
- *もうちょっと、分りやすくして、しっかり教育してほしいです。（小4）
- *もっとできる事をのばしてほしいです。（小5）
- *いい教育（小5）
- *もう少し楽しい勉強をしたい。（小6）
- *もっと楽しくて、おもしろく、ためになることをしたい。（中2）
- *ゆとり教育!!（中3）
- *もっと勉強に力を入れてほしいです。（中2）
- *ゆとり教育は良いがそのせいで学力が低下したと言われるのは嫌だ。（高2）

（3） 教員

- *もう少しやさしくしてほしい。（小4）
- *先生によって教え方がちがうので理科の先生にあわせて、ほかの人のじゅぎょうをうけたら、おこられることがあるから統一してほしい。（小6）
- *先生には、もっと元気で、子供の気持ちを理解してほしい。（小6）
- *社会科の先生教え方悪い。（中1）
- *学校の授業は楽しいです！先生がおもしろいです！（中1）
- *先生のひいきがあることが嫌だ。もっと平等に接して欲しい。（中2）
- *たのしくやって、でも本当に悪い事をした時におこる先生がいい。今の先生たちは、そうだしにくい！（小5）
- *先生こわい。（中2）
- *生徒差別をしている先生がいるので気をつけてほしい。先生のくせに、言葉使いがなっていない。（中3）
- *相談しているのに、こたえがあいまい（答えてくれない）（中3）
- *先生が生徒を信用してくれないと困る。体育を休んでずると言われるのはとてもショックだった。（中1）

- *友だちが、先生に傷つくことを言われたと言っていて、すごいイヤな気持ちになった。
だから、生徒に対する言葉づかいに気をつけてほしい。（中１）
- *うるさかったらちゃんと注意できる先生、せいとを作れる学校がいい。（中１）
- *先生をもう少しよりよくしていった方がいいと思う。このままだとおかしいことになると思うので、不祥事を起こす人などを徹底的に注意できる人がいるといいと思います。あと、教えてくれる先生もいいと思います。わからない問題があるときわかりやすく教える先生がいた方がいいと思います。（中２）
- *学校は楽しいけど、先生はむじゅんしすぎだし部活がつまんない。部活の休みがほしい。（中２）
*〇〇先生みたいに楽しく勉強を教えてくれる先生が学校にいっぱいいたらいいと思う！（中１）
- *先生たちはあいさつをしても無視する人がいるのは何でかと思う。特定の部活ばかりけむたがられていて、平等にしてほしい。自分の担任は、１人１人のことを理解を全くしていない。（高１）
- *授業をうけると先生をえらびたい。（高１）
- *やっぱり先生達にもっと引っぱってもらいたい。生徒が行動する前に希望をつぶしてしまったり、ひいきや話を理解しないなどが無いといいと思う。（高２）
- *担任の先生は、ほかのクラスに対して授業の進みがタラタラしておそいので早くしてほしい。下校も遅く、話も長い。わからない子を優先してるせいで授業の進みがおそい。話がぐだぐだして、けっきょくいみがわからない。（小６）

（４） 授業内容・授業方法

- *楽しく授業をうけたいです。（小４）
- *自習が多すぎる。（小５）
- *もっとじゅぎょうを楽しくしてほしい。（小６）
- *もっと授業をわかりやすくしてほしい。（小５）
- *授業で実験をもう少し増やしてほしい（小６）
- *わかりやすいので今のままで良いと思う。（小６）
- *先生の授業は、すごく分かりやすいけど、分かりやすいときと分かりにくいときの差が大きいと思う。（小６）
- *少人数制にするのもいいがほかの学校では二人の先生がいて一人の先生の所より学力が上がっていると聞いた。二人の先生がいてもいいと思った。（中１）
- *授業中の挙手はもっといろんな人に当ててほしい。（中１）
- *最近の授業が分かりやすく、うれしいです。ですが、地域ともっと関わるともっと良くなると思います。（中１）
- *早すぎてついていけない。もっとゆっくりおしえてほしい。（中２）

- *もっともっと楽しく勉強したい。(中1)
- *やさしく教えてほしい。(中2)
- *その学年の勉強内容として合っているかどうか見直してほしい。(中2)
- *どの授業も、もっと楽しく分かりやすくしてほしいです。あと、先生の言葉使いが悪い時がある気がするので、気を付けてほしいです。(中1)
- *もう少し授業の内容が楽しかった方が、分からない人でも、少しずつ分かりやすくなると思うし、好きになる人も多くなるんじゃないかなと思います。(中1)
- *誰にでもわかりやすい授業をしてほしい。(中1)
- *わかっているようでわからない授業もあるので、先に進むことを考えずに、理解しているか、していないかで考え、わかるようになるまでやってほしい。遅れをとらない程度で。(高3)
- *授業中にもっとプリントをつかって授業をしてほしい。(高2)
- *社会問題を授業にしてほしい。(中1)
- *専門的知恵などだけでなく直接社会にやくに立つことなどをもちこむ。(高1)
- *進路についての授業をもっと増やしてほしい。(中2)

(5) 個別教科

- *体育のレベルが低い。(小6)
- *教育については、理科の実験でそれを体験できるというのは良いと思います。(小5)
- *教科書どおりに進めてばかりなのでそれより、いろいろな専門的な事を入れても良いと思う。(社会など)(中2)
- *体育のプールの授業が寒い。(中2)
- *選択授業をもっと増やしてほしい。普段の授業では触れない所や、発展的内容などしっかりと学びたいと思う。(国語なら古典など) また、週一しかない音楽や美術も少しは授業時間を増やしてほしいと思う。主要5教科も、もう少し増えても良い。(中2)
- *技能教科ですが、昔の資料に頼りすぎだと思います。時代は常に動いています。過去を大切にすることも重要ですが、これからのことを考える必要があるのではないのですか。その他、同じ教科なのですが、その先生自身の考えや作ったものを見たこと、聞いたことがありません。昔からの授業をくりかえしやっているので、内容は伝わるのですが、いまいち印象に残らないです。(中3)

(6) パソコン

- *もっとパソコンなどを使った授業をしてほしい(小6)
- *もうちょっとパソコンやとしょしつにいきたい(小4)
- *もっとパソコンを使った授業をやりたい。パソコンに詳しい人に先生になってもらいたい。(中1)

*パソコンを使った授業など、普段と違うことをする授業をしてほしい。(中2)

*パソコンを使うじゅぎょうをふやしてほしい。(中2)

(7) 体験学習・職業体験など

*もっといっぱい見学などの機会を作してほしい。(小4)

*もっと総合的な学習の時間をふやしてほしい。(小6)

*ボランティア活動をもっと活発にしたり、授業の工夫をしてほしい。(中1)

*体験的な学習の時間を増やしてほしい。(中2)

*職業体験などを3年でも行うとよいと思う。(中2)

*もう少し外に出かけたりする授業をふやしてもいいと思う。学校行事をふやしても良いと思う。(中1)

(8) 行事、交流など

*もっと学校の行事を増やした方が生徒は、よろこぶと思う。(小5)

*林間などの行事はたのしいけど、やることがたくさんあって、全然おちつけないので、もっと息抜きのできるようなものに、してもらいたいです。(中2)

*もっと行事をふやしてほしい。2つしかない。とてもさびしい。(中2)

*生徒数が多いからもっと周りのクラスと交流したい。(中2)

*もう少し他校との交流があってもいいと思う。(中1)

*市からお金を出して文化祭を作してほしい。(中1)

*学校行事を増やす。(中1)

(9) いじめ・不登校対策など

*いじめや不登校の子がいるから、学校に来られるようにしたほうがいい。(小6)

*いじめにもっと、せっきよくてきになってほしい。(小5)

*いじめについてもっととりくんでほしい。(中1)

*いじめと授業を分かりやすくしてほしい。(中1)

*もっといじめや犯罪に対して、もっと指導をしてほしい。(もっと目をひかせてほしい。)(中2)

*いじめが多い。(中2)

*もっと学校で、カウンセリングなど、相談できるようにしてほしい。(高2)

(10) クラス、クラスメイトなど

*けんかがなく、いいクラスにしたいです。(明るいクラス)(小4)

*クラスをふやしてほしい。(小4)

*すぐくむかつくやつがいるからそこをしかってほしい。(小5)

- *超、いいクラスにしてほしい。(小6)
- *もっとクラスのふりわけのしかたを考えてほしい。(中2)
- *授業中すごくうるさいので、注意してくれると嬉しいです。うるさい人を後ろの席にするのは…ちょっと…。(中3)

(11) クラブ活動・部活動

- *クラブをふやしてほしい。(囲碁部など)(小4)
- *もっと部活動の時間を増やしてほしいのと、学校の設備をよくしてほしいです。サッカー部を応援してほしいです。(中2)
- *部活の時間を、もっと長くしてほしい。(中2)
- *もう少し部活動の時間を増やしてほしい。休み時間を増やしてほしい。(中2)
- *部活を長くする。毎日 20 : 00!! (中2)
- *甘い学校はあんまり良くない。もっと厳しくしてほしい。→部活を(中2)

(12) 学期制・授業時間など

- *2学期制を3学期制にしてほしい。45分授業を50分授業にしてほしい。(小4)
- *二期制はちょっと苦しいと思います。(中1)
- *もっと休みを増やす。(中2)
- *3学期制の方が良かった。現場にいないと分からないことがあるから方針を決める前に学校に行ってみてほしい。(高1)
- *土曜日でも学校に行けばふだんじゅぎょうを早くしなくても良いと思う。(小4)
- *どうして5時間から6時間になったのですか。(小6)
- *もう少し授業を増やしたい。(小5)
- *体育のプールの時間が長いし、はじめるのがはやい。(中2)
- *検定試験などの前に勉強できる時間があると良いと思います。(高2)

(13) 休み時間・昼食時間

- *授業の間の時間を少し減らして欲しい。(小6)
- *お昼の食事の時間が短いので、もう少し長くしてほしい。(中1)
- *ご飯を食べる時間が短い。(中1)
- *もっと休み時間を増やす。(中2)
- *授業の間の10分休みは、少し、すくないと思います。(中2)
- *学校の休み時間がみじかいから延ばしてほしい。(中2)

(14) 給食など

- *こんだてをおおくしてほしい。(小5)

*給食費を安くしてほしい。（小５）

*学校の食券を無くすのは、悲しい事です!!横須賀市立横須賀総合高校定時制。（高２）

(15) 服装・制服など

*サンダルやブーツやじてんしゃでもいい。（小５）

*制服のスカートの丈を短くしてほしい、制服のスカートをチェックとかにしてほしい（地味）、私服 OK にしてほしい。（中１）

*制ふくをかえてほしい（中１）

*制ふくの色（中１）

(16) 施設・設備

*教科書は税金でまかなわれているのに、大切にしていない人が多いので、教科書は各家庭で買うようにしたほうがいいと思う。（教育とはすこしはなれたけど、大事なことだと思います。）（小６）

*学校の机などにある落書きを消してほしい！（中１）

*学校に放課後、勉強が出来るスペースをつくってほしい。（できたら土、日も）（中３）

*席がえが少ない。学校が汚い。（中２）

*もっと学校をきれいにしてほしい。新しい楽器を学校用としてほしい。（中２）

*教室全部にエアコンをつけなくてもいいと思う。エコじゃないから。（中２）

*図書館の本をふやしてほしい。（中２）

*高校の冷暖房設備どうにかしてよ。（高１）

(17) その他（アンケートについてを含む）

*学校選択制は無くてもいいのではないのでしょうか？（中２）

*学習状況調査など、点数を出すことで達成感を味わえるため、点数などを出してほしい。（中２）

*高等学校も義務教育にしたらい。（９年⇒１２年）（中１）

*放課後、勉強できるようなシステムをつくってほしい。（中３）

*高校入試の前期選抜はやめた方が良くと思う。定期テストは県または市で全部の学校で同じ物を同じ日にやるべき。学校によって成績の評価の仕方がちがいき。（中３）

*部活などをすると帰る時間がおそくなり何回も車にひかれそうになりました。もう少し、学ランの色や道のあかりなどを考えてほしい。（中１）

*このアンケートを生かした教育をして欲しいと思います。（高３）

*もっと世の中を明るくしてほしい。（小５）

*教科書に、絵はいらないと思う。（小６）

- *もっといろんな人にモラルを持ってほしい。(小5)
- *もちつき大会などでは、食中毒がないか検査をてっていする。(地域の方と)(中1)
- * (特に) 私立高校の、受験料を払うとその高校に行かない場合でも受験料を返さないというぼったくりには正直おかしいと思っています。高校はそこまでの額ではないですが、大学のぼったくり具合にびっくりしました。(中3)
- *税金を教育に多いに使うことができれば良いと思う。(中2)
- *同好会を作りたい。他くらす、他学年ともっと接したい。HR とかに体育館で遊びたい。(高2)

【２】 保護者

（１） 教育内容など

- *子供たちが、すこやかにのびのびと成長してゆける教育環境を希望いたします。(30代)
- *個性を伸ばすような教育を希望しています。子ども一人一人、得手不得手があると思いますので、不得手の所を嫌いにならないようにしてもらいたいと思います。また得手の所はより伸びるように。(30代)
- *善悪の判断がまだできない子ども達に「いじめてはいけない」「人の痛みを知る」ことを徹底して教育していただきたく思います。また、英語の小学校早期実施は反対です。外国語の前にきちんとした国語と小学校で学ぶべき学習を徹底すべきです。(30代)
- *気になるのは、学力低下の問題。これからの社会はより厳しいと思うので、ゆとり教育については反対だと思う。(40代)
- *ゆとり教育は失敗だったのでは？とってしまう。今はほとんどの子が塾に入るけれど、塾に通わなければ学力がつかないのは学校としてどうなのか？と思う(40代)
- *授業内容があまりに少なく、学力の低下を非常に感じています。(50代)
- *塾に頼らなくても済む教育(40代)
- *犯罪の低年齢化が問題となっていることから、小学校においてもある程度の法教育（少なくとも刑事法令を遵守する教育）が必要と思われる。(30代)

（２） 授業内容・授業方法など

- *うちにはパソコンがないのに、学校の宿題で、パソコンで調べてきて下さいという宿題が出ると、困るし、子供がかわいそうですが、どの家にもパソコンがあると考えないでほしい。
- *他の県の小学校に通っていた事があるのですが、時間数が足りないと思う。先生も個人差はあると思いますが、熱心な人が少ない。学級運営が大変なことだと思うが、授業の質が地方とは格段に下であると思う。(40代)
- *少人数授業や習熟度別の指導等を増やし、塾に頼らずとも、学力を向上できるよう希望します！→子供の遊ぶ時間も増える！(40代)
- *小学校の総合学習が、どのような内容でどのように行われているか、管理職や教育委員会が把握しているのでしょうか。(40代)
- *授業は少人数制に大賛成です。レベルの同じグループというのではなく、様々なレベルでのグループ分けが理想です。(30代)

（３） 教育制度

- *学校週5日制で6時限目まで授業するのは、集中力・体力に無理がある。(30代)
- *公立小・中学校でも能力別クラスを作るなど、特色を持つ学校作りを提案します。(40代)

- * 2学期制は良くないと思います。3学期が良いです。なぜなら、1学期ごとに通知表を見て、子どもの成績や生活など早めにわかるからです。（1学期ごと短い）2学期制だと、しまりが悪いというか、夏休み、冬休みに入る前に通知表を見て、改善できる所は早めに対処できるようにしたい。2学期制は、秋休みまで、通知表がもらえない。（30代）
- * 週6日制にしてほしい（30代）
- * 学校5日制は反対です。中学生ですがクラブに時間をとられすぎで本来の勉強が心配です。（50代）
- * 私達が子どもだった頃とくらべて、授業時間はものすごく少なくなったと思う、週休2日になり、その分を今の授業時間で無理やり詰め込もうとするのはどうなのだろうか？（30代）
- * 40人学級といわず、その地域、子どもたち、考え方に合わせた学級数にすればよいと思います。教育特区なんだから利用すれば？（ほかの事も）（30代）
- * 人数減少の学校の学区の見直しをもう少し早い時期に行うべきだと思います。その状況になってしまってからあたったとしても遅いと思います。（30代）
- * 高校入学、受験の手続き等、簡単にして欲しい（30代）
- * 中学になった時、小学生の勉強を100%理解できているかチェックするシステムはあるのでしょうか？（40代）
- * 中高一貫教育を希望します。高校も義務教育にして頂きたい。（40代）
- * 全国学力テストを全校やるべきです。またその結果を公表すべきです。（40代）
- * 絶対評価の基準が各校バラバラで不公平感があり、一生懸命やっている子がやる気をなくします。もし絶対評価を続けるならば、学年末テストだけでも全校共通にしたらどうですか？（40代）

（４） 教育委員会・行政など

- * 法律で先生方の自由を奪っているのでは？（先生方個々の教育方法等）・こんなアンケートを出す位なら、教育委員会の人が、学校に出向き、保護者とヒザを突き合わせた形の話し合いを設定した方が子どもの為と思う。（30代）
- * 子供が通う学校についての意見、相談などをきちんとうけとめてきてくれる部署を設置してほしいです。学校側に伝えても学校内で終わってしまい、ほとんど何も対応なく解決できずに終わってしまうのが現状です。（30代）

（５） 教員

- * 子どもが小学校1年生の母です。担任の先生は少しこわいので、子どもは友達にイヤな事をされたり、困ったことがあっても話ができません。（30代）
- * 昔より熱心な先生が少なくなった様に思います。悪いことを本気で叱る先生がいない。土曜日、午前授業をした方がよいと思う。（30代）

- * 教師、一人一人の温度差がすごく感じられます。いい教師にあたる方がむずかしいように思います。(30代)
- * 授業参観等で感じる事は、教える力量が教員間で大きく違う事です。特に若い先生では、知識はともかく、教えるための力量が大きく欠落していると感じることが多くあります。また社会人としての常識を身につけていない方も責任感の無い方も見受けられます。教員は先生であると同時に社会人として子ども達の見本とならなければならないと思います。(40代)
- * 痛みの分からない生徒が増えているのでは？昔の様に、悪いことをしたら注意し、聞かない場合は叩く事も必要と考える。・先生方も色々であり大変だと思いますが、先生方も保護者の顔色を伺っている様に思える。生徒を自分の子どもと心から思い、自分なりのメリハリをつけた教育方針を確立し、対応願いたい。(30代)
- * 現在小学生の親です。小学校はとても良い学校ですが、教師一人一人を見ると、良かったり、悪かったりです。とても熱心な気配りの良い先生もいれば、30年前の私の時代の教師と全く変わらない方針や対応の先生もいます。良い先生が担任になってくださるととても嬉しいのですが、そうでない先生に当たると一年ムダに過ごしてしまいます。それどころか、子どもの性格や学力まで変えられてしまいます。対応や授業の進め方を学校でしっかり方針づけて、ある程度統一していただきたいです。時代は進歩しています。ハイテクな授業を望んでいるわけでは決してありません。時代にあった対応がとれる教師を育ててください。そのためには、保護者や地域はいくらでもお手伝いいたします。また、学校で使う教材や資金の寄付を地域で集めても良いと思います。アコースティックでありながら、時代に合った教育と運営を望みます。(40代)
- * 子ども一人一人に対応する事はとても大変だと思いますが、出来ないものは切り捨ててという考えを持っている先生（中学）がいるという事を知りました。出来ないながらもがんばっている生徒をすいあげるような指導をしていただけると親としては心強く感じると思います。よろしくお願いいたします。(40代)
- * 担任の先生の授業のすすめ方にバラつきがあるように感じます。ほとんど宿題を出さず、授業時間内で終わらせてくれる先生もいれば、毎日のように宿題を出す先生と様々です。小学生の子どもに数時間かけるような宿題は睡眠不足にもなり本人の集中力も欠けてきます。また、習い事をしていると、宿題と習い事の両立も難しくなります。できるだけ、学校の勉強は授業時間内で終らせることができるよう先生のレベルを統一してほしいです。(30代)
- * 学年が上がるにつれて子供が家で話さないときがある。情報も担任の先生からではなく外部からくること、知ることがあるため、もっと小さいことでもよいので伝えてほしい。(40代)
- * 子供を叱れる先生が必要です。(40代)
- * これからの中学生活がとても心配です。先生方と保護者が密着していけると良いです。

私が中学生の頃の様な熱心な先生がいてほしいのが願望です。(30代)

- *受けもっていただいた先生によって、子どもが明るくなったり、暗くなったりします。
先生の中でも目を、耳を疑う様な常識外れた人もいたりするのが不安です。熱心な先生に受けもっていただくと子どもの良い面が引き出され、悪い面が改善されていきます。
教育者の中でどうしてこんなに違いがでてしまうのでしょうか？(40代)
- *私達が子どもの頃とは違い、物資が豊かで何の苦労もない分、勉学や対人関係で悩む事が増えてきてしまっているかと考えれば、不便な生活事情だった方が良かったのかなと思います。・・・あの頃に勉強を習った学校の先生方はとても熱心で愛があったと思います。(30代)
- *大変申し訳ありません、先生方も一生懸命やってくださっているのですが、多忙すぎるので、子どもの個性の理解度が非常に浅い印象を受け、誠意が感じられません。子どもも「守られている」という実感や安心感を得ることが出来ていないようで、親もそれに慣れてしまい、学校に何かを期待することは無くなりました。その分親がしっかりしないとアンテナをはりめぐらせているのが現状です。本気で子どもを受け止めて下さる先生に出会いたいです。保身に回っているようにしか感じられず、淋しく思います。これも時代の流れでしょうか、哀しいですね。(40代)
- *昭和の先生：教えて育てる 平成の先生：サラリーマン（心と中身がない）。先生を教育。(40代)
- *先生に対して感じることは、（特に最近の若い先生）学生から直ぐ、教師になられた方より、他の職業を経験されてからの方が見識が広いように思われる。やはり机上や学生としての経験だけでは培われないこともあると思うので、別の場所での社会経験は必要であると思う。(40代)
- *相談したいことがあっても、先生方の様子を見て、無理だろうと判断し、できずにいることが多い。もっと余裕を持って、子ども達と関わって欲しいと思う。子ども達から見て、信頼をもって関わっている先生がいない様子。脅したり、権力をたてに子どもに関わっている様子を耳にするので、思春期のこの時期、大人として、子どもとどう関わるべきか考え直して欲しいと思う。(40代)
- *先生方が一生懸命やっていたいていのはわかるのですがまだまだ一人一人に目が届いてないです。私自身残念だと思った事がありました。そういう先生がいらっしゃると、その先生の見方が変わってしまいます。とても残念です。とくに中3には、目をやってあげてください。必ず一人一人に。(40代)
- *生徒に信頼、尊敬される先生を増やして下さい。(50代)
- *息子の中学校は、今は平和な学校生活を送っています。すでに2人の子どもがお世話になり、卒業しました上2人がいたときは問題が多少あったようです。しかしそのころの方が先生たちもある程度子ども達を見守って指導していたようですが、今は良くなった分、それを見守っていくために少しの事も「ピリピリ」として、指導するばかりで、子

供達を見守る余裕がないように感じられます。先生方の苦勞もわかります。自分の子どもも迷惑をおかけしていますが、もう少し見守りながらの指導をお願いしたいです。怒る事はせず、叱って下さい。(40代)

*教師の指導力の差を無くしていただきたい。(40代)

*授業中、子どもがうるさくしても先生は何も注意しないと聞くが、何も出来ないのかなと思う。今は体罰等親も自分の子どもをしかる事が出来ない時代でも、昔ように先生に怒られた・なぐられた位のことはいいと思う。(やりすぎは問題だが)(40代)

（６） 教員の多忙化

*学校の先生は本来子ども達に勉強を教えることが仕事だと思います。でも最近はその一番大切な仕事が雑用に追われ、できなくなっているのではないのでしょうか。親ももっと自覚と責任を持って、子育てしなければならないと思います。何でもかんでも学校や教育委員会のせいにしてばかりはいられないと思います。クレーム処理に追われている教師の姿は本来の姿ではないと思います。今日のアンケートは親の姿勢を知るよい機会になると思います。親がきちんとしていれば、子どもは親の姿を見て、育っていくと思います。曲がった方向には行かないのではないのでしょうか。教師が本業に専念できるよう教育現場の体制が整えられればよいと思います。スウェーデンはそのような体制ができているとTVで見ました。今のままでは教師の負担が大きすぎると思います。教師が心身共に健康でなければ健全な教育はできないと思います。(40代)

*学校教育の基本は、分かり易く楽しい授業だと思います。それを可能にするためには、先生方に教材研究をしたり、授業の工夫をしたりするゆとりが必要です。(40代)

*小、中、高の先生は授業以外の事務的仕事等、管理・拘束されている先生が多く、先生方に自由がないと思われる。実際はどうかかわからないが、大変そうに思われます。(50代)

*教師の事務仕事が多く、児童生徒と細かく関わる時間が限られているようだ。以前にくらべ、休み時間や昼休みなど、児童と校庭で遊ぶ先生が少ない。授業中以外の子どもの様子を見られる時間をしっかり持って対応をきめ細かくしていただきたい。(40代)

（７） 家庭教育・保護者など

*昔とくらべると、親が学校の事に関わりすぎている気がします。親が出すぎて先生たちのやる気がないのでは？と感じています。(30代)

*最近、先生が生徒に対して、手をあげる事がなくなりました。昔は良く悪い事したら、たたかれたり、立たされたりしてたのに、今はモンスターペアレントが多くなったからだと思いますが・・・そうすると、たたかれた事がない子どもが増え、痛さが分からない子どもが増えている様な気がします。また、大人の前だけだと良い子になる子がいて、何かすると「そんな事するような子ではない・・・」と言う親も多く先生たちの指導もとても大変になってきているとお察しします。頑張ってください。(40代)

- *昨今の親は、家族あるいはカギっ子で育ったためか、ちゃんと躰られていないように感じます。よって子どもが小学校の入学するまでの躰が出来ません。親の「子を育て、躰ける能力」の向上が社会全体で必要だと感じます。(40代)
- *以前には考えられないような親が多くなり、大変だと思いますが、先生方ががんばってください。(教師側にも問題のある方はいらっしゃいますが)(40代)
- *教育についてどちらかといえば家庭の問題。何でも学校に任せるとするのはどういうものかと思う。ただし、その親の問題があるので、どうしたものかと思う。地域、近所等で連携していかなければいけないと思う。(40代)
- *インターネットやパソコンなどきちんとしたルールを守って使わせる。携帯はチェックしても良いことをルールとして使わせています。(40代)
- *勉強だけが教育とは思っていないが、友達と遊びながら社会への一歩を学んでくれたらと思っているが、何より、今の保護者の方々の「うちの子に限って」の気持ちが強く、先生のせいにしすぎている事が多い。子どもにとって学校で、もしくは、家庭でも、先生は怖いでも一番信頼できる存在で、親も預けている以上、先生をもっと尊敬すべき。(40代)
- *自分の家の考え方が子どもの友達の家と違う場合にどこまであわせるかが問題です。「みんなそうだよ」と言われそれに流されて結局子どもの言うなりになっていかないうにしたいものですが、あまり友達と違うと相手にされなくなるという心配もあります。気の合う友達がいればよいのですが。自分が育った子どもの頃と環境が大きく変わっているので、自分のあたり前が今の子のあたり前でなかったりするから親の方も考え方を変えなくてはいけなく難しいです。(30代)
- *多くの設問の中で、学校側が生徒や家庭に合わせようとしているように見える。学校側はもっと強くあるべき！そのようにして受けをよくして家庭にあわせようとするから親側がつけあがる。結果、暴力（先生）を責めたり、給食費の不払い等が発生する。義務教育なのだから、厳しくして当たり前だと思います。親を甘やかしてはだめです。(30代)

（８） 学校・家庭・地域の連携・役割分担など

- *横須賀の明るい未来のためにも、子どもがずっと横須賀にいたいと思えるような市を作ってもらいたいです。教育が良ければ、横須賀という街も良くなるものだと思っています。教育担当だけでなく、大人全てが子どもに関心を持ってもらいたいです。(30代)
- *子どもがいる大人だけが対象ではなく、なにかが合った時にその場に大人があつまれる、協力しあえる環境にしていきたい。そのためには、教育現場のみでは限界があるのとは是非警察等と協力を強化して、日常的に子どもに対して、どこまで具体的に指導が出るのか？また、してよいのか？等の教育の場を作ってもらわないと、見て見ぬふりはいつまでも改善されない！まず大人の心で思っている意識を出せる環境づくりを。(40代)
- *子どもたちは我が子であると同時に未来の日本を背負って立つ日本の財産とも言えます。

家庭、学校、地域など大人たちの知恵をもって大切に育てていきたいと考えています。

個人の力は微力ですが、学校、地域を通して、協力していきたいと思っています。(50代)

- *両親ともに働いているので、気持ちはあってもなかなか学校に足を運んだり、役員をしたりすることは難しいのが現状である。学校には、子どもの学習面でのことは、全ておまかせしているし、先生方は、よく見てくさっていると常に感謝しています。健やかな成長は、あくまでも子どもを支えていく家庭にあると思います。学校、地域はそれを支えて、協力していくことしかできないと思います。何でもかんでも学校におしつけることは間違いでしょう。(40代)

(9) 子ども

- *茶髪、化粧、ピアスをなくすために、学生らしい教育を進めたいと思っています。今また、悪い態度の子ども達が増えて、まねたり、影響を受けたり、将来的不安で、なくすために、進めたいです。(30代)
- *子どもを育てていると、いろいろな子ども達に目が行きます。ちょっとさみしげな目をしている子を見ると「僕はここにいるよ。」とシグナルを鳴らしているような気がしてとても気になります。そんな時は、こちらから挨拶したり、声をかけると笑顔がみられます。ちょっとしたコミュニケーションって大切だなと感じる今日この頃です。(30代)
- *服装の乱れは心の乱れと言いますが、横須賀市は髪型も服装も規則が緩く驚きました。(男子は特に髪が長くて)個人の自由もありますが、せめて中学校時代はきっちりした方がよいのではと思いました。(30代)
- *運動部に所属している中学生は、朝練、放課後の練習に加え、土日の試合、塾等で忙しいのが気になります。(40代)

(10) いじめ、不登校、支援教育など

- *不登校・保健室学習の子どもが増えているように見受けられますが、保護者に情報が入らず、またケアも出来ていません。教育委員会は何をしているのですか？隠したり、口を出すなと横やりを入れるのが教育委員会なのですか？不登校や保健室学習の子を持つ親は自力でサポートの場を探さなければならない現状をどう考えますか？そういう場所等の情報を教えることは「きょうせい」することとは違うと思いますが、「そうとられるといけないので」という理由で自力で探している親を見ていると憤りを感じます。「さすがお役所仕事！」ですね。保健室学習の子ども達にきちんと説明がされないため、不公平感を生み、ひいてはいじめに発展ということが実際にありますが、何も感じませんか。(40代)
- *「いじめ」の件でも、学校での先生方の対応に温度差があり、特に管理職の先生方が事なかれの対応で、不信感を抱いたことがありました。被害者が、(我が子だけでなく)複数人、それもケガや不登校になりそうな子もいたのに、精神論だけで、子どもに説教

をすれば、済むというような対応でした。管理職者としては優秀なのかもしれませんが、発達障害者に対しての不勉強さや、非常識、反道徳的な母親への働きかけができない無能さを痛感しました。まして、そのことを解決しようとクラスのほとんどの親が当事者を招いて話し合いを持った場に当時の校長先生はすぐに来ようとしませんでした。能力的なことだけでなく、その校長の人間性を疑いました。（40代）

* 子どもの教育とは教え、育むと両方をバランス良く、なおかつ、子どもが嫌な思いをしないで安心できる生活が送っていければ、あとは勉強、能力というのは本人の努力、気持が追ってついてくれるものと信じたいです。言葉や頭で考えている通りに行かない現実社会に子どもを送りださなければいけないかと思うと心苦しい思いです。（40代）

* イジメに対する体制をしっかりとしてほしい。（40代）

* 横須賀市は障害者（障害児）に対してまだまだ認識不足の点があるように思います。他市と比較してみても思うところがあります。（30代）

（11）放課後の子どもの遊び場など

* 子どもが安心して楽しく遊べる場所をもっと整備してほしい。青少年の家の場所が家からは遠く、暗い場所を通らないといけな所にあるので、もっと皆が行きやすい場所につくってほしい。（例えば学校の中や自治会館など、スーパーの近くや空き店舗なども大人も子どもも行きやすいです。）また「わいわいスクール」も開いているようだが、時間が短いことと、内容があまり魅力的でないようなので、高学年でも遊べるような内容にしてほしい。

* どうしても家でゲームなどをすることが多くなってしまうが、公園などに行っても遊具が少なく、つまらない、と言って帰ってきてしまうことが多い。外で遊べる公園なども整備してほしい。外に行っても何をして遊んでいいのかわからないようです。学童指導員のような方が「遊び」そのものを教えていただけるとうれしい。小学校の放課後は、遊びを通して色々なことを学んで欲しいのですが、まわりのお友達は皆、塾や習い事に行く人が多く、一緒に遊べる人がいなくなってしまうようです。学力向上も大事ですが、とてもさびしいような、とても将来心配になってしまうのは私だけでしょうか。（40代）

* 小学校の放課後の過ごし方です。横浜市のような「はまっこ」の様な設立は難しいのでしょうか？親の希望としては、家の行き来ばかりでゲームばかりではなく、外で元気に遊んでほしいと願わずにられません。財政もあり、厳しいのであれば、学校にランドセルを一旦おいて、校庭で遊べるシステムを持っている追浜小のような方法を各学校にあれば、少しは子ども達も外へと目が向くのではないかと思います。少子化と言われ、お友達と遊ぶのに一苦勞の子ども達です。学校の授業が終わったら、それで終わりではなく、放課後の過ごし方にも目を向けて、市で取り組んでほしいとお願いしたいです。こればかりは親にはどうしようもありません。よろしくお願いいたします。（30代）

- *小2男子ですが、友達との遊びがDSばかり…もっと体を使った遊びをしてくれたらと思います。(40代)
- *学校内学童を作ってほしい。低料金で！(30代)
- *横須賀市は学童保育が著しく遅れています。少子化とは言え、共働き家庭が増えていると思われるのに、危機感はないのですか？恥ずかしいと思わないのですか？(40代)
- *下校後、友達同士で遊べる場所が少ない。近所に公園があっても、サッカーなどしていると大人の人に「やってはダメだ」と言われるので、家でゲームをすることが多くなる。(40代)
- *小学校低学年次における児童の放課後の対策を積極的に行ってほしい。学童クラブ、みんなの家をもっと充実させてほしい。特に施設、助成金の面で。(50代)

(12) 給食

- *中学も給食にしてほしいです。(40代)
- *公立中学校の給食導入(40代)
- *完全米飯給食の実施(40代)

(13) 施設・設備など

- *子供の安全を重視し、建物（体育館）など、補強をお願いしたい。(30代)
- *校舎が古すぎて、冬は寒く、夏は暑い、廊下はきしんで音がする。地震対策の補強は、行われているけれど新築にするのは、無理なのか？主人の頃からそのままの建物・・・私の実家はすでに2度も建て替えをしているのに、この違いは？トイレも汚い！設備の充実を求めます。(40代)
- *プールがないのも信じられない。すぐ目の前に海があり、泳ぐことができる地域に住んでいるのに、正しい泳ぎ方、水に入るマナーを勉強する所がないなんてとても残念に思う。音楽室に楽器がとても少ないのもとても残念。合唱だけではなく、合奏、高学年になったら学校鼓笛隊とかドリルやグラスバンドがあった自分の小学校時代とくらべると差がありすぎて、横須賀に家を買ったのを後悔しました。子どもの為にも他の市町村（県）へ引っ越した方がいいのではと今でも思う時があります。(40代)
- *小学校の図書室の本が少なすぎる。図鑑ばかりではなく、人物伝や推理小説、世界の文豪作品等、今、流行り（話題の本）ばかりではなく、学校だからこそ昔ながらの文学を取り入れてほしい。(40代)
- *総合高校の施設は他にない誇れるものと思います。今後の維持・管理等、市・学校・PTA・地域などボランティアも含め、総力をあげて、現環境を守ってほしいと思います。(50代)

（14）その他（アンケートについてを含む）

- * 教師が手をあげることが体罰とみなされるから子どもの思うがままという事が多い。親も少しおかしいと思う我が子を守る事と甘やかす事は違う。うまく言えないが、今の教育では子どもの将来が心配です。(30代)
- * とにかく、安全に、健やかに学校生活が送れるように心より願っています。よろしくお願い致します。(40代)
- * 将来、なりたい職業が早く見つかった子どもにはそれに向かって夢があります。特に何になりたいかわからずにいる子どもは何のために勉強をしているのかわからなくなります。就職難だし、やりたい仕事もないし、勉強も好きでもない・・・と子どもを育てる親は今、頭が痛いのです。(30代)
- * 私学の学費を見直してもらいたいです。大学や専門学校に行くお金も貯めないといけないので、高すぎます。(40代)
- * 調査するだけに終わらずに是非、反映させて下さい。(40代)
- * アンケートの設問がわかりにくい。設問が何を基準にしているのかわからない。(40代)

【3】 市民

（１） 教育内容など

- * 自主性を取り入れ良し悪しの教育をすることが必要と思う。(70代)
- * 勉強だけでなく、リフレッシュする場（運動等）も沢山設けて勉強とのメリハリ（集中力を養う）をつけることも必要。(20代)
- * 「ゆとり教育」は何だったのでしょうか？国を含めて教育する側の都合だったのではないかと思います。日本の将来を背負う子ども達を中心とした教育指導をお願いしたい。(50代)
- * 詰め込み教育でもゆとり教育でも勉強を覚える割合は同じだと感じています。詰め込み教育で沢山習って忘れなかった知識の方より、ゆとり教育で勉強をじっくり教わって覚えた知識の方が少ないように思いました。知識は覚えれないから教えないではなく、覚えられない子がいてもいいと思います。いろいろな知識に触れる機会を与えることが大事だと思います。勉強を覚えられないとか、ついてこれないのがなぜ落ちこぼれるのですか。学校教育とは人間形成の場だと思います。(60代)
- * 以前 TV でたくさんの体験を通して子ども達が生き生きと学び工夫された授業の中で詰め込みではなく学ぶことが効率的にされている紹介がありました。その中の先生の一言。「子どもはおもしろければ言わなくても勉強しますヨ」でした。盛んに国際社会を目ざし、早期教育、英語教育をクローズアップしていますが自分の国の日本語も伝統も知らず正しく使えなくて他国の勉強が果たしてできるのでしょうか。四季豊かで恵まれたこの日本の素晴らしい土地を利用し伸びやかな教育それは休みを増やすという単純な発想でないと思います。昔の方々が物も環境も悪くて素晴らしい知識、自分で考えてつくり出していく力、学力も今よりもっとあったと思います。何が今と違うのかもっと原点に帰った教育、横須賀市ならではの工夫をしていただきたく又、協力もします。(40代)
- * 高い学力を求めることはすでに希望する保護者・児童はやっているので、そこはこれ以上求める必要はないと思います。それよりは生命の大切や、人への思いやりなど子どもの時期にしっかりと身に付けていけるようなこと学校という場で全員に身につくようにすることを考えたらいいと思う。自分に出来ることで人や社会に貢献する大切さを身につけてほしい。(50代)
- * 公教育には期待しておりません。このような時代は子どもに合った教育環境を両親が選択し、子どもに判断能力を備えた時には3者間で考える必要があるのでは・・・ちなみに我が子は小学校より横須賀市外の私学に通学させております。(40代)
- * これからの日本を背負っていくとやることをしっかり教え込んで頂きたい。(30代)
- * 学習の基本は読み・書き・そろばん それの毎日のくり返しだと思う。塾は必要ないし、早寝・早起きも出来ると思う。(50代)

- * 公立保育園において幼児にＴＶを見せているところがあったが、本を読み聞かせる等の努力を希望する。手間が大変と思うが、密度の濃い教育が必要。その為には外部評価を積極的に取り入れたらどうであろうか。(50代)
- * とにかく、ゆとり教育を廃止し、その分生活や行事を学ぶ授業を増やすべき。(20代)
- * これからの学校教育は塾などに行かなくても理解できる、落ちこぼれと、いじめを無くする教育を目指して行って欲しいと思います。地域の経験者たちの力も貸してもらいながら、教師達は力を惜しまず全力で教育に当たってもらいたいと思います。(70代)
- * 横須賀市の教育については、他市に居たのでわかりませんが、子どもはゆとり教育の時でなく良かったと思っています。週５制にもなり、授業時間が減り変わりに塾通いが多くなり教育費をかけられる子どもとそうでない子どもに差が出て不思議ではないと思う。ゆとりの意味が解らないです。(50代)
- * 子どもにはいつも元気でのびのびといってもらいたいが、学力も大事な事だと思うので授業時間をもっと増やす方向に行っていきたい。(60代)
- * 国語（日本語）教育の充実を切に願う。(70代)
- * 日本語もろくに使えないのに、英語学習なんてもってのほか。不必要。週５日制なんて生ぬるい。学生はもっと勉強すべき。(20代)
- * 小中学では①知識（いわゆる教科）②社会のルール（道徳）高校ではそれに自分の考えを持たせるような教育が必要だと思う。先生がポイントと思う。(60代)
- * 登下校の際、校外での礼儀やマナーを伝える事も社会生活教育の一つとして大切なことだと思う。思いやりを育む為に異なる学年の生徒同士の交流を増やす。(30代)

（２） 教育制度

- * 先進国の中で日本の子ども達の学力が劣っていると聞きました。土曜日は学校休みでなくてよいと思います。ゆとり教育といって土曜休みにして親は高いお金を出して塾に通わせても学力は先進国の中で下の方では変です。親も土日が休みとは限りません。土曜日の休みは廃止した方がよいと思います。教育費を造るため共働きが多いです。(70代)
- * 土曜日の午前中のみの授業の復活を願います。その分授業時間が増えて、学校行事を、ゆとりを持って行えるし、夏休みを削る必要もなくなります。秋休みの必要はないと思います。不景気に秋休みなどあっても誰も家族旅行など行きませんし。携帯電話の普及もあるので、情報分野の教育は家庭でも学校でもしっかりやるべきです。(40代)
- * 公立中高一貫校の設立 (30代)
- * 小中一貫なんて不必要 (20代)
- * 1クラスに先生を2人にして頂く。(50代)

（３） 教育委員会・行政など

- * 今の教員は非常にやりにくい立場にあると思う（推察する）生徒を通じて保護者の倫理感を軌道修正することが行政に求められる機能でもあると考える。（20 代）
- * 教育委員会（役人）が頭が固い。教員がサラリーマン化している。（50 代）
- * 区域の小・中学校の教師の風評を聞くことが多いが「？」のつく事例がよくある。特に義務教育では教師の力量が子ども達に大きく影響されやすいので教師の採用や通常の研修に力を入れて欲しい。又、保護者のわがまま？からくるいろいろなことについて教育委員会がしっかり対応して現場の教師が萎縮しない様お願いします。（60 代）
- * 教育委員会の必要性の検討（60 代）
- * 近年の学校の在り方は「親のクレームを減らす為」の努力ばかりで、本来あるべき学校の姿とは異なるように感じます。親側のモラルの低下は押しつけすぎなのではないでしょうか。そして学校や教育委員会、行政が「親がクレームを出さない」ようにバックアップすべきです。クレームと苦情、これらは紙一重ですがその理不尽なクレームで若い芽をつまないように法整備をしていただきたいです。（20 代）

（４） 教員

- * 自分の頃と比べて学力は低下していると息子を見ていて思います。教師の質も低下したように思っています。思想的に偏りのない勉強を苦にしないですむような授業を心がけてほしいです。授業の工夫でその教科が好きになったりしますから……。現在大学生の息子に聞くと授業はあまり受験に関係ないと言ってます。二重教育の現状を何とかしてほしいです。子どもは国の宝です。教育は国の今後を左右する影響力大です。携わる方々は真剣に取り組んでほしいです。家庭のしつけが低下した昨今、現実は厳しいと思いますが、横須賀の教育に期待します。がんばって下さい！！（40 代）
- * 「モンスターペアレンツ」などの存在によって昔のように子ども達を厳しく指導することは難しくなっているのかもしれませんが、子どもをきちんと叱ってくれる先生が必要です。先生が熱意を持っておられれば、それは親にも伝わると思います。大変な時代だと思いますが、威厳ある先生の復活を期待しています。（30 代）
- * 頭が良い人と教え方が上手な人とは違うと思う。逆に勉強に苦労した人の方が、勉強が分からない子の気持ちが分かると思う。（20 代）
- * 自分の子どもに小学校の時の担任の先生の名前を聞くと「忘れた」。我々の時代は先生と言うのは特別であり今でも中学校でお世話になった先生と交流がある。学校・先生・親これからはもっと全てに対して良くなって行くとは思えない。（40 代）
- * 教育者のかかわる犯罪が昨今とても多くなって来ている。教師になる人の人間性テストの様な物を教育免許の中の一つとして加えて欲しい。（50 代）
- * 先生は威厳を持つこと。先生は子どもの機嫌取りは良くない。先生は威厳を持って接するべし。女子の言葉づかいが悪くなった。携帯、ゲーム機は禁止すべきである。（70 代）

- *職業的教師の多い事嘆かれます。(70代)
- *先生はもっと自信を持ってほしい。子どもが悪いことをした場合、“コッソ”は当たり前。自分の子どもと先生を含め保護者以外の人“シカッテ”頂けることはそれこそ社会が子どもを育てていることのひとつと言える。(60代)
- *教師は、言葉はもちろん服装にも気をつけてある程度威厳をもって生徒に接すべきではと思う。言葉遣いと服装と先生と生徒の区別がつかないような場面を見たことが何度かある。(70代)
- *近所に住んでいる教師ですが、自宅での生活態度が非常に悪いと思う。(例えば音楽など大きな音を出す)教師の精神面での教育をしてもらいたい。(60代)
- *先生と生徒が友達になっている先生が良い先生化しているが教育者としての道徳的教育が必要でないか。(70代)
- *先生という肩書きの前に「人」でありたい。学校は大人の職場ではないのだから。(40代)
- *先生が「えらい先生」になりきっている。先生が先生と呼ぶのは如何か。(60代)
- *今は不景気の時代、格差社会の中・少年期で人生が決まるわけでは無い。と言うことをしっかりと教えられる人材、育てられる人材がこれからは必要と思われれます。(50代)
- *あえて学校名は出しませんが平日の午前中に公園で抱き合い人前で平気でキスをしている学生がいました。その他、駅で平気でタバコを吸っていたり……。家庭での教育ももちろんですが、学校での教育は？と思います。一部の生徒と見がちな教育をしているのではと感じることもあります。ドラマ「金八先生」のような教師は現実にはいないのでしょうか？ドラマだからではなく教師1人1人がもっと責任と自覚を持って欲しい。学校もそうです。教育委員会もちゃんとしてますか？もう一度個人個人が考えていただきたい。(40代)
- *出勤途中道路を学生（中学生？）が横一列になりふさいでいます。市民は歩くことが出来ず遠慮気味に道路脇に寄っています。近くの公共施設で課外授業がある様で道路の要所要所に教師が立っていますが何ら注意もせず知らんぷりです。私は腹が立ってその教師に市民に迷惑がかかっているのに何故注意しないのか？と尋ねましたら（道路脇に寄りなさい）と言のみ言って（ハイ！指導しました）とそれで終わりです。学生はニヤニヤして相変わらずです。私はこのやろう・こんなやつらに税金は使って欲しくないと思いました。学校も独立行政法人化して非公務員化すべきです。教師の責任を放棄して公務員の権利ばかり主張するならば日本の教育は地に落ちます。(50代)
- *人間関係が希薄となっている現在、人との関わり合いの大切さを教えるのが学校だと思います。教員の選抜をもっと慎重に、教員の教育をもっと厳しく子どもの一生を決めるかもしれない立場にいらっしゃる自覚をもってもらう。学校がもっと開放的になればいいなと思います。(20代)
- *先生ご自身の子どもに対する意識の低下、ビジネス化された職員の体制。先生方にも、もっと開けた教育をお願いしたい。(50代)

- *教職員の方の職業意識を高める方法を取り入れて欲しい。(50代)
- *保育士をしています。卒園後、保護者の多くの方から「学校の先生は冷たい」という言葉を聞きます。守られていた幼少期から自立へ向かう学童期の違いはあるのは保護者の方も承知されています。教師と保護者が会う機会が少なく先生方のお考えが保護者の方に伝わっていないように思います。先生方がお忙しいのは分かりますが、現在の保護者は子育てに不安を抱えている方が多いように思われます。先生と保護者が話しあえる時間を今以上に作っていただけると良いのでは・・・と思います。又、教師をしている知人と話していると考えが偏っていると感ずることがあります。全ての先生が当てはまるとは思いませんが、人から学ぶことを忘れないように。一般社会への研修をし、柔軟な考え、対応をできる先生になって欲しいと思います。職場で出会った教師の方も自己中心的な方が多かったように思います。(30代)
- *今、子どもの教育環境は大変厳しく大変です。学校での先生の役割は大切です。心の教育の大切さを考えて、指導していただきたい。自分で考え、自分で行動出来る人になれるようご指導お願いします。(60代)
- *わかりやすい個性的な先生を望む(60代)
- *先生にお願いしたい。算数・数学は理解できない事につきあたるとそれ以降の勉強が理解できなくなる。そのポイントを一人一人に目をかけてあげて下さい。その他の教科も同様です。一人一人に目をかけてあげて下さい。(60代)
- *昨今の大人社会から見て子ども達を立派な大人に育てるのは難しいと思うが生徒の教育に情熱(こころ)を持った先生が増えないと社会はどんどん悪くなっていくと思う。(60代)
- *いじめをなくし、楽しい学校教育が出来るように。先生方も力を入れて欲しい。学習だけでなく教師と子ども達がもっと仲良く話し合ったり遊んだり出来るように教師の雑用をなくすよう考えていかなければならないと思う。教育委員会も先生方がなるのではなく社会人を入れていかなければ改革は出来ないと思います。(70代)
- *親の理不尽な言動にもっと強気になってもらいたい。強気になっていいと思う。親の理不尽な言動を目の前にした子ども達の将来が不安でたまらない。少人数、ゆとりではなく大人数の中で競争することも努力や思いやりを育むことにつながると思う。(40代)
- *子どもがどう育っていくのかは、一番はやはり親の責任だと思いますが特に小学生での教師の生徒への指導の仕方の影響は大いなるものがあると痛感します。(60代)

(5) 教員の多忙化

- *学校の現状について、折りにふれて内容を聞くと生徒、母親そして先生それぞれが心底それぞれの役目について惰性で日を送っているように強く感じており、心の通った絆が多忙なために途切れてしまっていると思う。(70代)
- *先生も本業の教育よりも多量の書類作りで毎日が忙殺されてもいると思う。(70代)

（６） 家庭教育・保護者など

＊先生が少しでもミスをすると、今の親は教育委員会に持ち込む。昔はない。子どもの教育も出来ないのに・・・子どもに甘い。言葉も悪い。どうぞ頑張ってください。親から教育して下さい。(70代)

＊夫婦共働きの家庭が多く、子どもと向き合う時間が少ないことが気になります。(70代)

＊特に最近目立つのは、若いママの幼児に対するマナーの悪さを感じます。小さい頃の躾は大切だと思われる。親同士のマナーも最近なくて、相手に対する思いやりが特に最近なくなっている様です。まずは教育は家庭、家族、親の躾から始まりだと思います。(60代)

＊親の教育も考えるべきだと思うことも、家庭で教えるべき事ができていない。子育て支援は何の為にあるべきか高校とは何の為にあるか、3年間分からない学生も多いのでは。(50代)

＊学童防犯パトロールをした折、車の危険を感じて注意すると反抗的態度を示す子どもが居り、家庭の躾が全く無である事をつくづく感じる。こうした子どもの家庭のほとんどが共稼ぎの子達に多く見られこれからの社会が非常に心配である。

＊モンスターペアレントと言う人達に対応する専門機関をもっと増やす。(50代)

＊学校教育前の母親に対しての意見ですが、幼稚園・学校に対して3歳迄に育ててきた責任はなく要望のみ多い事を目にします。国から補助金をもらって育てたら良い子になるのでしょうか。食べる物のなかった時代 親は我慢して子どもを育てた私の時代を思い、甘えている親の姿勢から世直しをしていかなければと感じるこの頃です。若くして子どもが生まれ自我を押さえられなく子どもへの責任なく離婚する人達をみていると教育以前の問題だと思います。そんな若者達にしてしまった親の責任またその親と、どうして・何が悪い悪かったのかと考えさせられます。(70代)

＊最終的に子どもの教育は親の責任だと思います。親の教育を出来るような地域づくり、学校づくりがとても大切だと思います。(20代)

＊学校にいろいろなものを求め過ぎている。保護者が他者とかかわり我が子を教育する、教育できる環境づくりを考えることが大事なのではないでしょうか。(40代)

＊家庭教育（食生活・家庭学習・基本的な生活習慣など）が出来ていれば、学校生活のほとんどが問題なく送れると思う。親の教育からでしょうか？(50代)

＊自分勝手な大人が多いので、親御さんも教育したほうがいい。(20代)

＊家庭教育は最も重要・昔から子どもは親の背中を見て育つと言われていたが、夫婦間の愛、互いの尊敬の念、慈しみ合う心があれば子どもは自然とたくましく優しく、自信力、判断力等が身につく成長しているようです。・子どもが「こうなりたい自分」に親はチャンスを与え、共に考え工夫できる場を用意してあげたい。・最近のお母様は感謝の念が足りず反省せず責任を転嫁する傾向が多い。従って幼・小先生方はさぞ大変でしょうと思うこの頃です。(70代)

*学校給食料金の不払い等保護者の態度に疑問を持つ。子ども手当を有効に使用して欲しい。(20代)

*今、子ども達を取り巻く環境は私達や私達が子どもを育てた頃と随分違いますが、家庭教育が疎かになっているように思います。何でも学校に押しつけているように思います。親を子どもを自立、自活できる人間として次世代に送らなければならないという自覚が足りないと思います。もちろん周りの人の力や学校などの先生の力を借りなければ親だけでは出来ないですが学校も目先の事ばかりにとらわれず大局的に物事をとらえられるようにしてもらいたい。(60代)

(7) 学校・家庭・地域の連携・役割分担など

*PTA 活動が今以上に細かな活動として3者が同じ場で話し合える教育が不足していないか。(70代)

*礼儀や社会のルール、思いやりの心についてはまずは大人が鏡となるべきと思うが、大人と子どもの関わりも希薄化され、現状は難しい。(40代)

*現状は学区内校長より無視状況にある。教育者として大きな疑問を感じてならない。学区内の小学校は私の知る過去(約20年)PTA(約5年)で見ている限り、閉鎖的で陰湿になって来ている。(40代)

*地域に子供会はあるが、地域の清掃活動等の参加があつてよいのでは・・・(60代)

*子育てに関して、親・家族がなすべきこと、学校がなすべきこと、地域社会がなすべきこと、行政がなすべきこと等に関しての思いにバラつきが大きい様に思われます。核家族化、少子化、共働きそして情報社会化等、世の中の大きな変化に子育て(含む教育)の基本を見失わない様にしなければと思います。(60代)

*一つの機関ではなく、いくつもの機関が協力し合い、育てていくものだと思う。まず、その認識から改めて頂きたい。(40代)

*特別に小・中・高と今現在かわりはないのでみえない部分が多く答えられない。ただ町内会の回覧にて時々学校だよりが折り込まれ拝見するので、小学校と中学校ががんばっている様子がわかります。私自身、総合学習にて(車いす体験)小・中学校より要請があればボランティアとして授業できる時があり楽しい時間を持つことが出来ますし、評議員として時々小学校に伺いますがこれも又いろいろな情報を頂きますが、他の一般の方々にはほぼゼロに近い接点だと思います。昔の道徳のような時間が少し欲しいと思います。(50代)

*家庭の役割、学校の役割をわけて子ども達に基礎学力を身に付けさせる。(60代)

*家庭や学校(小・中)で基本的な生活習慣をきちんと身に付けさせた方が良い。・忍耐力や継続力がつく役割を考えた方がよいと思います。(家庭でも学校でも)(40代)

- * 私が小中高の学生の頃よりも明らかに子どもたちの犯罪は増えていると思います。教育の基本は家族と学校が2本柱だと思います。何が起きているか正直わからないのは情けないですが、時代の推移と社会情勢の悪化の影響かなと思います。(20代)
- * 学校が汚れていると聞きました。地域の人をボランティアとして活用して、小・中学生と一緒にやってみては。まずはお掃除の仕方から。(50代)
- * 子供らしさのない子供が増えた。人との関係がなくなりつつあるため、地域・学校の間を強化してほしい。(20代)
- * 地域と学校をもっと交えたいのならば、行事を増やすべき。(20代)
- * 核家族の為か老人家族が多く、若い人の協力とか子どもとのふれあいが地域でも少なく町内会活動においても意見交換が少なく役員になっていただけない為現状がつかめずはなれていると感じます。地域の子どもは地域の宝としてもっと良い絆がもてないか考えさせられます。(70代)
- * 小中学生の問題行動（喫煙・通学態度）は地域パトロールのおかげで減少したように思います。コンビニ前の不良態度はまだまだ改善が必要です。企業側にも応援を求め、学校・家庭・地域・企業・行政の5体連携が地域教育改善のかぎだと思います。(40代)
- * 子どもの時の体験は、個人の人格形成に大きく関わるものであると思います。希望を持って通う子どもを増やす工夫は家庭や地域の協力が不可欠であると感じました。(20代)

（８） 子ども

- * 毎朝児童公園で体操をしています。夜間や早朝等の時間帯に飲食し容器、袋等を散乱させたまま帰ってしまっている道徳意識が全くない。中学生の男女が夏場等公園で夜を明かし、タバコを吸って目に余る状況を目にすることが時折ある。注意したくも反抗的態度をとるため身の危険を感じる。以後、見ても見ぬふりをしてしまうにしている。我々も注意してそれなりの人にしたいと思うが、兎に角場合によっては命にかかわる恐れもあり、自分を犠牲にしてまで指導してやる気にはとてもなれない。故に同年代人達の話になると皆同様な「ナゲキ」節となって日本の未来は底知れぬ暗闇に進んで行くことだろうと言う話で「ナゲキ」語りで終わっている。(70代)
- * 通勤時に県立高校の生徒さんとすれ違うことが多いのですがとても態度がよく感心しています。携帯電話で話ながら歩いている生徒さんもおられませんし、急いで小走りになった時もスーと道をあけてくれたりします。生活態度がとても感じが良いのです。教育の成果でしょう。(50代)
- * 私達はマスコミ等で情報を知るしかありませんが、横須賀の子ども達はあまり問題行動（犯罪が）少ないように思えます。とてもいいことですので、これは日々先生方が縦・横のコミュニケーションがとれているように思えます。がんばって下さい。(70代)
- * 小学校・中学校になった子を指導するのは難しいと思います。それよりも保育園、幼稚園での生活を大切にしていけることを期待します。そこが人間の基礎となると思うからで

す。(30代)

*わたくしの子ども時代より《自己責任》が薄弱になっているのではないかという気はしております。(60代)

*言葉の使い方が悪いと思います。特に目上の人、友人との区別がない。私は子どもはおりませんが、毎朝パトロールをしています。そのおかげか他の所でも顔を見ると言葉をかけてくれる子ども達を見ると、とても可愛くいとおしく思います。朝、夕の子ども達の顔を見るのがとても楽しみです。(60代)

*小・中 子どもは活発に動かなくてはいけない時期なのにその時期に適さない服装をしているのが気になる。時には危険ではと思うような服装が。(60代)

*特に気になるのは高校生の公共機関での態度が非常に悪い。例えば、電車やバスの中。混んでいようがお年寄りの方が居ようが席を譲ろうとせず、自分たちだけで席を占領し他の方が座ろうとすれば、睨み大きな態度。コンビニの前や小さな子どものいる公園での喫煙が目立つ。高校での教育はどのようなになっているのか日々疑問に感じる。腹が立つ。(20代)

*今の時代、子どもを巻き込む事件・事故、又子ども同士いじめ等により命を失うことが多くなっており、子どものこれから先が大変不安です。家はまだ3才と小さいのですが、子離れといっても子どもが小学生になってからの登下校等今から不安です。子どもが昔のように元気に伸び伸びと成長して欲しいと思います。学力はこの次です。先生も子どもの発言にしっかり耳を傾けて欲しいと思います。(20代)

*最近の子は言葉を知らない。マナーも学ばせるべきである。(20代)

*特に高校生の制服の身だしなみが気になります。オリンピック選手のユニフォーム問題も学校における指導、地域社会の指導が問題だと思います。ファッションと身だしなみは、義務教育から区別して指導すべきと認識しています。(40代)

*社会の多様化、人間の多様化で教育も大変な時だと思いますが、先生方の品格、親の品格の向上、そしてなにより幼児からの体力づくりも必要ではないでしょうか。公園などでおもいきり体を動かして遊ぶすがたが見かけられない様です。(50代)

*休みの日は3～5人グループで通行するも道に広がって通行する年寄りに通行出来ない。(70代)

*今時の子どもは情報等が多いので、ゲーム、携帯、テレビの影響が強く自分で考えて行動する力が不足している様子です。その上、聞く耳を持たず、主義主張ばかり通そうとする傾向が強すぎる様に思います。マナー、常識は厳しく子どもの頃から身に付けさせる教育をして欲しいと思います。(60代)

(9) いじめ、不登校、支援教育など

*昨年の春、孫が(中学3年)ひどいいじめに合い、親子で悩む一年。それでも本人がいくじがないからと、かばいつつ来ましたが、入試・進学には影響は大です。このいじめ

は話せば長く表記の力不足で記しません。昔もいじめはあったと思いますが今時はたちが悪い。現代の利機？コンピューター等々のそろわなくとも何もない原点に戻ってみたいと思う。(60代)

- *特に「いじめ」は重大な問題です。学校・教育委ともに責任逃れするところもある様な気がします。全ての子ども達は平等です。あらゆるケースに対して「一部の生徒だから」と目をそむけないでほしい(40代)
- *少子化だから、いじめとかで悩まないで人材教育をしてほしい。子どもは横須賀市の宝だから心のあり方の授業をしてほしい。いじめは悪い・・・とはっきり云える先生であってほしい。(60代)
- *障害児の教育については特別支援という名称で一括することなく、個々の障害に応じた教育をきめ細かく行って欲しい。併せてこれに携わる教員の育成に努めて欲しい。(70代)
- *小学校教育の重要性を認識した教育を願う。分からない、理解できていない、落ちこぼれの無い徹底した教え方を願う。テストを成績の基準にするのではなく、子どもがどの部分を理解していないかを検討し、分かるまで教え込んで欲しい。いじめを小学校で根絶して欲しい。子ども達同士の生活は家庭ではなかなか把握しにくい。教師は常に子ども達を観察し、いじめの気配を感じたときは断固として対処してもらいたい。虐待もしかり、ああした、こうした、でも命は守れなかった・・・では何の意味もない。世の中我々の頃よりずっと進歩し子ども達の世界も単純ではなくなった。教師は日本をになう次世代を育てている事を強く認識し親と共に頑張ってもらいたい。(70代)
- *おちこぼれる生徒や登校拒否をしてしまう様な生徒を少しでもなくして欲しいと思います。(30代)

(10) 施設・設備、学校開放など

- *昔の様に子ども達が安全に遊べる所もなくなり、就学児以外の子ども達が公園以外でも自転車の練習などで使えるように校庭の開放などをしてほしい。(30代)
- *湘南山手地区に中学校が欲しい。(30代)
- *こどもの遊び場が減っているので、公園に遊具を増やして欲しい(20代)

(11) その他（アンケートについてを含む）

- *集団心理に捕らわれる日本人の性質を少しでも解消していくことが、「いじめ」のみならず、様々な問題の解決に繋がると考えられます。問題解決の良案を思い浮かぶ人間は稀です。故に大多数の意見によって埋もれてしまった少数の意見の中にある解決の糸口となる良案を掘り起こすような政策をしていただければ幸いです。(20代)
- *近年、教育委員会としての政策は裏目に出ることばかりだと見受けられます。今後、様々な教育問題が発生していくと予想でき、今のままの政策ではどうやっても解決できません。「いじめ」で言えば「いじめられている個人」、教育問題で言えば「教育を受けてい

る一人ひとりの生徒個人」「学校の教育の現場で生徒と向き合っている一人ひとりの先生個人」「一人ひとりの生徒の両親という個人」この『個人』に主眼をおいて下さい。(20代)

*進級時に一年で必要な教材など引き落とし以外の金額のおよその額や購入予定の物などを先に教えてもらいたい。(30代)

*保育園の一時預かりを増やし、未就学の子供を持つ父母がボランティアとして地域や小中学校で働く場を作って頂きたい。子どもが小さくて仕事は出来ないが外に出たい父母は多いと思う。一時預かりの金額は市・地域が払うと参加も増えると思う。(30代)

*幼稚園での学習が落ちこぼれを少なくするのではないか。(50代)

*生活苦の子はハンデがあると思う。そこからあげていかなければ教師も大変だと思う。(50代)

*保育園・学童保育の時間延長をお願いしたいです。シングルマザーなので、今のままではフルタイムで働くことが難しく、収入も低いままです。これでは他の田舎にある市町村と変わらず、横須賀に居るメリットがありません。(30代)

*中学生や高校生が髪を染めてるにもかかわらず、登校しているのは校則がないからでしょうか？それとも教師が注意しないので子供たちがいい気になっているだけなのでしょう？私の息子たちを横須賀市内の学校に通わせたくありません。もっと学校側には自信を持ってルール違反の子達を処罰してほしいです。(30代)

*私には子どもが居ませんが、横須賀市は車社会である為、運転中に走り回っている子ども達を見ると安心する反面、横断歩道での信号無視など注意したくなる場面にもよくあります。狭く身通しの悪い道など私達もそうですが気をつけてもらいたいものです。(20代)

*横須賀市は大学も少なく、又、となりに東京、横浜とあるため、教育の面ではなかなか独自性なり、主体性を持って行える環境ではないのが、寂しい所です。皆、より良い方へ流れてしまうからです。しかし、教育面が充実している市というのはとても魅力的ですし、市民の満足度も高いと思います。自分は良い案がありませんが、ただ、子どもは社会の鏡といいますから、悪いのは子どもではなく我々大人の方だと思います。(30代)

*当方、高齢（独居）ゆえか、当市教育分野との接点薄く情報乏しいため 現情があまりわかりませんので、アンケートには答えられませんでした。・・・ということは、高齢者との関係対策は不必要で軽視ということでしょうか？(70代)

*貴委員会が抽出したアンケート発信者へ集計結果を開示して欲しいと思います。御検討ほどよろしくお願い申し上げます。(20代)

*このアンケート調査票は市民向けのものですが、実際に教育に携わっている先生や教育委員会の職員方がどの様なお考えを持って居られるのかその結果を知りたいものです。(70代)

【4】 教員

（１） 教育内容など

- * この10年の間に学校に英語教育、食教育、情報教育等様々な内容が新たに加わってきました。今後、本当に学校教育で必要なことが何なのかを再度考えて、精選することが大切なのではと思われます。（小学校、40代）
- * ただ単に時数の問題ではなく、内容の濃い授業、質のよい授業が求められているのではないかと感じている。そのためにも、1クラスの人数を少なくし、いきとどいた授業ができれば改善できるのではないか。もちろん教員側の教材研究に当てる時間も確保できれば、子ども達にとっても、教員にとっても、満足のいく教育につながっていくと思う。（小学校、20代）
- * 児童・生徒を勉強好きにするなら、専科教員を確保することである。休み時間等に音楽好きな子が音楽室に行けば、専科教員が相手をしてくれる。理科好きが理科室に行けば・・・対応してくれる。こうすればモチベーションも上がり、個性伸長し、いきいきする。人を教育するのは人です。人を大切にし、人対人の環を創りあげていきたい。（小学校、60代）
- * 英語（小学校）は実に空しい。英語嫌いを増長しているがごとし。予習・復習前提では、子どもも大変だが、これをやらないととても普通のレベルの子はついていけない内容。6年ではいきなり英単語が板書される。これは分らない。英語塾通いを暗に強要しているようなものではないか。英語は学問というより手段。それよりは子どもが将来国際人となったときに、しっかりとした日本文化の担い手となっていて、それを外国に伝達できる方がずっと大切だと思う。日本の歌でもいいし、美術でもいい、好きなジャンルの日本文化を、誇りをもって伝えていける人間に育てていくために、時間を使いたい。加えて、英語よりは、他の外国語が優位を占める時代がくるかもしれない。語学を学ぶ基本的なテクニック（外国語を習う時の基本は共通している）は中学でも十分間に合うと思う。（小学校、60代）
- * 教育課程の時数、指導内容が共に増えてきている。下学年に移行されると算数などは、その年齢にしては難しいと思える事も多い。基礎的学力が不足している子にとっては、ますます、理解できなくなってくると思う。家庭の教育力に期待できない現状があるので、5日制について検討しなおし、時数を増やしていてもよいのではないか。（小学校、60代）
- * 各教科の授業時数を確保し、総合選択などの時間を減らして頂きたい。（中学校、50代）
- * 知識ばかりではなく、知恵や考えること、学びあえることを学校で学べるように。（中学校、40代）

- *生徒実態を考えると、中2～中3で進路選択のワンクッション「学業、職業」が必要な時代である。（学力差が激しく、座学についていけない生徒が存在しているのが現状）（中学校、50代）
- *観点別評価の廃止、または大きな見直しが必要（高校、50代）

（２） 教育制度

- *3学期制にもどしてほしい。日本の現状を考えると2学期制は、日本の国の教育に合っていない。メリハリのある学校生活を送るためには、3学期制にもどすべき。月2回土曜授業（半日）を復活させ、月～金までの6校時授業は、なしにする。授業時間確保してほしい。6校時がなくなると教師の会議開始時刻も早まり、クラスの仕事も夜遅くや土日出勤せざるにすむ。（小学校、50代）
- *大規模校と小規模校に教師の仕事量はあきらかに違うため、同じようなクラス数に増やすような工夫ができるとよいと思う。20年くらいかかりそうだが。学年8クラスと2クラスではあまりにも負担が違い、同じ給料をもらっているのか？と思うほどである。（中学校、40代）

（３） 教育委員会・行政など

- *教育委員会としての主軸になる考えをきちんと持って教職員に説明なり、検討を提示して欲しい。（「なんとなくその方向に持って行く」というのは教職員の信頼を失うと思う。）（小学校、50代）
- *子供にとって困った時に頼れるのは教師（最後の砦）。それと同様、教師にとって最後の砦は教育委員会であってほしい。保護者が何か問題があると「教育委員会に言います」というのが教師にとり「おどし」に使われるような機関であってはならないと信じている。（小学校、50代）
- *様々な政策、施策を実施するにあたり、教委のみならず、行政全体として取り組むことがあるのではないかと。あらゆることが学校に委ねられている。例えば、学校と地域、保護者との連携などについても学校だけが汗をかくのではなく、行政の担当部局がきちんとコーディネートしないと何ら教育的効果を生み出す取り組みは実施できない。芝生化なども行政が地域を動かさなければ、学校だけでは不可能である。（小学校、50代）
- *トイレ清掃は業者に任せるならきちんと任せる形にして欲しい。今のままだと教員が行うようである。市役所はどうなのでしょう？業者がやっているのでは？（小学校、60代）
- *児童に配るプリント物が多く大変煩雑。委員会より各団体に自粛するよう申し入れてほしい。学校判断で配布をやめてもよいのなら、その旨通達してほしい。（小学校、60代）
- *教育に対して、多様な価値観がある中で、市の方針などが不安定なため、学校も不安定になっていると思う。変化には無関心ではいけないが、安定感のある教育活動ができないと子どもも落ち着かない。（小学校、30代）

- * 教員の口からは言いにくいことを教育の現場の様子を積極的に市民の方々に知らせて欲しいです。未だに夏休みがあつて良いですねと言われるし、休憩をとれていない現状もあります。あゆみの時期は相当な残業をしています。教員みんながんばっています。（小学校、30代）
- * 学校教育の実態を知っていただき、その解決に向けた取り組みをお願いしたいです。（小学校、30代）
- * 市教委のリーダーシップがない。（ここから出てくる色々何よりも、現場との距離をいつも感じる。）不登校の対応をしている様に声高に言っているが、その内の納得に終始している。（中学校、40代）

（４） 教員

- * 若い教員が急に多くなり、教科指導、学級指導の中で安全に対する配慮がおろそかになっている。たとえば、教室後ろの高い場所の掲示、理科、家庭科など火をあつかう時の上着などのチェック、などなど私達が長いことかかり、先輩の先生方に教えていただいたことがあと何年かするとなくなってしまうのではないか、不安です。（小学校、50代）
- * これから若い教員が多くなってきます。学校としてどう育てていくのかが問われると思います。教員同士が高めあえる学校にするために努力を続けていけたらと思います。指導員・指導教諭など様々な方が関わるのも大切かと思いますが、その学校の教員が育てること、関わるのが大切で、そのための支援をしていただければありがたいです。（小学校、30代）
- * 横須賀市全体として体育会系の力が強くて、とまどいを覚えている。「返事はYES かはいかよろこんで」などと堂々と言うってしまう人たちが本当に子どもの心に寄り添えるのだろうか？と日々思う。（中学校、20代）
- * 教師自身が先輩の先生、年上の先生への礼儀をきちんとできる教師とできない教師との差がある。（基本中の基本）特別支援の研修、経験、空き時間を活用して実際に特別支援の状況を目の当たりにして実力をつけてほしい。教師生活の上で、大切なことだと痛感いたします。どれだけ生徒に対して、まず熱心に接することが大きな資質です。（中学校、50代）
- * 校務分掌の均等化、力のある教師に来てほしい。（良い見本がもっとほしい。）（中学校、20代）
- * コンピュータが学校に導入されてから、それらの機器や情報処理に、教員が拘泥して、本来的な子どもとのコミュニケーションや子どもを活動させるノウハウが落ちてきているように思われる。（中学校、50代）
- * 学校は教育の場の中心です。教員がその自負をしっかりと持てるような環境づくりを自他ともに。（中学校、50代）

（５） 教員の多忙化

- * 休日にも学校に来て仕事をしたり、家に持ち帰って仕事をしている教員がほとんどである。子どもたちに、教員自身が体験した様々なことや価値観を語るほど教員に余暇を楽しむ余裕がなく、人間的な魅力や様々なことに対応できる心のゆとりが欠けていると感じる。自分自身の幅を広げるためにも、私たちに指導される子どもたちのためにも教員の多忙化について解決策を考えるべきだと思います。（小学校、30代）
- * 学校現場の状況に関わらず、教育（方法・指導・環境）の変化が大きすぎる。学校はどんどん多忙化し、職員は精神的・肉体的疲労で、休職者が増えている。やらなければならないことが多すぎる。大事なのは子どもにきめ細かいわかりやすい指導をすること、楽しい学校であること、子どもと関わる時間、教材研究の時間が必要。ゆとりがなければ、教育はよくなる。教師も子どもも同じ。（小学校、50代）
- * 絶対定時では終わらない仕事量なのに残業代なしは労基法違反では？（小学校、30代）
- * 多忙化という点で学校は限界に近づいているのではないか。精神的に病んでいる教員も少なくない。（小学校 50代）
- * 給食事務、就学援助など、お金が絡んだり、銀行とのやりとりが必要なものは、物理的に無理である（授業を放棄して銀行には行けない）し、教員の仕事の範ちゅう外である。給食物資（一部）を発注するのを教員が行うのも筋ではない。取り払うべきである（このために授業に遅れることもある）（小学校 60代）
- * 教育に力を注げるよう、学校事務的なこと、教育費・教材費などについての業務は教職員は携わらないようにしたい。（小学校 40代）
- * 用務員の数が減り、いつの間にか、彼等の仕事も教員が行っているような状態がある。こうしたことは氷山の一角。あれもこれも教員が負っているものがたくさんある。パソコンの管理も大変である。物や設備が増えるなら、それに見合った人員配置をお願いしたい。（小学校、60代）
- * 現場は考える内容が増えている中、インフルエンザなど学級閉鎖があり、とても忙しい。行事も多く、休み時間も返上で勉強を教えたり、行事の準備をしている。中学を見据えると学力に不安の残る子もいるので、制度や環境の面から落ちついて勉強に取り組める環境を作ってもらえたらと思います。（小学校、20代）
- * ここ数年、学校経営や保護者対応の難しさが増す一方で、外国語、キャリア、道徳、情報、学力向上等、新たな要望やニーズが増え、現場では、子どもと向き合う余裕、教材研究の時間が減る一方です。校内でも多忙化解消にむけて工夫はしているのですが、絶対的な人数、予算が不足しているように思います。（小学校、30代）
- * 新聞紙面等でも教師の療休増加を多く目にするこの頃である。精神的に、肉体的に、相当疲れ、自身にムチを打ちながらの方々も大勢いられることだろう。子どもの抱える問題だけでなく、保護者や地域との関わりで苦勞することも増えてきている。「人」パワーの面で強化されると、多少緩和されるだろうか……。 （小学校、50代）

- *以前より多忙になったと多数の人が言います。児童・親が変わってきたとともに、教育委員会などからの指示も多くなってきたのも原因かと思います。（小学校、50代）
- *多忙化解消という話があっても、実際は一向に解消せず。新規の事務等内容により、年々多忙化を極めている。このままでは子どもに向き合いたくとも、向き合えない状態が出てくる。（小学校、30代）
- *教師の仕事の中に、調査が大変多いが、精選してもらいたい。また、給食費・就学援助費等は教師ではなく市の行政で行ってもらいたい。市の教育に集中できる時間の確保を考えてほしい。（小学校、30代）
- *子ども600人の学校に、フィンランドなら120人の教員（正規）。日本では30人以下。毎日残業をしても終わらない仕事。教師たちは健康に不安を抱えています。教員を増やし、仕事を軽減し、十分に教材研究ができる時間、子どもたちと直接関わる時間をとることが学力向上につながると思います。（小学校、20代）
- *親、教師とも、時間的、精神的な余裕がないと子どもによい教育はできないと思います。学校では年々忙しくなっているように感じます。この数年間で、次々に新しい役（分掌）が増え、それは大事なことなのだと思いますが、あれもこれもで忙しさが増えています。精選が必要のように思います。（小学校、40代）
- *週休2日制になるときに教育課程の内容を減らしていったのに、また内容が増えたので、高学年は週4日は6校時で、児童にも教師にもゆとりがないように思えます。もっと若い教師たちが子どもたちと遊べる時間が欲しいものです。放課後、会議や出張があると個々の児童との触れあいや遅れている教科を支援する時間がほとんどとれません。学校教育に対して年々要求内容が多くなっていると思います。もっと、スリム化できないもののでしょうか？（小学校、60代）
- *学校現場は過密な時間の中で動いています。最も人間的なつながりを育てる場が、スケジュールに追われ一人一人の変化に目を向ける余裕がなくすごすようになっています。教師も教室との往復で、他学年の教員と教育について語り合う場もかつてのようにはもてません。教師間のコミュニケーションが密になっていて、絶えず話し合う場が用意されている学校は、きっと子どもたちにも穏やかで居心地の良い場になると思います。そんな場になるような条件整備を心から願います。（小学校、50代）
- *あまりに忙し過ぎるように感じます。サービス残業（部活）に対する手当をもっと出して欲しい。（中学校、20代）
- *小学校と中学校の教員の業務内容の差には驚くべき格差がある。中学校現場では「休憩時間」など絵に描いたもち状態である。中学教員は時間的にゆとりがあまりにもなさすぎるように思う。（中学校、50代）
- *教師は授業が基本であるのに、その授業に割く時間をつくるのが難しい。いろいろとやってみるが、やはりそのうち大きく無理が出てきてしまう。他の先生方がどうしているのか気になりながらよく見ているような状態です。（中学校、20代）

- * 教師の多忙化は本当に何とかならないものでしょうか？多忙化が原因で、心や体を病まれる先生、家庭を犠牲にしている先生の話などよく聞きます。社会のひずみやつけが学校現場に押し付けられないよう祈るばかりです。（中学校、50代）
- * 教育の仕事量を減らすために、処理方法などを全体で学び統一していくことが必要であると思う。民間で行われている研修を取りいれていく。（市などの講座として取り入れる）（中学校、30代）
- * 神奈川県職員の管理職は、超過勤務をいかに減らすかが評価の対象になっている。本市立学校もそれを導入して下さい。（高校、40代）
- * 自己観察記録や観点別評価、公開授業・・・と新たな仕事が続々と出てくる。勤務時間は厳密になり、夏休みの研修も取りにくくなった。総じて教員の自由はなくなり、行動や考え方に枠がはめられていく方向だが、この方向は正しいのだろうか。新自由主義の悪影響が大きすぎる。教委には、この反省と見直しをしてほしい。世界には北欧など、アメリカとは異なる教育モデルもある。教員は忙しすぎて研究する暇はないので、ぜひ教委にこそ研究していただきたい。（高校、年代不明）
- * 学校が小規模校化し、一人ひとりが抱える仕事が膨大な状態になり、余裕がなくなっているのが現状である。子どもをとりまく社会状況、家庭状況も複雑かつ厳しい状況である。改革の視点を見誤らず対策を講じてほしい。（特別支援学校、40代）

（６） 家庭教育・保護者など

- * 家庭教育の大切さを市として訴えていく必要がある。課題を抱えている生徒の多くは家庭に課題がある。この部分が改善されれば、教育の成果は上がると思われる。（中学校、60代）
- * 何か問題を外で起こした生徒に対して、まず連絡が入るのは学校です。学校も教育をする場なので、教員が関わることは大切ですが、なぜまず家庭に行かないのか？もっと親が責任を持つシステムがほしいです。（中学校、30代）

（７） 学校・家庭・地域の連携・役割分担など

- * 学習指導・躰・事務処理の全てを担任の職務とせず、各家庭、行政で分担していけないか？もしくは専門の役割を担う人材を校内に置く為の人材と予算を確保して欲しい。（小学校、40代）
- * 子どもたちの家庭環境が複雑化しており、一般常識が通用しない。また、精神的なつながりを保護者と持つことが、極めて難しく、苦情が来たらどうしようと悩みながら働いている若い職員が急増している。学校でやるべきこと、家庭でやるべきこと、学校にまかせてほしいことを明確にし、小さなミスや行き違いを探すようなマイナスの教育環境から脱却したい。（小学校、40代）

- * 学力低下問題について、子どもの貧困が進んでいるのが一番の原因と統計資料で出ている。つまりは社会全体がだめということだが、その中で学校が何をできるのか、小手先でない考えが必要。(小学校、50代)
- * 地域の方との連携がこれから非常に大切と思われるが、どなたでもということにはならないので、そのところのマニュアル・基準など示してほしい。(小学校、50代)
- * いろんな立場で協力して子供達を育てることが日本社会全体を育てることだと思います。(中学校、30代)
- * 世の中はほとんど学歴社会ではなくなりつつある。会社は学校名だけではもう採用していない。これからは「誰かに雇われる人」ではなく自ら仕事をつくり出せる人が求められると感じている。高校、大学に入るための勉強ではなく、自分の特性・興味、能力がわかる指導、学びの場が必要だと思う。学校現場、教育委員会だけではなく、社会全体で教育の場はどうあるべきかを考える必要があると思う。(中学校、20代)

（８）子ども

- * 学力の低下が関わってきているし、時代の流れ的に難しいかもしれないが、授業時数の増加があまり効果を感じられない。子どもたちは学校以外にも習い事や塾などに行っており、集中できていないように思う。(小学校、20代)
- * 子どもをおおらかに見るべき。(細かすぎ、手を出しすぎである) 学校がいろいろやりすぎ。(小学校、40代)
- * 「子ども（生徒）を週1日は休日にする」がなかなか実現できていないと思う。各学校に任せるとなかなか守れないので市（教委等）で確認事項ができるとよい。(多忙化) = (生徒の) の原因だと思う。(中学校、50代)

（９）支援教育など

- * 特別支援学級においても、就学指導委員会で「特別支援学校対象」という判断がされるような子が在籍しているなら（入学するなら）、特別支援学校と同等の人員配置が当然。設備もその子に応じた配慮があるべきと考える。児童生徒の安全の為にぜひ善処・実現をお願いしたい。(小学校60代)
- * 発達障害の児童が増えているのを行政（委員会も含めて）はどこまで認知しているのか。学校現場の悲鳴が届いていない。それとも無視しているのか。現場の教師の努力のみに押しつけて、何の解決策も出していない。普通級担任は、在籍児童の学力向上に取り組むたくても発達障害の児童に手をとられ、他の子に担任の力をまわせないでいる。英語に使う金があるなら、学校現場にもっと人手を配置してほしい。人手が多くなることで良い結果が明らかであるのに、委員会をはじめ、行政は学校現場と一体になって、努力しているのが見えてこない。有効な対策を一日も早く打ち出してほしい。(小学校50代)

- *子どもの心の発達に関わる相談体制や医療体制をもっと充実させる必要を感じる。（中学校、50代）

（10）校内研究

- *校内研究のあり方について再考してほしい。従来のやり方だと現場の教員が考えた指導案を指導主事がこられて指導して下さるが、その意図や効果が疑問である。教員の資質や授業力の向上の方法は、他にもあるし、学年間の教員同士が、ふだんの授業教材の研究に費やす時間がもっとほしい。研究にふりまわされて、子どもとゆっくり向き合う時間がないのが、本当に子どもに申し訳ないと思います。（小学校、30代）
- *授業公開が重なり、他校の公開にも参加したくても、行くことができない。互いに自分の学校のことでいっぱい、いっぱいになっているのではないのでしょうか。（小学校、50代）

（11）予算

- *教育を充実させるために予算を増やし、教員を増やして欲しい。または、クラスの児童の人数を30人学級にするなどすれば、教師の目も行き届き、様々な問題は解決出来ると思う。（小学校40代）
- *教育を大切にしていくことは、子ども達の未来やこれからの日本という国の行方を左右する一大事だと考えます。生活環境が大きく変化し、学校・家庭・地域の役割は大きいですが、地域・家庭の教育力が見込めないならば、学校教育に対する期待は大きい。だから、学校教育に予算をもっとつけてほしい。（具体案）30人学級の実施、理科・音楽などの専科を指導する教師の配置。この2点だけで、現在の教師の多忙化はかなり解消されると思います。「横須賀の教育」として、横ならびや横浜方式をそのままやるのではなく、もっと腰をすえた教育システムの改善をお願いしたい。末端の教師一人一人は時間もおしまず頑張っています。いくらいいソフトがあっても、ハードが動かなければ！人は使いたいようだと考えます。（小学校20代）
- *学年費が充実していると思います。教員の人件費にも予算が増えると、子どもたちへのきめ細かな指導ができると思います。（小学校、20代）
- *お金をかけてください。お金をかけないで何とかしようとするのは無理です。（中学校、40代）
- *予算をつけずに現状を改善するのはきわめて難しいと思います。教育予算の増額が出来るようがんばってください。（特別支援学校、50代）

（12） 施設・設備

- *施設面でも古い校舎だと思えるような活動ができない。（学年まとまって学習できるスペース、体育館がせまい（公式試合や集会などできない）、昇降口がなく防犯上よくない。子どもだけで活動させるのが不安、防災面では多くの不安がある。（小学校、50代）
- *校舎の老朽化に対する施策が必要だと思います。（中学校、20代）

（13）その他（アンケートについてを含む）

- *外国籍の生徒が増えています。そのような生徒を支援するボランティアの方または職員を配置していただけると助かります。また例えば、その生徒のいた国の教科書を研究所などにおいていただくと助かりますが。（中学校、30代）
- *日々の目の前の仕事に追われて、「横須賀の教育」などという全体は見えずにいます。（小学校、50代）
- *こういったアンケートが無駄にならないように、必ず、生かしてくれることを願います。教員がもっと希望をもって、仕事に取り組めるような体制づくりを期待しています。（小学校、20代）
- *何のためのアンケート？質問の意図がよく分からない項目が多い。（小学校、50代）
- *委員会としての取り組み・提起を出して、それについて教職員の賛否を問うようなアンケートは有効かもしれない。アンケート結果がどう参考にされたのかはぜひ、明らかにしてほしい（小学校、50代）
- *全国的に携帯を18禁にすべし。なぜやらないのか。理解に苦しむ。百害あって一利なし。（中学校、40代）

横須賀市教育アンケート報告書（学校教育編）

平成 22 年（2010 年）7 月発行

編集発行 横須賀市教育委員会事務局管理部総務課
〒238-8550 横須賀市小川町 11 番地
電話 046-822-4000（代表）



YOKOSUKA CITY
SINCE 1907



横須賀が大好き!